

WZ EDITOR 8

for Windows 8, 7, Vista, XP

Copyright © 1995-2013 Toshiro Yamaguchi
Published by WZ Software, Inc.

Made in Japan

目次

セットアップ 6

使用条件	6
WZセットアップ開始	7
WZセットアップ選択	7
WZセットアップ選択のオプション	8
セットアップの注意	8
Windows 8の警告	8
ウイルス対策と常駐ソフトウェア	8
プログラム互換性アシスタント	8
設定の引き継ぎ	8
起動	9
ユーザアカウント制限の警告	9
常駐	10
常駐のカスタマイズ	10
起動オプション	10
最新版のアップデート	11
ダウンロードの注意	12
IE10.9の警告	12
ユーザサポート	12
ユーザ登録	12
テクニカルサポート	12
セットアップの関連事項	13
修復セットアップ	13
インターネットとUSBメモリ	13
複数のWZのセットアップ	13
Windows 8/7/Vistaの関連付け	13
レジストリの登録	14
アンインストール	14
旧版のWZ	14
WZ7からの変更点	14
WZ6からの変更点	14
WZ5からの変更点	15

基本操作 16

カーソル移動	16
編集	16
マウス	17
ウィンドウ	18
多重化	18
ウィンドウの最前面表示	19
コマンド	19
ガイドヘルプ	19

ファイル 20

対応ファイル形式	20
テキスト	20
青空文庫	20
JIS	20
PDF Book	20
プログラム	21
HTML	21
TeX	21
TSVファイル	21

CSVファイル	21
脚本	22
バイナリファイル	22
その他のファイル形式	22
ファイルの作成	22
保存	23
閉じる	23
オープン	23
プロファイル	24
ファイルの部分読み込み	24
ファイル名の検索	24
プロジェクト	24
プロジェクトに記憶	24
プロジェクトを開く	25
プロジェクトを閉じる	25
テキストオープンダイアログ	25
フォルダ・ファイル表示	25
ツールバー	26
ファイルメニュー	26
検索メニュー	26
表示メニュー	27
フォルダメニュー	27
ウィンドウメニュー	27
文書の変換	27
改行付きテキストの変換	28
印刷とPDF出力	28
印刷プレビュー	28
印刷スタイル	29
印刷の実行	29
プリンタの切り替え	29
PDF出力ファイルの指定	29
PDFのフォント	30
PDF Book	30
ヘッダ・フッタ	30
ヘッダ・フッタの中央揃え、右揃え	30
ヘッダ・フッタの各種オプション	30
見出しの印刷	31
図の印刷	31
文字コードと改行コード	31
文字コード	31
改行コード	31
文字コードの自動判別	32
文字コードと改行コードの変更	32
メニューコマンド	32

編集 40

PDF Book	40
設定	40
目次の自動作成	40
索引の自動作成	40
HTML	41
キー	41
メニュー	41
HTMLリサーチ入力	42
改段落	42
 の入力	42

タグ記号の補完	42
終了タグの補完	42
オートフォーマット	42
スタイルシート	43
CSSの各プロパティの設定	43
CSSスタイルの新規入力	43
改行区切りのプロパティ指定	43
TeX	44
pLaTeXとdvipout	44
文献データベース	44
キー操作	44
メニュー操作	45
専用メニュー	45
TeXコマンドの挿入	47
行頭タブの字下げ表示	47
TeXコマンドの体裁表示	47
TeXリサーチ入力	48
整形	48
自動整形モード	48
段落整形のカスタマイズ	48
メニューコマンド	49

検索 54

検索モード	54
検索オプション	54
検索の実行	55
各種の検索	55
絞り込み	56
グローバル検索	56
関数定義の検索	57
正規表現検索	57
正規表現メタキャラクタ	57
置換	59
置換の専用オプション	59
正規表現置換	59
バイナリデータの検索	60
バイナリアドレスヘジャンプ	60
メニューコマンド	60

表示 67

色分け	67
単語や文字の色分け	67
色表示のカスタマイズ	67
デフォルトの色分け	67
テキストの色分け	68
プログラムの色分け	68
色分けスタイルの切り替え	68
色分けスタイルの設定	69
色分けの実行	69
色分け項目の設定	69
色分けの種類	70
オプションの詳細	71
折りたたみ	71
タグの表示	72
ルビの表示	72
図の表示	72
メニューコマンド	72

挿入 75

リサーチ入力	75
リサーチ入力モードのON/OFF	75
補完候補の表示	75
テキストの走査	76
候補の優先度	76
絞り込み	76
リサーチ入力モードOFFの補完入力	77
候補一覧メニュー	77
2段階の補完入力	77
漢字と仮名の入力	77
記号と引用符の入力	78
英単語とプログラムの補完	78
HTMLタグの補完	78
CSSプロパティの補完	78
TeXコマンドの補完	79
APIの補完	79
プログラム構文の補完	79
ファイル名の補完	79
ユーザ辞書	79
カスタマイズ	80
WZ ime	80
テキストの入力	80
WZ imeの入力	81
変換候補の一覧	81
ルビ付きの入力	82
英数字の入力	82
語句の入力	82
括弧の入力	82
引用符の入力	83
記号の入力	83
再変換	83
見本テキスト	84
フォルダテキスト	84
ユーザ辞書	84
日本語辞書の追加	85
日本語辞書のメンテナンス	85
環境設定	86
タグの挿入	86
本文としてのタグ記号	86
青空文庫のタグ一覧	86
JISのタグ一覧	87
TML文書のタグの挿入	88
ルビの挿入	89
青空文庫	89
JISテキスト	89
TML文書	89
青空文庫の文字装飾	89
傍点	89
傍線	90
太字、斜体、上付き、下付き	90
文字サイズ	90
ブロックの装飾	90
JISテキストの文字装飾	91
傍点	91
傍線	91

上付き、下付き	91
太字	91
文字スタイル	91
割注	92
段落体裁	92
箇条書き	92
字下げ	92
字下げスタイル	93
小見出	93
桁揃え	93
会話文	93
段落スタイルの認識	93
本文段落	94
段落内改行	94
青空文庫の段落体裁	94
字下げ	95
地寄せ・地付き	95
字詰め	95
箇条書き	95
n/m改行と行間	95
改ページ	96
改段	96
図の挿入	96
PDF Bookの図の挿入	96
PDF Bookの図の一覧	97
脚注	97
脚注の入力	97
脚注から本文に戻る	97
脚注のその他の機能	97
脚注のカスタマイズ	98
メニューコマンド	98
アウトライン 102	
アウトラインの表示	102
見出しの認識	102
アウトラインの表示と編集	102
アウトラインの基本操作	102
アウトラインの各種機能	102
アウトライン編集	103
ブロック編集	103
絞込アウトライン	103
検索アウトライン	104
ワイドアウトライン	104
アウトラインの装飾	104
見出しの体裁	104
アウトラインの色分け表示	104
目次の作成	104
目次の作成オプション	104
メニューコマンド	105
ツール 108	
文字数、枚数カウント	108
索引	108
ソート	108
桁のソート	109
テキストのWEB-TO変換	109
テキストのHTML形式の変換出力	109

出力先	109
HTML変換出力の詳細	110
TMLファイルの変換	110
メニューコマンド	110
マクロ 117	
プログラムの見出し認識	117
メニューコマンド	117
ウィンドウ 120	
メニューコマンド	120
設定 123	
設定ダイアログ	123
メニュー順とカテゴリ順	124
キー操作と絞り込み	125
項目設定の共通化	126
設定の切り替えとメンテナンス	126
スタイルの一覧ダイアログ	126
設定の保存	127
設定のバックアップ	127
設定の移行	127
環境設定ダイアログ	128
環境設定 129	
使用頻度の高いカスタマイズ	129
SDI表示のカスタマイズ	129
キーのカスタマイズ	129
メニューのカスタマイズ	130
メニューのフルカスタマイズ	130
ツールのカスタマイズ	131
行単位のカットアンドペースト	131
ファイル	131
開く	131
ダイアログ	132
保存	133
PDF出力	133
印刷	134
編集	134
選択	134
整形	134
キー	135
マウス	135
検索	136
表示	137
色分け	137
スクロール	137
ユーザフォント	138
挿入	138
リサーチのキー	138
リサーチの選択	139
リサーチの自動表示	139
リサーチの表示	140
リサーチの色分け	140
IME	140
WZ imeのキー	140
WZ imeの表示	142

アウトライン	142
ツール	142
VZライク	142
ウィンドウ	142
位置	142
表示	143
タブ	143
メニュー	144
ダイヤルアップ接続	145
音声化	146
WZ8の音声化	146
文書設定 147	
デフォルトの文書設定	147
文書スタイルの切り換え	147
拡張子と文書スタイルの関連付け	148
専用設定	148
ファイル	148
開く	148
保存	148
段落認識	149
編集	150
カーソル	151
挿入	151
補完候補の取得	151
補完候補の表示	152
WZ imeの辞書	152
脚注	152
アウトライン	153
見出しの認識	153
目次の自動作成	153
ウィンドウ	153
表示設定 154	
スタイルの選択	154
専用設定メニュー	154
横書きと縦書きの同時表示	154
編集	154
カーソル	154
表示	155
文字数	155
縦書き	156
フォント	156
組版	156
行数	157
行番号	158
テキスト	158
色分け	159
IME	160
段落	160
挿入	161
リサーチ	161
アウトライン	161
見出しの表示	161
ウィンドウ	162
ツール	162
索引	162

段落設定 163	
スタイルの選択	163
表示	164
見出し1〜6の表示	164
本文の表示	165
箇条書きの表示	165
小見出の表示	165
桁揃えの表示	165
会話文の表示	165
段落スタイル1〜6の表示	166
字下げ段落1〜6の表示	166
文字装飾1〜6の表示	166
アウトライン	166
印刷設定 167	
ファイル	168
文字数・行数	168
用紙	168
トンボ	169
ヘッダ・フッタ	169
WZ Board 171	
ファイルメニュー	172
編集メニュー	173
検索メニュー	174
キー	174
WZ Grep 175	
Grep置換	176
Grepダイアログ	176
メニュー	178
WZ Tab Filer 179	
特徴	179
オープンダイアログ	179
サブフォルダの表示	179
テキストの編集	179
Grep検索	179
ドライブのフォルダー一覧	180
基本操作	180
ファイルメニュー	181
編集メニュー	182
検索メニュー	182
表示メニュー	183
タブメニュー	183
ウィンドウメニュー	184
WZ Filer 185	
基本操作	186
ファイルメニュー	187
編集メニュー	187
表示メニュー	188
ツールメニュー	188
ウィンドウメニュー	189

セットアップ

セットアップを起動すると「WZ セットアップ開始」と「WZ セットアップ選択」の選択画面を表示します。セットアップ方法を選択してインストールを開始します。

WZ セットアップ開始 「WZ 標準セットアップ」の自動インストールを開始します。

セットアップ先のフォルダは「Program Files\WZ Editor 8」、アイコンの作成・関連付けは規定となります。

WZ セットアップ選択 セットアップフォルダの指定と関連付けのオプションを選択してからインストールします。

セットアップの種類を「WZ 標準セットアップ」「個人専用セットアップ」「テクニカルサポート専用」から選択します。

セットアップ先のフォルダ、アイコンの作成、関連付けのオプションを選択します。

USB メモリへのセットアップ、Text-C プログラム向けです。

セットアップには WZ8 の「**シリアル番号**」と「**ライセンスキー**」が必要です。**シリアル番号とライセンスキーは大切に保存**してください。体験版ではシリアル番号・ライセンスキーは必要ありません。

- ・パッケージ版の方は、パッケージに同梱されています。
- ・オンライン版の方は、登録完了メールに記載されています。

「**シリアル番号**」と「**ライセンスキー**」は**正確に入力**してください。

- ・半角文字で英字の大文字／小文字を正しく入力します。
- ・ハイフンは半角のマイナス記号を入力します。

使用条件

- ・個人でご本人がご使用の場合に限り、1 ライセンスにつき 3 台までのコンピュータにインストールできます。インストールした本製品を同時に稼動することはできません。
- ・法人など複数の方でご使用の場合は、1 ライセンスにつき 1 台のコンピュータにインストールできます。本製品をインストールする台数分のライセンスをご購入ください。
- ・サーバにインストールして、複数台のクライアント PC からご使用される場合は、クライアント台数分のライセンスをご購入ください。(ライセンスパックをご利用ください)

本ソフトウェアに対するリバースエンジニアリング及び、改変は一切禁止します。付属の Text-C プログラムとサンプルプログラムのみ例外とします。詳細は使用許諾契約証をご確認ください。

WZ セットアップ開始

「WZ セットアップ開始」をクリックすると、自動でデフォルトの設定でインストールが開始されます。

- ・「WZ 標準セットアップ」となります。
- ・WZ の EXE プログラムと Text-C の登録プログラムを、共通の Windows プログラムフォルダ「C:\Program Files\WZ EDITOR 8」にセットアップします。
- ・スタートメニュー、デスクトップに WZ8 の起動アイコンを作成します。
- ・テキストファイルに関連付けをおこないます。

WZ8 の各種の設定内容は、ログオンのユーザー単位で保存されます。

Windows 8・7・Vista C:\Users\ユーザー名\AppData\Roaming\WZSoftware\WZ8Com

Windows XP C:\Documents and Settings\ユーザー名\Application Data\WZSoftware\WZ8Com

WZ セットアップ選択

「WZ セットアップ選択」では、セットアップの方法を下記の 3 種類から選択します。

(1) WZ 標準セットアップ

WZ の EXE プログラムと Text-C の登録プログラムは共通の Windows プログラムフォルダ「C:\Program Files\WZ EDITOR 8」にセットアップされます。「C:\Program Files」内の別フォルダへのセットアップも可能です。

WZ8 の各種の設定内容は、ログオンのユーザー単位で保存されます。

Windows 8・7・Vista C:\Users\ユーザー名\AppData\Roaming\WZSoftware\WZ8Com

Windows XP C:\Documents and Settings\ユーザー名\Application Data\WZSoftware\WZ8Com

(2) 個人専用セットアップ

WZ8 の EXE プログラムと Text-C の登録プログラムは、下記のログインユーザーのフォルダにセットアップされます。「C:\Program Files」を除く任意のフォルダにセットアップできます。USB メモリへセットアップする場合は、セットアップ先に USB メモリのフォルダを指定します。

「個人専用セットアップ」では、WZ8 の EXE プログラム・Text-C の登録プログラム・設定は、個人専用となります。Text-C プログラムの登録や設定変更も自由にできます。

WZ8 の各種の設定内容は、プログラムと同じフォルダに保存されます。

Windows 8・7・Vista c:\Users\ユーザー名\AppData\Roaming\WZSoftware\WZ EDITOR 8

Windows XP C:\Documents and Settings\ユーザー名\Application Data\WZSoftware\WZ EDITOR 8

(3) テクニカルサポート専用セットアップ

サポートのお問い合わせの前に設定やカスタマイズなどを初期化して、再現状況を確認するためのセットアップです。通常は使用しませんのでご注意ください。

専用の「wz8spp」フォルダにプログラムをセットアップします。デスクトップに起動用の「WZ8 Support」アイコンを作成します。

「WZ8 Support」から WZ8 を起動すると、起動の度に設定やカスタマイズが初期化されます。テクニカルサポート専用セットアップでは、Text-C は動作しません。WZ Grep などの Text-C で作成された WZ8 の標準機能は、使用できなくなります。

WZ セットアップ選択のオプション

「WZ セットアップ選択」では、セットアップのオプションを指定します。	
セットアップ先	WZ のプログラムをコピーするフォルダを指定します。
WZ の登録	スタートメニューやデスクトップに WZ8 の起動アイコンを作成します。
関連付け	テキストファイルや C プログラムに WZ8 を関連付けします。

セットアップの注意

Windows 8 の警告

Windows 8 においてソフトウェアをインストールまたは実行すると、Windows SmartScreen フィルター機能により、下記のメッセージ画面が表示される場合があります。

「Windows によって PC が保護されました。Windows SmartScreen は認識されないアプリの起動を停止しました。このアプリを実行すると、PC に問題が起こる可能性があります。」

当社製品には、スパイウェア、ウィルス等の疑いをもたれる機能は一切ございませんので、「詳細情報」をクリックし、「実行」をクリックして動作を続行してください。これにより PC に問題が起こることはありません。

ウィルス対策と常駐ソフトウェア

ウィルス対策ソフトウェアの誤判定や常駐ソフトウェアの影響によって、WZ8 のプログラムが削除されたりセットアップでエラーが発生する場合があります。

この場合はセットアップの前に、WZ8 を監視の対象から外す、ウィルス対策ソフトウェアや常駐ソフトを一時的に解除、すべてのウィルス対策ソフトや常駐ソフトの停止、Windows をシャットダウンして再起動の操作を必要に応じておこなってください。

プログラム互換性アシスタント

Windows 8/7/Vista では、WZ8 のセットアップ後に「プログラム互換性アシスタント」ダイアログボックスが表示される場合があります。「このプログラムは正しくインストールされました」を選択してください。

設定の引き継ぎ

WZ8 を新規セットアップすると、初回の起動時に WZ7/WZ6/WZ5 の設定の引き

継ぎの問い合わせをします。「はい」を選択すると、WZ7/WZ6/WZ5 の設定を WZ8 に引き継ぎます。

「いいえ」を選択した場合は、デフォルトの設定となります。後で WZ7/WZ6/WZ5 の設定を引き継ぐには、下記のメニュー操作をおこないます。

- ・WZ7 の設定を引き継ぐには、[ツール]メニューの[カスタマイズ]-[WZ7 の設定引き継ぎ...]を実行
- ・WZ6 の設定を引き継ぐには、[ツール]メニューの[カスタマイズ]-[WZ6 の設定引き継ぎ...]を実行
- ・WZ5 の設定を引き継ぐには、[ツール]メニューの[カスタマイズ]-[WZ5 の設定引き継ぎ...]を実行

WZ7/WZ6 からの引継

表示・文書・印刷・色分けスタイルと環境設定を引き継ぎます。スタイル名に「WZ7」「WZ6」を追加します。プロファイル・ファイルの履歴・検索文字列の履歴を引き継ぎます。その他の設定は、WZ8 で改めて設定します。

WZ5 からの引継

WZ8 の「表示スタイル」に WZ5 の「文書の設定」を引き継ぎます。スタイル名に「WZ5」を追加します。WZ5 の「文書の設定」見出し文字列の引継には対応していませんので、WZ8 で文書スタイルを新規作成して見出し文字列を設定します。

WZ5 の「環境設定」の引き継ぎには対応していませんので、WZ8 の「環境設定」で改めて設定します。その他の設定は、WZ8 で改めて設定します。

起動

WZ8 の起動には、下記の 4 種類の操作方法があります。

- ・スタートメニューから「WZ8」を実行
- ・「個人専用セットアップ」の場合は、「WZ8（ユーザ名）」を実行
- ・WZ フォルダの wzeditor.exe を実行
- ・エクスプローラから、テキストファイルを開く

ユーザアカウント制限の警告

Windows 8/7/Vista では、UAC（ユーザアカウント制御）によって、WZ8 の起動時に「ユーザアカウント制限」が表示される場合があります。

制限を解除するには、下記の操作をおこないます。

- ・WZ8 を起動するショートカットを右クリックしてプロパティを選択
- ・「ショートカット」タブから「詳細設定」をクリック
- ・「管理者として実行」を ON にして OK

改善されない場合は、更に下記の操作をおこないます。

- ・WZ8 のセットアップを起動
- ・「WZ セットアップ選択」から「個人専用セットアップ」で再セットアップ
- ・WZ8 の起動を確認

常駐

WZ8 を常駐するとタスクトレイやホットキーで WZ8 を起動します。

WZ8 を常駐するには下記の操作をおこないます。

- ・[ツール]メニューの[環境設定]を実行
 - ・「ウィンドウ」の、「WZ の常駐」を ON にして OK
- タスクトレイに WZ アイコンが常駐します。

常駐のカスタマイズ

下記の操作で WZ8 の常駐をカスタマイズできます。

- ・タスクトレイの WZ アイコンを、右クリックまたはダブルクリック
- ・メニューから「オプション」コマンドを実行、オプションダイアログを表示

ダブルクリックの動作 ダブルクリックの動作をカスタマイズ
「メニューを開く」「新規文書を開く」「クリップボードから WZ ボードへコピー」「WZ Board を開く」から選択

メニューのホットキー 「A～Z」と「なし」から選択 ([Ctrl+Alt+選択した英字キー]操作で WZ アイコンのメニューを表示)

新規作成ダイアログのホットキー
「A～Z」と「なし」から選択 ([Ctrl+Alt+選択した英字キー]で「新規作成ダイアログ」を表示)

開くのホットキー 「A～Z」と「なし」から選択 ([Ctrl+Alt+選択した英字キー]で「開く」のダイアログを表示)

最近開いたファイルのホットキー
「A～Z」と「なし」から選択 ([Ctrl+Alt+選択した英字キー]で「最近開いたファイル」のダイアログを表示)

前回終了時の復元のホットキー
「A～Z」と「なし」から選択 ([Ctrl+Alt+選択した英字キー]で「前回終了時の復元」機能を実行)

起動オプション

WZ8 は、コマンドラインからファイル名とオプションの指定で起動します。

wzeditor.exe ファイル名 オプション

ファイル名はフルパスで、空白を含む場合は""で括ります。

wzeditor.exe "c:\program files\wz editor\readme.txt"

オプションは、-と英数字で指定します。必要に応じてパラメータを指定します。
オプション指定の例を示します。

閲覧モードで起動 wzeditor.exe c:\test.txt -read

2 段落にジャンプ wzeditor.exe c:\test.txt -jmpara(2)

先頭にジャンプして file を検索
wzeditor.exe c:\test.txt -top -search("file")

オプションにメニューやキー割り当て用のコマンドを指定すると、コマンドを実行します。

先頭にジャンプして 2 文字右へ

wzeditor.exe c:\test.txt -top -right -right

コマンドの一覧は、[ツール]メニューの[コマンドの選択実行]をご覧ください。
/new オプションを指定すると、新しく WZ8 のプロセスを作成して起動します。
WZ8 をメールソフトの外部エディタとして起動する場合に指定します。

wzeditor.exe filename.txt /new

このほか各種オプションに対応しています。

文書スタイル指定 wzeditor.exe filename.txt -tag("文書スタイル名")

表示スタイル指定 wzeditor.exe filename.txt -view("表示スタイル名")

印刷スタイル指定 wzeditor.exe filename.txt -lpsty("印刷スタイル名")

WZ5 互換の行番号ジャンプ

wzeditor.exe /j 行番号 filename.txt

カーソル移動 wzeditor.exe filename.txt -rightb(移動バイト数)

WZ の常駐 wzeditor.exe @wzicon

WZ Board の起動 wzeditor.exe @board

WZ Tab Filer の起動 wzeditor.exe @filer7

WZ Filer の起動 wzeditor.exe @txfile

WZ Grep の起動 wzeditor.exe @txgrep

WZ Grep の検索例 wzeditor.exe @txgrep -folder("フォルダ名") -find("検索語") -mask("マスク") -rplace(0) -grep

WZ Grep の置換例 wzeditor.exe @txgrep -folder("フォルダ名") -find("検索語") -mask("マスク") -to("置換語") -rplace(1) -grep

Textc Mail の起動 wzeditor.exe @mailer

ウィンドウ位置 wzeditor.exe /window(左上 x,左上 y,右下 x,右下 y)

プロジェクトを開く wzeditor.exe filename.tpj

プロジェクトを開く wzeditor.exe /prjct("プロジェクトファイル名")

SDI モードで起動 wzeditor.exe /sdi

音声化を ON wzeditor.exe /speak

音声化を OFF wzeditor.exe /speak(0)

最新版のアップデート

WZ8 のマイナーアップデートの更新は、WEB でおこなっております。パッケージ版の方も WEB から最新版をダウンロードすることができます。

<http://www.wzsoft.jp/wz8/dload.htm>

下記の操作で最新版へのアップデートを定期的におこなってください。

- ・[ウィンドウ]メニューの[バージョン情報]を実行

- ・WZ8 のバージョン表示を確認

- ・「最新版の確認」をクリック

ブラウザが起動して WZ8 の最新版のダウンロードページへジャンプします。

- ・バージョン表記を比較して、必要なら WEB の「ダウンロード」をクリック

ダウンロードの注意

ブラウザは、Firefox、Windows Internet Explorer 8,7 を推奨いたします。

IE10,9 ではダウンロードでエラーが発生する場合がありますので、Firefox、IE8,7 などのブラウザでダウンロードをおこなってください。

IE10,9 の警告

Windows Internet Explorer 10,9 でダウンロードを実行すると、下記のメッセージ画面が表示される場合があります。

「wz80xx.exe を実行または保存しますか？この種類のファイルは PC に問題を起す可能性があります。」

「実行」または「保存」をクリックして動作を続行してください。これにより PC に問題が起こることはありません。

ユーザサポート

ユーザ登録

テクニカルサポートのお問い合わせには、ユーザ登録が必要となります。

・「オンライン版」「バージョンアップ版」「優待販売版」ユーザの方は、ご購入時に自動でユーザ登録が完了しています。

・「パッケージ版」をご購入のユーザの方は、WEB「<http://www.wzsoft.jp/wz8/support.htm>」の「新規ユーザ登録」から登録してください。

「ユーザ登録内容の変更」や「シリアル番号の確認」は、WEB「<http://www.wzsoft.jp/wz8/support.htm>」からおこないます。

テクニカルサポート

WZ8 のテクニカルサポートは、「オンライン版」「バージョンアップ版」「優待販売版」のユーザの方と、「パッケージ版」のユーザ登録がお済みの方が対象となります。

テクニカルサポートは、WEB「<http://www.wzsoft.jp/wz8/support.htm>」からの受付となります。電話やファクシミリや書面によるサポートはおこなっておりませんので、あらかじめご了承ください。

下記の項目を事前にご確認いただくことで、問題が解決する場合があります。

ヘルプ

ウィンドウメニューの「ヘルプ」でヘルプを表示します。

検索ボックスに検索キーワードを入力してご確認ください。

メニューコマンドと設定項目を右クリックすると、説明のヘルプを表示します。

ヘルプは随時更新されています。最新版のヘルプをご確認ください。

FAQ

よくある質問と回答「<http://www.wzsoft.jp/wz8/faq.htm>」をご確認ください。FAQ は随時更新されています。

最新版にアップデート

最新版を「<http://www.wzsoft.jp/wz8/dload.htm>」からアップデートして、機能をご確認ください。

最新版の修正と改良で、問題が解決する場合があります。

カスタマイズ

設定変更やカスタマイズの組み合わせが原因の場合がありますので、設定変更やカスタマイズを調整して動作をご確認ください。

常駐ソフトウェア

ウィルス対策ソフトウェアや常駐ソフトウェアが原因の場合があります。常駐ソフトウェアを解除して再度ご確認ください。

セットアップの関連事項

修復セットアップ

修復セットアップをおこなうと、WZ8 の設定が初期化されます。設定変更やカスタマイズによって正常に動作しなくなった時は、この操作をおこなってください。

- ・WZ8 をすべて終了
- ・WZ8 のセットアップを起動
- ・「修復セットアップをする」を ON にして、上書きセットアップ

インターネットと USB メモリ

WZ8 のセットアッププログラムは、約 7MB の一つの EXE ファイルです。

WZ8 のセットアップやご使用にはインターネット環境は必要ありませんので、インターネットからダウンロードしたファイルを USB メモリや CD-R メディアに保存しておく、インターネットに接続していない PC にもメディアからセットアップできます。

複数の WZ のセットアップ

WZ8 は 1 台の PC の複数のフォルダにセットアップして、個別に設定することができます。複数の WZ をセットアップするには、下記の操作をおこないます。

- ・セットアップを起動
- ・「WZ セットアップ選択」を選択
- ・「個人専用セットアップ」を選択
- ・「セットアップ先」に各フォルダを指定

関連付けは一箇所の特定のフォルダのみとなります。複数の WZ への関連付けはできませんので、ご注意ください。

Windows 8/7/Vista の関連付け

Windows 8/7/Vista では、WZ8 に関連付けたファイルが起動しないことがあります。

改善するには、下記の操作をおこないます。

- ・エクスプローラからファイルを右クリック
 - ・「プログラムから開く」から「規定のプログラムの選択」を実行
 - ・推奨されたプログラムから「WZ8」を選択して OK
- 推奨されたプログラムに表示されない場合は、
- ・WZ8 に切り替え

- ・[ウィンドウ]メニューの[バージョン情報]を実行、「情報のコピー」をクリック
- ・エクスプローラに切り替え
- ・「参照」をクリック、ファイル名に貼り付けて OK

レジストリの登録

WZ8 では下記の情報をレジストリに登録します。

- ・セットアップ時に HKEY_CLASSES_ROOT の「Applications¥wzeditor.exe」へ「WZ の EXE ファイル名」を登録
- ・セットアップ時に HKEY_LOCAL_MACHINE の「SOFTWARE¥Microsoft¥Windows¥CurrentVersion¥App Paths¥wzeditor.exe」へ、「WZ の EXE ファイル名」を登録
- ・セットアップ時にアンインストール情報を登録
- ・セットアップ時に HKEY_LOCAL_MACHINE または HKEY_CURRENT_USER の「Software¥WZSoftware¥WZ8」に、前回 WZ をセットアップしたフォルダ名を登録
- ・「拡張子を WZ8 に関連付け」「HTML の関連付け」を実行すると、「WZ の EXE ファイル名」を登録

アンインストール

WZ8 をアンインストールするには、下記の操作をおこないます。

- ・[ツール]メニューの[カスタマイズ]-[WZ8 のアンインストール...]を実行

WZ8 をアンインストールすると、本体プログラム、本体付属の Text-C プログラム、設定は削除されます。

- ・WZ を複数セットアップした場合は、別フォルダの WZ8 の環境はそのまま残ります。
- ・「WZ 標準セットアップ」の WZ をアンインストールすると、各ユーザの設定もすべてクリアされます。

コントロールパネルから WZ8 のアンインストールを実行すると、最後にセットアップした WZ8 をアンインストールします。

旧版の WZ

WZ8 のプログラムは旧バージョンの WZ7～WZ3 とは別のフォルダにセットアップされます。旧バージョンの WZ はそのまま残りますので継続してご使用が可能です。旧 WZ が不要になった時点でアンインストールしてください。

WZ8 のセットアップに、旧 WZ の CD-ROM やシリアル番号は必要ありません。

WZ7 からの変更点

WZ8 は WZ7 に機能を追加した上位互換のソフトウェアです。機能の追加にあたってメニューコマンドの配置を調整しました。

WZ6 からの変更点

[表示]メニューの[設定]コマンドを追加して、「表示スタイル」「文書スタイル」「環境設定」を一括で設定できるようになりました。

WZ7 から「Textc Mail」「インターネット検索」「Textc Ftp Filer」機能は、「Text-

C サンプルプログラム」の別ダウンロードとインストールが必要となりました。

WZ5 からの変更点

WZ6 にて Windows XP・Vista 向けに新規開発をおこないました。

WZ8 では WZ5 から機能・設定・ユーザインターフェースに改良や仕様の変更があります。

SDI ウィンドウ表示

→マルチタブ表示

SDI ウィンドウ表示にするには、[ツール]メニューの[環境設定]を実行、目次に「ウィンドウータブ」を選択、「SDI 表示」を ON、OK で設定します。

→「表示スタイル」と「文書スタイル」

文書の設定

TML 文書

→互換機能で表示

HTX 文書

→WZ8 の WEB-TO 機能で対応（通常テキストを WEB 用に変換）

罫線文字の作表

→桁揃えで対応（タブでの桁揃え表示のみ）

プログラム言語 TX-C

→プログラム言語 Text-C

WZ MAIL

→サンプルプログラム「Textc Mail」

WZ8 では、WZ5 の「文書の設定」などの引き継ぎが可能です。

文書の設定

[ツール]メニューの[カスタマイズ]-[WZ5 の設定引き継ぎ...]を実行します。「文書の設定」の項目を引き継ぎます。ファイルの引き継ぎは、WZ Board を起動して「挿入」メニューから実行します。

WZ Board

TX-C

TX-C のプログラムは、Text-C の互換機能での動作となります。移植や書き換えが必要となる場合があります。

Text-C についての詳細は、「Text-C のヘルプ」をご参照ください。

WZ MAIL

メールフォルダは、コンバート機能で「Textc Mail」に移行できます。

メールアカウントやパスワードの各種設定は「Textc Mail」で再設定が必要です。

「メール」「蓄積型テキスト WEB ブラウザ」「ノート」に対応します。

「WZ NETNEWS」「BBS」「NIFTY」は廃止されました。

その他の設定

印刷スタイル、検索スタイルなどの、その他の設定の引き継ぎには対応していませんので、WZ8 にて改めて再設定をしてください。

基本操作

WZ8は「テキストファイル」を編集する「テキストエディタ」です。テキストファイルは、文字、タブ、改行からなるファイルです。各種の OS（Windows、Mac、iOS、Android、Unix、他）や各種のソフトウェアと相互にファイルの受け渡しができます。

テキストファイルはプログラム、文書、HTML、各種のデータファイル形式として利用されています。プログラムファイルは「.c」「.cpp」「.java」、文書ファイルは「.txt」など、用途に応じて各種のファイル拡張子が用いられます。

テキストエディタでは、改行で区切られた文字の列は「段落」となり、画面の横幅や指定の文字数によって段落を折り返して表示します。タブで区切られた文字の列は「桁」となり前後の段落と桁を揃えた表形式の表示も可能です。

WZ8では拡張子やファイル単位に「文書設定」を切り替えることによって、プログラム、文書、データ、それぞれの用途に適した表示や機能を自動的に選択します。

カーソル移動

カーソル移動は、文字単位、単語単位、行単位、段落単位に対応しています。

[←][→]	文字単位でカーソルを移動
[↑][↓]	行単位でカーソルを移動
[Ctrl+←][Ctrl+→]	単語単位でカーソルを移動*
[Home]	行頭へカーソルを移動*
[End]	行末へカーソルを移動*
[Ctrl+Home]	文書先頭へカーソルを移動*
[Ctrl+End]	文書末尾へカーソルを移動*

[検索]メニューの[ジャンプ]

ジャンプダイアログを表示（段落、行、ページ、最後の編集箇所、URL、見出し、変更行へ移動可能）

[表示]メニューの[カーソル位置の切り替え]

カーソルの表示位置を「画面上部」「中央部」「下部」へ移動（カーソルの編集位置は保ちます）

*は、「Windows 標準キー定義」のキー操作で有効となります。

編集

文字、単語、行、段落の削除、段落の入替、各種の変換に対応しています。

[Del]	文字を削除
[Ctrl+Delete]	単語を削除*
[Ctrl+.]	段落を上方向に入れ替え*
[Ctrl+,]	段落を下方向に入れ替え*

[編集]メニュー 切り取り、コピー、貼り付け、追加切り取り、追加コピー

[編集]の[変換]サブメニュー

半角と全角の変換、大文字と小文字の変換、改行と空白行の削除、行頭の文字の削除

[編集]の[空白の変換]サブメニュー

行頭の空白の削除、連続空白を1つに変換、空白の削除、英数字の前後の空白の調整

[編集]の[段落]サブメニュー

段落の入れ替え、インデントの挿入と削除、重複行の削除、段落の2重化

[Alt+Backspace]

前回の文字入力や編集の取り消し（アンドゥ）

*は、「Windows 標準キー定義」のキー操作で有効となります。

マウス

クリック、ドラッグ、右クリックの各種のマウス操作に対応しています。

クリック

クリックした箇所へカーソルを移動

ダブルクリック

クリック箇所へカーソルを移動、単語単位の範囲選択を開始、続けてドラッグで範囲選択を拡大

トリプルクリック

クリック箇所へカーソルを移動、段落単位の範囲選択を開始、続けてドラッグで範囲選択を拡大

4回クリック

クリック箇所へカーソルを移動、文章全体を選択

Shift+クリック

範囲選択を開始、クリック箇所へカーソルを移動（範囲選択中は選択開始地点からクリック箇所までを選択）

ドラッグ

文字単位の範囲選択の開始、範囲の変更

Alt+ドラッグ

箱型範囲選択（矩形選択）の開始、範囲の変更

Alt+クリック

カーソル位置からクリック箇所まで、箱型（矩形）選択

右クリック

コンテキストメニューを表示

Ctrl+クリック

URL上で実行すると、WEBブラウザやメーラーで開く

OLE ドラッグアンドドロップ

範囲選択内をドラッグして他ウィンドウへのドロップで、ドラッグアンドドロップを実行

ドロップ

エクスプローラやデスクトップのアイコンのWZ8へのドロップで、ファイルを開く

右ドロップ

エクスプローラやデスクトップのアイコンをマウス右ボタンでWZ8にドロップすると、ファイル名を挿入

行番号のクリック・ドラッグ

行単位の選択の開始、範囲の変更

タイトルバーの右クリック

「タイトルバー」「メニューバー」「ステータスバー」のカスタマイズメニューを表示（メニューバーとツールバーの余白部分の右クリックでも表示）

ウィンドウ

WZ8 では同時に複数の文書を開いて編集できます。一つの WZ ウィンドウに複数のタブを開いて文書を表示します。文書を切り替えるには下記の操作方法があります。

- ・切り替え先のタブをクリック
- ・[ウィンドウ]メニューの[ウィンドウ一覧]を実行、「ウィンドウ一覧」ダイアログから切り替え
- ・[ウィンドウ]メニューの[タブの切り替え]による、2 つの文書の交互の切り替え
- ・[Ctrl+Tab]キーを数回押して、文書を切り替え
- ・[ウィンドウ]メニューの[前のタブ]、[ウィンドウ]メニューの[次のタブ]の実行

WZ8 のウィンドウを 2 つに分割して文書を並べて表示できます。

- ・[ウィンドウ]メニューの[分割ビューの切り替え]を実行
- ・文書のタブをドラッグアンドドロップして文書の並びを変更

文書を別ウィンドウで表示できます。

- ・文書のタブをダブルクリック

別ウィンドウの文書をマルチタブに戻します。

- ・文書のタブをドラッグアンドドロップして、元のウィンドウへ移動

タブはドラッグアンドドロップ操作に対応しています。

- ・タブをドラッグして WZ8 の他の分割ビューへドロップで、タブを移動
- ・タブをドラッグして他の WZ8 にドロップで、タブを移動
- ・タブをドラッグして他のアプリケーションにドロップで、ファイルをアプリケーションで表示
- ・タブをドラッグしてデスクトップやエクスプローラにドロップで、ファイルをコピー

タブの表示は、タブの右クリックメニューからカスタマイズできます。

ソート	タブの並びを文書のファイル名や更新時間でソート
タブの設定	タブの表示の設定ダイアログを表示（縦書き／横書き、上下／左右、変更文書の太字表示を設定可能）
タブを表示する／隠す	タブの表示の ON/OFF を切り替え
クリップボードに出力	タブのファイル名とテキストバッファをクリップボードに出力

多重化

WZ8 では、1 つのテキストを複数のウィンドウで開くことができます。それぞれのウィンドウで独立した検索ジャンプや編集操作に対応しています。新しいウ

ィンドウでテキストを編集すると、元のウィンドウにも反映されます。新しいウィンドウでテキストの別の箇所を参照して、元のウィンドウに戻ることができます。

文書を複数のウィンドウで開くには、[ウィンドウ]メニューの[多重化 別ウィンドウ]を実行、複数のタブで開くには、[ウィンドウ]メニューの[多重化]を実行します。

ウィンドウの最前面表示

WZ8 のウィンドウは、下記の操作で最前面に固定表示できます。

- ・WZ のタイトルバーまたはメニューバーを右クリック
- ・メニューの「最前面に表示」をクリック

下記の操作で、起動時から最前面に表示する設定も可能です。

- ・[ツール]メニューの[環境設定]を実行、目次から「ウィンドウ」を選択
- ・「最前面に表示」を ON にして OK

コマンド

WZ8 には約 500 のコマンドがあり、その中の約 200 がメニューに割り当てられています。メニューにないコマンドは、[ツール]メニューの[コマンドの選択実行]から実行します。

キーに割り当てられているコマンド一覧は、[ツール]メニューの[カスタマイズ]-[キー一覧]で確認できます。

ガイドヘルプ

下記の操作でメニューやダイアログのガイドヘルプのポップアップを表示します。

- ・メニューコマンドを右クリック
- ・ダイアログの項目名にマウスカーソルを移動
- ・ダイアログのボタンを右クリック

ガイドヘルプでは下記の操作に対応しています。

方向キー	ヘルプを消去
マウス移動	マウスカーソルのヘルプの外側への移動でヘルプを消去
右クリック	ガイドヘルプをダイアログで表示
リンククリック	ヘルプの下線表示のクリックで、リンク先へジャンプ
[?] ボタン	WZ8 ヘルプで、詳細のヘルプを表示

ファイル

対応ファイル形式

テキスト

「テキスト文書」はベタテキストとして雑誌や書籍の流し込みテキストやメモの用途で利用されています。WZ8 では「アウトライン」「段落スタイル」「文字組版」「図の埋め込み」「PDF 出力」によって、書籍に近い形態で配付用の各種ドキュメントを作成できるようになりました。

青空文庫

「青空文庫形式」のルビや注釈を含むテキストファイルに対応しています。先頭付近に【テキスト中に現れる記号について】を含む文書を青空文庫形式として開きます。

手動で青空文庫形式に設定するには、

- ・[ファイル]メニューの[文書設定の一覧]を実行
- ・「文書スタイルの一覧」から「青空文庫文書」を選択して OK

JIS

「JIS 形式」のルビや注釈を含むテキストファイルに対応しています。先頭付近に__||.tag.jis__を含む文書を JIS 文書として開きます。WZ8 のヘルプおよびマニュアルは、JIS 文書で作成されています。

手動で JIS 形式に設定するには、

- ・[ファイル]メニューの[文書設定の一覧]を実行
- ・「文書スタイルの一覧」から「JIS 文書」を選択して OK

PDF Book

WZ PDF Book は、PDF の出力イメージに加えてテキスト、設定、表紙、序文、目次、索引、奥付、図を埋め込んだ PDF ファイルです。

- ・ファイル拡張子は「.txt.pdf」のように、テキストファイルの拡張子に.pdf を付加した名前となります。
- ・Adobe Reader で開くと、テキストの出力イメージを表示します。
- ・WZ8 で拡張子が.pdf のファイルを開くと、WZ PDF Book の判定をおこないタイトルバーに「WZ PDF Book Editor」と表示して本文テキストの編集モードとなります。
- ・上書き保存すると、PDF の埋め込みテキストを更新します。
- ・印刷すると、PDF の出力イメージと埋め込みテキストを更新します。
- ・テキスト、青空文庫、JIS の段落体裁と文字装飾や段落体裁に対応します。
- ・文字コードはシフト JIS を Unicode 特有文字に対応した SJIS-EX となります。

参考：PDF Book ファイルを WZ8 以外のソフトウェア（Acrobat、Reader、PDF 追記ソフトなど）で編集すると、WZ8 では編集できなくなりますので、ご注意ください。

PDF Book を作成するには、「テキストファイルから作成」「新規作成」「WZ PDF Book から作成」の 3 通りあります。

- ・テキストファイルから作成するには、[ファイル]メニューの[PDF 出力モード]を ON にして[ファイル]メニューの[印刷]を実行して PDF 出力をします。出力された PDF ファイルが PDF Book となります。
- ・新規作成するには、[ファイル]メニューの[新規作成ダイアログ]を実行して一覧から「PDF Book」を指定して OK します。
- ・WZ PDF Book から作成するには、WZ8 で PDF Book を開いて[ファイル]メニューの[新規作成]を実行します。設定を受け継いで新規文書が開きます。

PDF Book 特有の編集機能については、[編集-PDF Book]の章をご覧ください。

プログラム

C プログラムをはじめとした各種プログラムファイルの編集機能に対応しています。

- ・C・C++・Java 関数定義のアウトライン、関数定義のグローバル検索、ブロックの折りたたみ表示
- ・リサーチ入力による変数名、関数名、構文の補完入力
- ・予約語、文字列、数値、コメント、演算子の色分け表示
- ・タグジャンプ、外部ヘルプ

HTML

タグの色分け、タグの表示 OFF、文字参照の置き換え表示、タグのアトリビュート編集、タグの選択挿入、CSS アトリビュート編集、HTML タグと CSS プロパティの補完入力に対応しています。

HTML 特有の編集機能については、[編集-HTML]の章をご覧ください。

TeX

TeX ファイルは、主に数式を含む理数系の論文や書籍の標準的なフォーマットです。

拡張子「.tex」のファイルを開くと、TeX 表記によるアウトライン、数学記号や表体裁の表示、各種の編集支援機能が有効となります。リサーチ入力による TeX コマンドの補完入力にも対応します。

TeX 特有の編集機能については、[編集-TeX]の章をご覧ください。

TSV ファイル

タブ区切りのデータを編集するには、下記の操作をおこないます。

- ・ファイルを WZ8 で開く
- ・[ファイル]メニューの[文書設定の一覧]を実行
- ・「タブ区切りテキスト」を選択して OK

タブ区切りのデータを桁揃え表示します。

CSV ファイル

カンマ区切りのデータを編集するには、下記の操作をおこないます。

- ・ファイルを WZ8 で開く
- ・[ファイル]メニューの[文書設定の一覧]を実行
- ・「CSV テキスト」を選択して OK

半角のカンマ区切りのデータを桁揃え表示します。

"..."内のカンマは区切り記号ではなく、データとみなします。

桁データの段落は、折り返しなしで一行で表示されます。

脚本

WZ8では脚本やシナリオの編集に対応しています。原稿用紙表示、柱のアウトライン表示、ト書きの字下げ、会話文認識に対応しています。

文書を作成するには、[ファイル]メニューの[新規作成ダイアログ]を実行、「脚本」を選択、OKを実行します。

バイナリファイル

WZ8でバイナリファイルを開くと、ファイルをバッファに読み込んで、バイナリデータを文字で表示します。

バイナリ編集をおこなうには、[ファイル]メニューの[開く]-[バイナリ編集]を実行します。

- 表示が切り替わり、ファイルの内容がバイト単位の 00-FF の 16 進数値で表示されます。

- [0]-[F]のキー入力と[Del][BS]キーで、バイナリデータを編集します。

通常編集に戻すには、再度[ファイル]メニューの[開く]-[バイナリ編集]を実行します。

その他のファイル形式

イメージファイル

WZ8でJPEG・PNG・BMPファイルを開くと、画像を表示します。

体裁文書

「体裁文書」はWZ6の「ルビ」「文字装飾」「段落体裁」に対応したテキストファイル形式です。体裁文書ではテキストタグを<英語>と</英語>で表記します。WZ8では、「ルビ」のテキストタグの指定は廃止されました。

TML 文書

「TML 文書」は、WZ5/WZ4の「ルビ」「文字装飾」「段落体裁」に対応したテキストファイル形式です。WZ8ではルビや文字装飾のテキストの作成は「青空文庫文書」「JIS 文書」を推奨します。WZ8では互換機能でTMLの見出し・字下げ・ルビ・太字・下線・斜体・上付き・下付きを認識してテキストを表示します。TML 文書では、「タグの表示」をOFFにすると、「桁揃え」を認識して表示に反映します。

ファイルの作成

テキストファイルを作成するには、[ファイル]メニューの[新規作成ダイアログ]を実行して、「新規作成」のダイアログを表示します。

一覧から作成するテキストファイルを選択してOKします。

テキスト	日本語文書、原稿、小説、論文
青空文庫テキスト	青空文庫形式によるルビや傍点に対応した日本語文書
JIS テキスト	JIS 形式によるルビや傍点に対応した日本語文書
HTML テキスト	HTML テキスト
TeX テキスト	TeX 形式による論文

C プログラム

C プログラム

[ファイル]メニューの[新規作成]を実行すると、現在開いている文書と同じテキストファイルを作成します。

新規作成を実行すると、新しく「無題」の文書のタブが開いて、文章の入力を開始できます。文章はバッファに入力されます。

保存

文章をファイルに出力するには、[ファイル]メニューの[上書き保存]を実行します。

- ファイル名の付いた文書は、バッファの内容がファイルに上書き保存されます。
- 「無題」の文書は、「名前を付けて保存」ダイアログが表示されます。文書のファイル名を入力してOKすると、バッファの内容がファイルに保存され、文書に名前が付けられ、タブに名前が表示されます。「自動」をクリックすると、文書に自動で名前を付けます。

閉じる

文書を閉じるには、[ファイル]メニューの[閉じる]を実行します。

バッファを保存していない場合は、「保存しますか？」の問い合わせが表示されます。

保存する ファイルに上書き保存して文書を閉じます。

保存しない バッファの内容を破棄して文書を閉じます。

キャンセル 保存を取り消して文書の編集に戻ります。

誤まって「保存しない」を選択して入力内容を破棄した場合は、下記の操作で破棄した文書を取り出せます。

- 文書ファイルを開く
- [ファイル]メニューの[開く]-[バックアップを開く]を実行
- 「バックアップ」の一覧から文書を選択
- 必要な文書内容を[Shift+方向]キーで選択し、Ctrl+C でコピー
- 文書に[編集]メニューの[貼り付け]で貼り付け

作成中の文書が失われた場合も、上記の操作で失われた部分の回復が可能です。

WZ8では、定期的にバッファの内容をバックアップに自動保存しています。

オープン

WZ8で既存のテキストファイルを表示／編集するには、ファイルオープンの操作を実行します。

- ファイルを開くと、新しく文書のタブが作成されます。
- ファイルがバッファに読み込まれて表示され、入力や編集操作がおこなえます。

WZ8で最近開いたファイルは、ファイルメニューから選択するだけでオープンできます。最新の10個までのファイルがメニューに表示されます。

メニューにないファイルを開くには、下記の操作をおこないます。

- [ファイル]メニューの[履歴]を実行

- ・ファイル名一覧から選択して OK
- 履歴にないテキストファイルを開くには、下記の操作をおこないます。
- ・[ファイル]メニューの[開く]を実行
- ・ファイルを選択して OK

プロファイル

WZ8 ではファイルオープン時にプロファイルを参照して、カーソル位置、表示設定、アウトライン表示を前回終了時の状態に復元します。

WZ8 で最近開いた文書が 300 個までプロファイルに記憶されます。

ファイルの部分読み込み

数 10MB を超えるファイルの編集は動作が重くなる場合があるため、ファイルの一部だけを読み込んだ編集に対応しています。環境設定の「ファイルー開く」で「ファイルサイズの確認」を指定しておく、指定以上のサイズのファイルのオープンの前に確認と部分読み込みのダイアログを表示します。

部分読み込みの位置 ファイルから読み込む開始位置を、先頭からの MB 単位で指定します。0 を指定すると先頭から読み込みます。

部分読み込みのサイズ 読み込むサイズを、MB 単位で指定します。

改行で区切る ON にすると、改行区切りで部分読み込みします。

表示モード **テキスト** 通常のテキストとして開きます。

バイナリ バイナリで開きます。テキストより高速です。

レコード 1 行のバイト数を指定して開きます。ASCII コードは対応する文字、他のデータは[,]で表示されます。

レコード 「レコード」表示の 1 行のバイト数を指定します。

ファイル名の検索

フォルダの多数のファイルから、ファイル名の一部を指定してファイルを検索することができます。

- ・[検索]メニューの[グローバル検索]-[WZ Grep]を実行、「Grep」ダイアログを開く
- ・「検索オプションー動作モード」を「ファイル名を検索」に選択
- ・「検索オプションー検索モード」を「基本」「曖昧」に選択
- ・「検索」「フォルダ」「マスク」を指定
- ・「サブフォルダも検索」などの必要なオプションを指定して OK

プロジェクト

プロジェクトは複数開いたファイルをプロジェクトファイルに記憶して、復元する機能です。

プロジェクトに記憶

現在開いているすべての文書のファイル名をプロジェクトファイルに保存するには、[ファイル]メニューの[保存／終了]-[プロジェクトを保存]を実行、プロジェ

クトファイル名を入力、OK すると、プロジェクトファイルに保存します。プロジェクトファイルの拡張子は.tpj となります。プロジェクトファイルには、下記の情報が記憶されます。

- ・オープン中の文書のファイル名
- ・文書ごとのカーソル位置、文書スタイル、表示スタイルの情報
- ・多重化の状態
- ・起動中のツール

WZ8 のウィンドウを複数開いていた場合でも、記憶操作した 1 つのウィンドウをプロジェクトに保存します。

プロジェクトを開く

プロジェクトを開くには、[ファイル]メニューの[開く]-[プロジェクトを開く]を実行、プロジェクトファイルを指定、OK します。新しいウィンドウを作成してプロジェクトに含まれているすべての文書を開きます。

最近使用したプロジェクトを開くには、[ファイル]メニューの[開く]-[最近開いたプロジェクト]を実行、「最近開いたプロジェクトダイアログ」のファイル一覧からファイルを選択、OK します。ダイアログは、履歴の整理や編集に対応します。

開く

編集

整理

「プロジェクトを開く」を実行

履歴ファイルを開いて編集

ファイル一覧から、存在しないファイル名を削除

プロジェクトを閉じる

プロジェクトを閉じるには、[ファイル]メニューの[終了]を実行します。開いていたファイルは、プロジェクトに出力されます。

プロジェクトを更新しないで閉じるには、[ファイル]メニューの[保存／終了]-[復元しない終了]を実行します。開いていたファイルのプロジェクトファイルへの保存はスキップされます。

テキストオープンダイアログ

テキストオープンダイアログは、フォルダやファイルを一覧表示して、開くファイルを選択する機能です。

- ・特定文字列を含むファイルの検索、ファイルの削除、ファイルやフォルダの新規作成も可能です。

テキストオープンダイアログは、下記の 3 種類の操作で開きます。

- ・[ファイル]メニューの[開く]-[オープンボックス]を実行
- ・[ファイル]メニューの[開く]-[オープンツール]を実行（ツールビューに表示）
- ・「環境設定」の「ファイルーダイアログ」の「ファイル選択ダイアログ」を「テキストオープンダイアログ」に設定後、[ファイル]メニューの[開く]を実行

フォルダ・ファイル表示

フォルダー一覧

ファイル一覧

コンピュータのフォルダー一覧を表示します。

「フォルダー一覧」で選択したフォルダのファイル一覧を表示します。

	ファイル名の一部を入力すると絞り込み表示します。 [Enter]キーを押すとファイルを開きます。 「ファイル一覧」で選択したファイルの先頭をプレビュー表示します。
ファイル内容	
ファイル名	フォルダ名（例）「c:¥」を入力して[Enter]キーを押すと、フォルダを開いてファイル一覧を表示します。 ファイル名を入力して[Enter]キーを押すとファイルを開きます。
ツールバー	
開く	「ファイル名一覧」で選択したファイルを開きます。
閉じる	ダイアログを閉じます。
最近開いた文書	「フォルダー一覧」の「最近開いた文書」（仮想フォルダ）を開きます。「ファイル一覧」に最近開いた文書の一覧を表示します。プレビューも表示されます。
検索	「ファイル一覧」から検索文字列を含むファイルを検索します。
名前／テキスト	「ファイル一覧」にテキストファイル先頭部のテキストを、表示する／表示しないを切り替えます。
文書のフォルダドキュメント	編集中文書ファイルのフォルダを開きます。 「ドキュメント」（XP はマイドキュメント）フォルダを開きます。
デスクトップホーム	「デスクトップ」フォルダを開きます。 「標準フォルダ」を開きます。
最近開いたフォルダ	標準フォルダは「環境設定」で指定します。 最近開いたフォルダの一覧を表示します。
新しい順/名前順	選択したフォルダを開きます。 ファイル一覧のソートを新しい順/名前順に切り替えます。
ファイルメニュー	
開く	WZ8 でファイルを開きます。
アプリケーションで開く	ファイル拡張子の関連付けアプリケーションを起動します。 （例）jpg なら「画像とビデオ」を開きます。
プロパティ	ファイルの名前や属性を変更するダイアログを表示します。
新規作成	ファイルを新規作成します。
削除	ファイルを削除して WZ8 のごみ箱に入れます。
消去	ファイルをごみ箱に入らずに完全に削除します。
終了	テキストオープンダイアログを閉じます。
検索メニュー	
ファイル一覧	「ファイル一覧」の絞り込みダイアログを表示します。

ファイル内容 フォルダ内の検索	カレンダー表示では無効です。 「ファイル内容」の絞り込みダイアログを表示します。 「フォルダー一覧」のファイルから文字列を検索します。 ダイアログで検索文字列を指定して OK すると、ファイル一覧と検索箇所の位置を表示します。 プレビューで内容を確認して[Enter]でジャンプします。 ファイルを更新すると、自動で再検索を実行します。 「絞り込み」や「フォルダ内の検索」を解除します。
検索の解除	
表示メニュー	
環境設定	表示をカスタマイズするダイアログを表示します。
新しい順～小さい順	「ファイル一覧」をソート表示します。
サブフォルダの表示	サブフォルダの表示 ON/OFF を切り替えます。
バイナリファイルの表示	バイナリファイルの表示 ON/OFF を切り替えます。
ファイル内容を一覧に表示	ファイル先頭部分の表示 ON/OFF を切り替えます。 「フォルダー一覧」「ファイル一覧」を最新の表示に更新します。通常は自動で更新されます。
最新の内容に更新	
フォルダメニュー	
新しい順～名前順	「フォルダー一覧」をソート表示します。
フォルダを開く	「フォルダ名の指定」ダイアログを表示します。 指定したフォルダにジャンプします。
プロパティ	フォルダの名前を変更するダイアログを表示します。
新規作成	フォルダ名を指定して新しいフォルダを作成します。
削除	「フォルダー一覧」の選択フォルダを確認後に削除します。 ファイルをごみ箱に入れずに完全に削除します。 フォルダの情報を表示します。
情報	
ウィンドウメニュー	
画面の一覧	WZ8 のタブの一覧を表示します。 一覧で選択して OK するとその画面に切り替えます。
プレビューを表示	「ファイル内容」の表示 ON/OFF を切り替えます。
ごみ箱	WZ8 のごみ箱を表示します。「戻す」のクリックで、削除ファイルを元のフォルダに戻します。ごみ箱のファイルは一定日数が経過すると自動的に削除されます。
文書の変換	
	WZ8 では「JIS テキスト」で作成したテキストファイルを、他のテキストファイル形式に変換できます。 ・[ツール]メニューの[文書設定の変換]を実行 ・「文書スタイルの一覧」ダイアログで、「変換先の文書スタイル」を選択し

て OK

青空文庫 「ルビ」を《ルビ》の表記に変換します。
Word テキスト 「ルビ」を（ルビ）の表記に変換します。
テキスト 「見出し文字列」「テキストタグ」「ルビ」を削除します。

「Word テキスト」や「青空文庫テキスト」から、「JIS テキスト」形式に変換するには、下記の操作をおこないます。

- ・テキストを開く
- ・[ファイル]メニューの[文書設定の一覧]を実行
- ・「Word テキスト」や「青空文庫テキスト」を選択して OK
- ・[ツール]メニューの[文書設定の変換]を実行
- ・「文書スタイルの一覧」ダイアログで、「JIS テキスト」を選択して OK

改行付きテキストの変換

プレーンテキストと改行付きテキストの相互変換は、下記の操作をおこないます。変換結果はクリップボードに出力されます。

- ・[ツール]メニューの[テキストの変換]を実行
- ・「テキストを改行付きテキストに」や「改行付きテキストをテキストに」を実行

印刷と PDF 出力

プリンタ出力と PDF 出力は[ファイル]メニューの[PDF 出力モード]で切り替えます。「PDF 出力モード」を OFF にするとプリンタ出力、ON にすると PDF 出力を実行します。PDF 出力モードはファイル単位に ON/OFF でき、一度切り替えるとファイルを閉じてでも記憶します。

WZ8 では PDF 出力用に最適化した座標や折り返しの計算をおこないます。印刷プレビューの表示もプリンタ出力と PDF 出力では結果が異なります。「PDF 出力モード」で出力先を指定してから印刷プレビューをおこなってください。

印刷プレビュー

印刷プレビューは、印刷を実行する前に印刷結果に近い画面を表示する機能です。画面上でテキストの用紙上の配置とページの切れ目や全体のページ数を確認できます。

印刷プレビューに切り替えるには、[ファイル]メニューの[印刷プレビュー]を実行します。再度コマンドを実行すると通常編集画面に戻ります。

印刷プレビューではツールバーが印刷用に切り替わります。ツールバーから「印刷スタイル」を切り替えると、プレビューの表示が切り替わります。

印刷プレビューでは、簡易的な編集作業も可能です。空白行を追加または削除して、ページ送りを調整してから印刷できます。印刷プレビューの表示は簡易的なため、文字がかすれる場合があります。印刷プレビューには下記の制限があります。

- ・実寸計算の座標を画面用に縮小表示しているため、文字、罫線、行間、余白の表示に、かすれやちらつきが生じる場合があります。通常の編集作業

は印刷プレビューを OFF にして編集画面でおこないます。

- ・印刷ダイアログでプリンタを切り替えると、解像度の違いによってプレビューと印刷結果が一致しない場合があります。プリンタを切り替えた場合は、「プレビュー」をクリックして印刷ダイアログを閉じてから印刷してください。
- ・用紙サイズやプリンタの余白の限界値のチェックはおこないませんので、印刷プレビューでは表示され、印刷結果では印刷されない場合があります。

印刷スタイル

印刷の折り返しやフォントの指定は、印刷専用の「印刷設定」でおこないます。通常編集画面の折り返しやフォントの表示設定とは別に指定します。

WZ8 では、下記の印刷設定が標準で用意されています。印刷設定は変更、追加、削除ができます。「設定」の章をご覧ください。

A4 横書き	A4 の 1 段組の印刷スタイル
A4 横書き (2 段組)	A4 の 2 段組の印刷スタイル
A4 横書き (雑誌原稿)	A4 の 3 段組の印刷スタイル
B5 横書き	B5 の 1 段組の印刷スタイル
A4 縦書き	A4 の縦書きの印刷スタイル
A4 縦書き 40 文字 40 行	A4 の縦書き 40 文字 40 行の印刷スタイル
A4 縦書き 40 文字 40 行 (見開き)	A4 の縦書きの見開き印刷スタイル
B5 縦書き	B5 の縦書きの印刷スタイル
B5 縦書き 40 文字 40 行	B5 の縦書き 40 文字 40 行の印刷スタイル
B5 縦書き 40 文字 40 行 (見開き)	B5 の縦書きの見開き印刷スタイル

印刷の実行

印刷を実行するには、下記の操作をおこないます。

- ・[ファイル]メニューの[印刷]を実行
- ・PDF 出力では、PDF 出力先のダイアログでファイル名を指定して OK
- ・プリンタ出力では、印刷ダイアログでプリンタや印刷範囲を指定して OK

プリンタの切り替え

印刷ダイアログでプリンタを切り替えると、印刷プレビューと印刷結果でページの切れ目や図の大きさが一致しないことがあります。この場合は、下記の操作をおこないます。

- ・「プレビュー」をクリック、印刷プレビュー表示を確認、印刷を実行

PDF 出力ファイルの指定

「PDF 出力モード」を ON にして「印刷」を実行すると、PDF 出力先のダイアログを表示します。フォルダとファイル名の指定が可能です。

デフォルトでは文書ファイルのフォルダに、文書ファイル名に拡張子「.pdf」を付加したファイルに出力します。

例：document\text.txt → document\text.txt.pdf

出力先の PDF ファイルが存在する場合は、WZ8 が出力した PDF ファイルの場合はそのまま上書き出力します。他の PDF ファイルの場合は上書きの問い合わせ

をします。
出力完了後に PDF ファイルを Adobe Reader で開きます。
環境設定の「ファイルーPDF 出力」で出力のカスタマイズが可能です。

PDF のフォント

WZ8 の PDF 出力では、PDF 規格に標準で含まれている「明朝」「ゴシック」「Times Roman」「Helvetica」「Courier」フォントのみの対応となります。
その他のフォントは適宜、上記の対応フォントに置き換えて出力されます。
・「MS ゴシック」「メイリオ」→「ゴシック」
・「MS 明朝」→「明朝」
・「MS P ゴシック」→全角文字は「ゴシック」、半角文字は「Helvetica」
フォントの埋め込みはおこないませんので、PDF を閲覧する端末環境によっては意図した表示と異なる場合があります。

PDF Book

WZ8 で作成した PDF ファイルは、WZ PDF Book 規格のファイルとなります。
・出力元のテキストを PDF ファイルに埋め込みます。
・PDF ファイルを WZ8 で開くと、埋め込みテキストを表示します。
編集して上書き保存すると、埋め込みテキストを更新します。
・PDF ファイルを WZ8 で開いて PDF 出力を実行すると、埋め込みテキストを元に PDF 出力を更新します。
・PDF ファイルに、表示・文書・印刷・段落の設定を埋め込みます。
・印刷を実行すると、表紙～奥付までを通して出力します。

ヘッダ・フッタ

ページ番号やファイル名の用紙の上下部分への印刷に対応しています。ヘッダやフッタを指定するには、下記の操作をおこないます。
・[表示]メニューの[設定]を実行
・設定項目から「印刷設定」のヘッダとフッタを選択
・「ヘッダ」や「フッタ」の項目を設定して OK

ヘッダ・フッタの中央揃え、右揃え

フッタの中央にページ番号を印刷するには、「フッタを印刷」を ON にして「フッタ」に下記の記号を指定します。

<page>
ヘッダで左側にファイル名、右側に日付を印刷するには、「ヘッダを印刷」を ON にして「ヘッダ」に下記の記号を指定します。

<filename>||<date>
ヘッダ・フッタの各種オプション
ヘッダとフッタの印刷位置、フォント、奇数／偶数ページの個別指定、ページ間の印刷オプションの設定に対応しています。

<filename> ファイル名（拡張子を除く）
<fname> ファイル名（拡張子を含む）
<fullname> フルパスファイル名（拡張子を含む）
<ext> ファイル拡張子
<date> 印刷開始日付

<time> 印刷開始時刻
<filedate> ファイルの日付
<filetime> ファイルの時刻
<page> ページ数
<allpages> 総ページ数
<title1> 柱 1（現在ページから先頭方向へ見出し 1 を検索して見出し名を印刷）
<title2> 柱 2（現在ページから先頭方向へ見出し 2 を検索して見出し名を印刷）
<title3> 柱 3（現在ページから先頭方向へ見出し 3 を検索して見出し名を印刷）

<bl> <

 >
<sepa> |
| 中央揃えや右寄せの印刷を指定
「a|b|c」は、a を左寄せ、b を中央揃え、c を右寄せで印刷
「|b|」は、b を中央揃えで印刷
「|c」は、c を右寄せで印刷

見出しの印刷

見出しがページ最下行に来る場合は、次の段落やページへ送り出して印刷します。

図の印刷

PDF 出力の場合は、図の出力サイズを任意の%で指定できます。
印刷の場合は、表示の図のサイズと同一の出力となるよう、表示と印刷の DPI から自動で出力サイズを計算します。
図の出力イメージをあらかじめ確認するには、[ファイル]メニューの[印刷プレビュー]を実行して印刷プレビューに切り替えておこないます。

文字コードと改行コード

文字コード

WZ8 の標準の文字コードは、「UTF-8」です。「Unicode」「シフト JIS」「SJIS-EX」「欧文」「EUC」「JIS」の文字コードにも対応しています。Unicode に特有の文字「JIS 第 3/4 水準」「アクセント付きアルファベット」にも対応しています。

WZ8 の設定ファイルや Text-C プログラムは、「SJIS-EX」の文字コードで作成します。

改行コード

WZ8 の標準の改行コードは、「CR+LF」です。「LF」「CR」の改行コードにも対応しています。

文字コードの自動判別

WZ8 は、ファイルの文字コードを自動判別します。

自動判別されない文書ファイルは、下記の操作で文字コードを指定します。

- ・[ファイル]メニューの[プロパティ]を実行
- ・「文字コード・改行コード」をクリック
- ・「文字コード・改行コード」ダイアログで文書の文字コードを指定
- ・「ファイルから読み直す」を ON にして OK

指定はプロファイルに記憶され、次回から指定の文字コードでオープンされます。

シフト JIS の文書を上書き保存すると、「Unicode 特有文字」の確認が実行されます。Unicode 特有文字を文書に保存するには、「UTF-8 で保存」を選択します。

文字コードと改行コードの変更

- ・[ファイル]メニューの[プロパティ]を実行
- ・「文字コード・改行コード」をクリック
- ・文字コードと改行コードを指定して OK

回目の保存から、指定した文字コードと改行コードで保存されます。

メニューコマンド

新規作成

新しく無題の空のファイルを作成します。ファイルの拡張子・表示スタイル・ファイル単位の設定は、現在開いているファイルから引継ぎます。

新規作成ダイアログ

ダイアログの一覧からファイル拡張子と文書スタイルを選択して、新しく無題の空のファイルを作成します。

- ・文書スタイルは一覧から選択します。
- ・拡張子は一覧の見出しを展開して、拡張子の一覧から選択します。
拡張子の指定入力するには、「.ext」または「ext」と入力します。

開く

ファイル選択ダイアログを表示して、選択したファイルを開きます。

ファイル選択ダイアログには、現在開いているファイルのフォルダが表示されます。

開くー前回のファイルを開く

前回[ファイル]メニューの[終了]コマンドで閉じた時のファイルやツールを復元します。現在の文書ファイルとウィンドウはクローズします。

[ファイル]メニューの[保存／終了]-[復元しない終了]を実行すると、復元の情報をクリアします。

開くープロジェクトを開く

プロジェクトファイルを指定するダイアログを開きます。ファイルを指定して OK すると、新しいウィンドウを作成して、プロジェクトに含まれているすべての文書を開きます。

開くー最近開いたプロジェクト

最近開いたプロジェクトファイルの一覧を表示します。

ファイルを選択して OK すると、プロジェクトを開きます。

ダイアログでは、履歴の整理や編集もできます。

開く 「プロジェクトを開く」を実行します。

編集 履歴ファイルを開いて編集します。

整理 ファイル一覧から、存在しないファイル名を削除します。

開くーファイルから開く

文書を編集して保存する前に、文書の元のファイルを開きます。

文書ファイルを読み込み、新しくタブを開いてファイルを表示します。

開いたタブには「2 重化」と表示されます。

開くーバックアップを開く

自動保存と上書き保存のバックアップフォルダを表示します。

文書に自動保存のバックアップがあれば、バックアップ文書の一覧から検索して選択します。

- ・「開く」をクリックすると、バックアップを開きます。
復元する部分を選択してクリップボードにコピーできます。
 - ・「読込」をクリックすると、文書をクリアしてバックアップ文書から読み込みます。
 - ・「削除」をクリックすると、一覧で選択したバックアップ文書を削除します。
- 上書き保存のバックアップを開くには、下記の操作をおこないます。
- ・フォルダ一覧から、バックアップフォルダを選択。
 - ・例「c:\bak」を選択すると、ファイル一覧にバックアップファイルの一覧を表示します。

上書き保存のバックアップの設定は、環境設定の「ファイル」の「バックアップ」から設定します。

自動保存では、定期的にバックアップをおこないます。

- ・文書を編集すると、定期的にバックアップへ自動保存します。
保存頻度は約 30 秒に設定されています。
- ・文書を保存して閉じると、文書のバックアップを削除します。
文書を保存しないで閉じると、バックアップが残ります。

自動保存では、「文書を誤って閉じた」「停電」「リセット」の編集の復活が可能です。自動保存のバックアップは、専用フォルダ「WZ 設定フォルダ¥autosave.mbx」に作成されます。環境設定の「ファイルー自動保存」で自動保存のカスタマイズが可能です。

ファイルを開くと自動保存のバックアップを検索して「自動保存の警告メッセージ」を表示します。「前回終了時の復元」で開いた場合は、警告メッセージを表示しません。

開くー世代履歴を開く

文書の世代履歴の一覧を表示します。

WZ8 では、上書き保存の度に、文書を一つの世代として保存しています。

2～3 日前、数 10 世代前までの文書を開くことができます。

- ・「世代履歴」では、現在の文書と一世代前の文書を並べて表示します。比較を実行して編集箇所を表示します。
- ・より以前の世代を開くには、「世代の一覧」をクリック、履歴一覧から選択、OK します。

世代履歴は、専用フォルダ「WZ 設定フォルダ¥gene.mbx」に保存されます。

サイズが一定以上になるか、ある程度日数が経った履歴は、自動的に削除されます。

開くーフォルダテキストを開く

フォルダテキストを開きます。「フォルダテキスト」は、文書ファイルのフォルダに作成されるテキストファイル「wz~text.txt」です。フォルダテキストは、「WZ ime」の変換の優先順位の決定と、「リサーチ入力」の補完候補の対象となります。

開くーWZ ime のユーザ辞書を開く

WZ ime のユーザ辞書を開きます。ユーザ辞書は「日本語辞書」文書スタイルで開かれます。[Alt+B]キーを押すと、辞書専用の編集のメニューを表示します。テキストファイルとして直接編集することができます。

開くーバイナリ編集

バイナリ編集モード／通常編集モードを切り替えます。

バイナリ編集モードでは、ファイルの内容がバイト単位の 00-FF の 16 進数値で表示されます。[0]～[F]キーのデータ入力、[Del][BS]キーのデータ削除に対応しています。

テキストの文字コードが「UTF-8」など「シフト JIS」以外の場合は、通常モードからバイナリへの切り替えの際に、ファイル保存の問い合わせをします。

開くーWZ Board で開く

文書の編集を、WZ Board に切り替えます。

開くー関連付けプログラムで開く

文書ファイルを、Windows の「拡張子の関連付け」に設定されているプログラムで開きます。HTML でコマンドを実行すると、Web ブラウザで開きます。

開くーオープンボックス

ファイル名を入力するダイアログを表示します。

- ・フルパスのファイル名を入力すると、ファイルをオープンします。
- ・パスを省略してファイル名を指定すると、ファイルを検索して開きます。環境設定の「標準フォルダ」や「最近開いたフォルダ」から検索します。
- ・ファイル名を空にして[Enter]すると、テキストオープンダイアログを開きます。

開くーオープンダイアログ

テキストオープンダイアログを開きます。

ファイル名の絞り込み・プレビュー表示に対応しています。

開くーオープンツール

「テキストを開く」ツールを起動して、ツールビューに表示します。

ファイル一覧からファイルを選択して、「開く」をクリックすると開きます。

「テキストを開く」ツールは、テキストオープンダイアログと同様に各種のファイル操作に対応しています。

開くー登録ツール

「ファイル登録ツール」を起動して、ツールビューに表示します。

使用頻度の高いファイルの登録や複数ファイルの一括オープンが可能です。ファイルを登録するには、下記の操作をおこないます。

- ・「追加」をクリックして、ファイルオープンダイアログを表示
- ・ファイル名を指定して OK、一覧に指定したファイルが追加されます
- ・上記の操作を繰り返し実行、一覧に複数のファイルが追加されます

下記のボタンで、ファイルのオープンや一覧の編集をおこないます。

開く

一覧で選択したファイルを開きます。

閉じて開く

ON にすると、WZ を終了してから一覧のファイルを開きます。OFF にすると、一覧のファイルを開きます。開いているファイルを、見出し付きで一覧に追加します。

編集

一覧で選択した見出し名を編集します。

上へ／下へ

ファイルを一覧の上下に移動します。

見出し

見出しの挿入と編集のダイアログを表示します。

一括オープンをするには、下記の操作をおこないます。

- ・複数のファイルを登録
- ・先頭のファイルを選択
- ・「見出し」をクリック
- ・「見出し名」と「見出しレベル」を指定して OK、一覧に見出しが作成されます。
- ・見出しを選択して「開く」をクリック

選択した見出しから、次の見出しまでのファイルが一括オープンされます。

見出しを複数登録して、「閉じて開く」を ON にすると、ファイルの切り替えができます。

「登録ツール」から開いたファイルは、開いたファイルの履歴に追加されません。

一覧を右クリック、「エディタで開く」を実行すると、登録内容を直接編集できます。

開くー閉じてファイルを開く

文書タブを閉じて、別の文書ファイルを指定して開きます。

開くーWZ8 の新規起動

新規に WZ8 のプロセスを起動して、ウィンドウを開きます。

上書き保存

文書をファイルに上書き保存します。

- ・「無題」文書では、「名前を付けて保存」ダイアログを表示します。
- ・ファイル名を指定して、OK すると保存します。
- ・既存のファイル名を指定すると、上書きの確認をおこないます。

ファイル名の自動決定

「名前を付けて保存」は、ファイル名の自動決定に対応しています。

ファイル名を自動で付けるには、下記の操作をおこないます。

- ・「名前を付けて保存」ダイアログで、「自動」をクリック

・「ファイル名の自動決定」ダイアログの名前の一覧から選択して OK
自動ファイル名は「原稿 100901.txt」と、文字列と日付を組み合わせで作成されます。
名前が重複する場合は、「原稿 100901~1.txt」の連番を付けて重複を回避します。
自動のファイル名をカスタマイズするには、下記の操作をおこないます。

- ・「名前を付けて保存」ダイアログで「自動」をクリック
- ・「カスタマイズ」をクリック
- ・任意の文字列と日付や時刻のパターンを組み合わせで指定
パターンの詳細は、[挿入]メニューの[日付・時刻]をご覧ください。

「環境設定」の「ファイルダイアログ」の「ファイル選択ダイアログ」の設定によって、ファイル名の自動決定の動作が異なります。

- ・「Windows 標準」では「自動」をクリックすると、「名前を付けて保存」ダイアログを閉じます。
- ・「テキストオープンダイアログ」は、「名前を付けて保存」ダイアログに自動決定のファイル名を入力します。保存前に名前を変更できます。

名前を付けて保存

「名前を付けて保存」ダイアログを表示します。ファイル名を指定して OK すると、指定したファイルに保存して文書の名前を変更します。既存のファイル名を指定すると、上書きの確認をします。「自動」をクリックすると、「上書き保存」と同様にファイル名を自動作成します。

保存／終了一すべて保存

現在開いている、すべての文書をファイルに保存します。

保存／終了一プロジェクトを保存

現在開いている全ての文書のファイル名をプロジェクトファイルに保存します。
[ファイル]メニューの[開く]-[プロジェクトを開く]を実行して、プロジェクトファイルを指定すると、文書を一括してオープンできます。
「プロジェクトを保存」を実行するとファイル名の指定ダイアログが開きます。
プロジェクトファイル名を指定して OK すると、プロジェクトファイルに保存します。

プロジェクトファイルの拡張子は.tpj となります。

プロジェクトファイルには、下記の情報が記憶されます。

- ・オープン中の文書のファイル名
- ・文書ごとのカーソル位置、文書スタイル、表示スタイルの情報
- ・多重化の状態
- ・起動中のツール

WZ8 のウィンドウを複数開いた場合は、メニューを操作したウィンドウをプロジェクトに保存します。

保存／終了一HTML の保存

文書を、WEB 公開用の複数の HTML ファイルに変換して保存します。先頭ページの html ファイル名は、ステータスウィンドウに出力されます。

保存／終了一別ファイルへ保存

「名前を付けて保存」ダイアログを表示します。ファイル名を指定して OK すると、指定したファイルに保存します。文書の名前は変更されません。既存のフ

ァイル名を指定すると、上書きの確認をします。「自動」をクリックすると、「上書き保存」と同様にファイル名を自動作成します。

保存／終了一上書き保存して閉じる

文書をファイルへ上書き保存して閉じます。

保存／終了一復元しない終了

開いているすべての文書を閉じます。

開いていたファイルの、プロジェクトファイルへの保存はスキップされます。

保存／終了一すべて終了

開いているすべての文書を閉じます。別ウィンドウの文書もすべて閉じます。

プロパティ

プロパティダイアログを開いて、文書のファイル名、日付、サイズ、文書サイズ、段落数、行数、文字コード、改行コードを表示します。

文字や改行コードの操作、暗号化、文字数カウントも実行できます。

文字コード・改行コード

「文字コード・改行コード」ダイアログを表示します。

文字数カウント

「文字数行数カウンタ」ツールを起動します。

暗号化

文書を暗号化するダイアログを表示します。

文字コード

文字コードの変更をおこなう「文字コード」ダイアログを表示します。

「Unicode」や「シフト JIS」を選択して OK すると、次回の上書き保存から指定の文字コードで保存します。

WZ8 は文字コードを自動認識してファイルを開きますが原理上完全な認識はできませんので、文書の文字コードと別のコードでファイルを開くことがあります。

この場合は、下記の操作で文字コードを指定して再読み込みができます。

- ・「文字コード」ダイアログで文字コードを指定
- ・「ファイルから読み直す」を ON にして OK

WZ8 では、下記の文字コードに対応しています。

UTF-8	推奨文字コードです。Unicode のすべての文字を扱えます。漢字は 3 バイトとなるため、ファイルサイズはシフト JIS に比べて多少、大きくなります。
UTF-8(BOM 付き)	BOM ヘッダが付いている UTF-8 ファイルです。「ファイルから読み直す」に指定します。
Unicode	Windows 標準の内部コードです。通常は UTF-8 を使用します。半角文字も 2 バイトとなるためファイルサイズが大きくなります。
Unicode(BOM なし)	BOM ヘッダがない Unicode ファイルです。「ファイルから読み直す」に指定します。
Unicode(big endian)	バイトの並びが通常とは逆の Unicode ファイルです。「ファイルから読み直す」に指定します。
シフト JIS	MS-DOS・Windows の標準的な文字コードです。JIS 第 3・4 水準漢字、アクセント付きのアルファベット、ハングル文字は扱うことができません。
SJIS-EX(WZ 拡張)	シフト JIS を、WZ の内部コード用に拡張した文字コ

ードです。SJIS-EX ではシフト JIS の未使用領域に Unicode 特有の文字を割り当て、Unicode のすべての文字を扱うことができます。シフト JIS で表現可能な文字はすべてシフト JIS で表し、Unicode 特有の文字は 3 バイトデータで表します。シフト JIS の文書を変換なしに読み書きできます。シフト JIS がない Unicode 特有の文字を検索できます。アクセント付きのアルファベット文字のテキスト用の文字コードです。日本語の全角文字は扱うことができません。

欧文(西ヨーロッパ言語)

EUC

Unix の標準的な文字コードです。HTML ファイル、PHP ファイルの作成には、EUC を用います。

JIS

JIS 文字コードです。電子メールで用います。

改行コード

改行コードを指定する「改行コード」ダイアログを表示します。「CR+LF」「LF」「CR」を選択して OK すると、次回の上書き保存から指定した改行コードで保存します。

改行コードを指定して、「ファイルから読み直す」を ON にして OK すると、指定した改行コードのファイルとして文書を読み直します。

WZ8 では、下記の改行コードに対応しています。

CR+LF

Windows・MS-DOS 標準の改行コードです。文書ファイル、プログラムファイルに用います。

LF

Unix・Mac OS X の改行コードです。HTML ファイル、PHP ファイルに用います。

CR

Mac OS の改行コードです。

暗号化

暗号化は、文書をパスワードで保護する機能です。

- ・暗号化したファイルは、WZ8 でパスワードを正確に入力すると開きます。
- ・パスワードを正確に入力しないと、ファイルは開きません。
- ・他のアプリケーションでは、ファイルは開きません。
- ・他の PC にコピーした暗号化ファイルは、WZ8 でパスワードを正確に入力すると開きます。
- ・暗号化のアルゴリズムは、WZ8/WZ7/WZ6 で共通です。WZ8 で暗号化したファイルは、WZ7/WZ6 でパスワードを正確に入力すると開きます。WZ7/WZ6 で暗号化したファイルは、WZ8 でパスワードを正確に入力すると開きます。

文書を暗号化するには、「暗号化」ダイアログでパスワードを指定してから OK して、文書を保存します。次回に文書を開くとパスワード入力ダイアログを表示します。パスワードを入力すると文書が開きます。パスワードを正確に入力しないと、文書が開けなくなります。パスワードは、自己の責任で管理してください。

暗号化は、文字コードの UTF-8・シフト JIS・SJIS-EX・EUC・JIS、改行コードの CR+LF に対応しています。「Unicode」など、上記以外の「文字コード」「改行コード」のファイルには対応していません。

再読み込み

ファイルから再ロードして開き直します。テキストバッファの編集は破棄されます。破棄の前に、確認のダイアログを表示します。ダイアログでキャンセルすると、再読み込みを取り消します。

閉じる

ファイルをクローズしてタブを閉じます。その他のタブはそのまま残ります。

文書を保存していない場合は、確認ダイアログを表示します。

保存する／保存しない／キャンセルから選択します。

文書設定の一覧

「文書設定の一覧」ダイアログを表示して、文書設定の一覧を表示します。一覧からスタイルを選択して OK すると、文書のスタイルを切り替えます。

専用設定

字下げ認識

行頭タブの字下げの ON/OFF を切り替えます。

小見出し／桁揃え認識

文中タブの小見出しと桁揃えの ON/OFF を切り替えます。

簡条書き認識

簡条書き認識の ON/OFF を切り替えます。

会話文認識

会話文認識の ON/OFF を切り替えます。

PDF 出力モード

ON にすると、印刷実行で PDF 出力をおこないます。

印刷

印刷ダイアログを表示します。ページ範囲を指定して OK すると、印刷を開始します。「プレビュー」をクリックするとダイアログを閉じてプレビュー表示を更新します。

- ・印刷プレビューを表示して、「印刷」ダイアログからプリンタを切り替えた場合は、必ずダイアログを「プレビュー」のクリックで閉じてください。
- ・印刷ダイアログの「詳細設定」で「用紙サイズ」や「用紙の方向」を変更すると、WZ8 の印刷設定の用紙指定は無効となります。WZ8 の用紙設定で印刷するには、一度「印刷設定」ダイアログを開いて OK します。

印刷設定

「印刷」ダイアログを表示します。印刷の文字数・行数・フォント・余白・オプションを設定します。

設定に名前を付けて複数登録できます。「一覧」をクリックすると登録済みスタイルの一覧を表示します。選択して OK すると、そのスタイルに切り替えます。

印刷プレビュー

印刷プレビューは、印刷結果のページ区切りで文書を表示する機能です。

印刷プレビューでは編集操作・空行の挿入・削除でページ送りを調整できます。

簡易表示のため、文字表示の欠けや行間表示の更新に制約があります。

印刷プレビューでは表示され、印刷結果では印刷されない場合があります。

最近開いたファイル

「最近開いたファイル」の一覧を表示します。選択して OK するとファイルを開きます。「整理」をクリックすると、一覧から存在しないファイルを削除します。

終了

すべてのファイルを閉じます。文書を保存していない場合は、文書ごとに確認ダイアログを表示します。

PDF Book

PDF Book では、本文テキストと独立して、表紙、序文、目次、索引、奥付、備忘録テキストを入力できます。

表紙～備忘録の各部位のテキストを入力するには、[ツール]メニューの[専用メニュー]を実行して「専用メニュー」から切り替えます。備忘録には、印刷に出力しないアイデアやメモなどを入力して保存しておけます。

設定

PDF Book では、本文テキストと独立して表紙、序文、目次、索引、奥付の個別に表示・段落・印刷の設定が可能です。備忘録は本文テキストの設定と共通となります。文書スタイルは本文と表紙～備忘録ですべて共通となります。

[表示]メニューの[設定]を実行すると、設定ダイアログのタイトルバーに「設定-目次」のように設定対象の部位を表示します。

本文テキスト以外の部位では、表示・段落・印刷の設定はすべて「専用設定」となります。「設定／カテゴリ順」のダイアログでスタイルを切り替えると専用設定を置き換えます。

スタイルの設定内容を表示～奥付で揃えるには、「設定／カテゴリ順」ダイアログの目次でスタイル名をクリック、「表紙～奥付で共通化」をクリックします。

スタイルの設定内容を項目単位で揃えるには、設定ダイアログで設定項目をクリック、「項目メニュー」をクリック、「表紙～奥付で共通化」をクリックします。

目次の自動作成

本文テキストの見出しの段落に、見出し記号（WZ アウトラインの行頭の半角ピリオドなど）を付けておくと、見出し段落を抽出して自動で目次を作成できます。目次を作成するには、[ツール]メニューの[専用メニュー]を実行、「目次の更新」を実行します。

目次を設定するには、[表示]メニューの[設定]を実行、目次から「アウトライン-目次の自動作成」を選択、各項目を設定します。

- ・見出し 1～6 それぞれに、前置文字列、後置文字列を指定
- ・「序文」で目次のタイトルや説明文を指定
- ・「ページ数を出力」で、後置文字列に続けてページ番号の出力を指定

印刷プレビューから「目次の更新」を実行すると、印刷のページ番号を出力します。

索引の自動作成

本文テキストを WZ8 内蔵の日本語辞書により解析（リサーチ）して、索引を自動で作成できます。索引を作成するには、[ツール]メニューの[専用メニュー]を実行、「索引の自動作成」を実行します。索引の作成には数分かかる場合があります。

作成された索引を編集して、不要な語句の削除、ア行～ワ行の読みの間違いの

訂正、足りない語句を追加します。

索引の自動作成をしておくと、次回からは「専用メニュー」の「索引の更新」の実行で、索引のページ番号を自動更新します。

索引のページ番号は、印刷プレビューで実行すると印刷のページ番号、通常編集で実行すると行番号となります。

本文テキストの追加・訂正によって索引に語句を追加するには、[ツール]メニューの[専用メニュー]の「索引」を実行して索引編集に切り替えて、「語句」[Tab]の段落を追加します。

HTML

WZ8 で編集時の HTML テキストをブラウザで開いてレイアウトの表示を確認するには、[ファイル]メニューの[上書き保存]を実行して、[ファイル]メニューの[開く]-[関連付けプログラムで開く]を実行します。

キー

HTML ファイルを開くと、専用のキー操作が有効となります。

[Shift+Enter]	カーソル位置に と改行を挿入*
[Alt+Enter]	カーソル位置のタグや、スタイルシートのプロパティを編集するダイアログを表示
[Ctrl+Enter]	カーソル位置のタグに応じて改段落、補完、オートフォーマットを実行

*「VZ ライク」キー定義では、[ツール]メニューの[コマンドの選択実行]から「LFF」コマンドを実行します。

メニュー

HTML ファイルでは専用のメニューコマンドが有効となります。

[挿入]メニューの[タグ] HTML のタグをダイアログで選択挿入

[編集]メニューの[プロパティ]
タグのアトリビュートを編集するダイアログを表示

[表示]メニューの[文字参照を文字表示]
文字参照「<」「>」「&」「"」を、文字「<」「>」「&」「"」として表示（文章の内容は保ちます）

[表示]メニューの[タグの表示]
HTML タグの表示を ON/OFF

[表示]メニューの[タグの記号表示]
HTML タグを 1 文字の記号で表示

[アウトライン]メニューの[タグアウトライン]
タグの入れ子関係をアウトラインに表示
xml と xhtml ファイルに対応

[検索]メニューの[対括弧]
対応する開始タグや終了タグへジャンプ

HTML リサーチ入力

HTML ファイルでリサーチ入力を ON にすると、HTML タグと CSS アトリビュートの補完入力が有効となります。リサーチ入力の ON/OFF を切り替えるには、[挿入]メニューの[入力と IME]-[リサーチ入力モード]を実行します。

リサーチ入力を ON にすると、ステータスバーの左側に[R]と表示します。

- ・「<」とタグの先頭文字の入力から、タグの末尾「>」までの属性を含めた補完候補を表示します。
- ・「/」とタグの先頭文字の入力から、閉タグの補完候補を表示します。
- ・CSS プロパティの先頭文字の入力から、「プロパティ: 指定;」形式の補完候補を表示します。
- ・IME を ON にした日本語入力モードに対応していますので、IME の切り替え操作なしで、HTML タグを入力できます。

リサーチ入力では、WZ8 規定のサンプル辞書と編集テキストから補完候補を取得します。HTML タグの属性の指定を含めた、編集テキストのタグの記述を取得します。

単語補完辞書に HTML ファイルを追加すると、指定したファイルからも候補を取得します。

改段落

カーソルを<p>~</p>の範囲内に移動して、[Ctrl+Enter]キーを押すと、新規に段落を作成します。

- ・空白行で[Ctrl+Enter]キーを押すと、<p></p>を挿入して新規に段落を作成します。
- ・範囲を選択して[Ctrl+Enter]キーを押すと、範囲選択の先頭に<p>を、末尾に</p>を付加します。

の入力

タグを挿入するには、[Shift+Enter]キーを押します。

タグ記号の補完

タグの入力後に[Ctrl+Enter]キーを押すと、タグ記号の > を補完します。

```
<tag■ → <tag>
```

HTML の要素名の入力後に[Ctrl+Enter]キーを押すと、<> 記号を補完します。

```
h1■ → <h1>
```

終了タグの補完

終了タグを入力する位置で[Ctrl+Enter]キーを押すと、補完入力します。

```
<b>太字■ → <b>太字</b>
```

タグのネスティングにも対応しています。

オートフォーマット

「箇条書き」の<dl>やタグのオートフォーマットに対応しています。

```
<dl>■
```

[Ctrl+Enter]キーを押す。

```
<dl>
```

```
<dt>■</dt>
```

```
</dl>
```

さらに[Ctrl+Enter]キーを押す。

```
<dl>
```

```
<dt></dt>
```

```
<dd>■</dd>
```

```
</dl>
```

スタイルシート

WZ8 では、CSS スタイルシートのプロパティをダイアログで編集できます。HTML ファイルに加えてテキストファイルの CSS プロパティにも対応しています。ブラウザの独自拡張のプロパティには対応しておりません。

- ・スタイルシートの指定箇所へ移動
 - ・[Alt+Enter]キーを押して、ダイアログを表示
 - ・ダイアログで、各プロパティを設定して OK
- (例 1) { または } で、[Alt+Enter]キーを押します。
- ・h1 {background-color:#004080; color:#FFFFFF; text-align:left; padding:0.2em; padding-left:1ex; font-size:110%}
- (例 2) 「style="」で、[Alt+Enter]キーを押します。
- ・<div style="background-color:#004080;" align="center">

CSS の各プロパティの設定

- ・プロパティ指定「(例) background-color」に移動
- ・[Alt+Enter]キーを押して、プロパティの設定ダイアログを表示

CSS スタイルの新規入力

- ・h1 {} や style=""を入力
- ・{ } " にカーソルを移動
- ・[Alt+Enter]キーを押してダイアログを表示
- ・ダイアログで各プロパティを設定して OK

改行区切りのプロパティ指定

下記のプロパティ指定にも対応しています。

```
h1 {  
    background-color:#004080;  
    color:#FFFFFF;  
}
```

プロパティの先頭と末尾のコメントは保存されます。その他のコメントは削除されます。

```
h1 {// 保存されるコメント  
    background-color:#004080;// 削除されるコメント  
    color:#FFFFFF;  
}
```

pLaTeX と dviout

TeX ファイルをコンパイルして TeX 文書の画面を表示するには、WZ8 とは別のソフトウェア「pLaTeX」と「dviout」が必要です。このソフトウェアはインターネットからダウンロードし、フリーソフトウェアとしてインストールできます。

WZ8 から、TeX ファイルのコンパイルと dviout のプレビューを実行することも可能です。事前に、下記の必要な操作をおこないます。

- ・「pLaTeX」「dviout」をインストール
 - ・環境変数 PATH を定義して、MS-DOS プロンプトからコマンド「pLaTeX」の入力で TeX コンパイラを実行可能に
 - ・拡張子.dvi に dviout を関連付け
- ※「pTeX, Version 3.1415926-p3.1.10 (Web2C 2009)」にて動作を確認しました。
 ※「pLaTeX」「dviout」「BibTeX」のダウンロードやインストール、環境変数の定義、関連付けの方法などのお問い合わせにつきましては、テクニカルサポートの対象外となります。

文献データベース

文献データベースファイル（拡張子.bib）を WZ8 で開くと、「BIB VIEW」機能が有効となります。

- ・「BIB VIEW」は、文献データファイルの内容を表形式で一覧表示します。
 - ・絞り込み検索、ソート、¥cite に使用する「文献名」のコピーができます。
- 「BIB VIEW」を起動するには、下記の操作をおこないます。
- ・bib ファイルで[Alt+B]キーを押し、「BIB ビューアー」を実行

絞り込みするには、「BIB VIEW」の「一覧」で文字を入力します。絞り込みを解除するには[BS]キーを必要な回数押すか、[表示]-[絞り込みの解除]を実行します。

「BIB VIEW」では、メニューバーから各種操作が実行できます。

[ファイル]終了	BIB VIEW を終了
[編集]ID のコピー	選択項目の ID の内容をクリップボードにコピー
	「文献名」として¥cite コマンドに指定可能
[表示]表示項目の設定	一覧に表示する項目名や表示幅、順序をカスタマイズ
[表示]絞り込みの解除	一覧の絞り込み表示を解除
[表示]題名順～発行年順	一覧を題名順、著者順、よみ順、出版社順、発行年順でソート

キー操作

TeX ファイルを開くと、専用のキー操作が有効となります。	
[Shift+Enter]	カーソル位置に「¥」を挿入します。
[Enter]	「¥item」段落内で改行すると、新しい行を「¥item」で始めます。予め[表示]メニューの[タグの表示]の OFF か、[表示]メニューの[タグの記号表示]の ON が必要です。
[Alt+B]	「TeX 専用メニュー」を表示します。

コンテキストメニュー 「TeX 専用メニュー」コマンドが追加されます。

メニュー操作

TeX ファイルを開くと、各種のメニューコマンドが有効となります。

[挿入]メニューの[タグ] TeX のコマンドをダイアログから選択して挿入します。

[表示]メニューの[文字参照を文字表示]

数学記号やギリシャ文字のコマンドを文字で表示します。(例)「¥sum」を「Σ」、「¥alpha」を「α」と表示します。

[表示]メニューの[タグの表示]

TeX コマンドの表示を ON/OFF します。表示を ON にすると、コマンドの解釈はおこないません。表示を OFF にすると、TeX コマンドと「\$」と「&」を表示上で消し、数学記号とギリシャ文字を表示し、TeX コマンドの一部を解釈して、体裁を整えた表示を実行します。

[表示]メニューの[タグの記号表示]

TeX コマンドを表示し、コマンドの一部を解釈して体裁を整えた表示を実行します。

[アウトライン]メニューの[タグアウトライン]

¥begin{環境名}¥end{環境名}タグの入れ子関係を、アウトラインに表示します。

[ツール]メニューの[専用メニュー]

TeX 専用メニューを表示します。

専用メニュー

TeX ファイルで[Alt+B]キーを押すと、TeX 専用のメニューを表示します。

タイプセットとプレビュー

文書を上書き保存して「pLaTeX」で TeX をコンパイルします。コンパイル結果は「ファイル名.dvi」に出力されます。ログファイル「ファイル名.log」が作成されます。ステータスバーにコンパイルの成功／失敗を表示します。

コンパイルに成功すると「dviout」でプレビューを実行します。コンパイルに失敗するとエラーメッセージを表示します。エラーメッセージから、タグジャンプでエラー箇所へジャンプします。「pLaTeX と dviout の準備」が必要です。

BibTeX の起動

文書タイプセット
プレビュー

別プログラム「BibTeX」で、TeX の参照文献の処理を実行します。「pLaTeX と dviout の準備」が必要です。「pLaTeX」でコンパイルして結果を表示します。「dviout」でプレビューします。事前に「文書タイプセット」の実行が必要です。「pLaTeX と dviout の準備」が必要です。

前回コマンド実行のログ

タイプセットのログ

BibTeX のログ

begin 型補完

large 型補完

setcion 型補完

maketitle 型補完

アクセント補完

end 補完

環境名の変更

数学記号イメージ補完

ギリシャイメージ補完

イメージ補完モード

コマンドの削除

コマンドと内容の削除

TeX コマンドを表示

TeX コマンドを解釈して表示

TeX コマンドを表示しない

数学記号とギリシャ文字の表示

前回のタイプセットや、「BibTeX」の実行結果を表示します。エラーメッセージやログの参照ができます。タイプセットのログ「ファイル名.log」を表示します。「BibTeX」のログ「ファイル名.blg」を表示します。 $\begin{環境名}\end{環境名}$ の TeX コマンドを選択挿入します。範囲選択して実行すると選択部分を囲みます。 $\{large \dots\}$ 型の TeX コマンドを選択挿入します。範囲選択して実行すると選択部分を囲みます。 $\setcion{\dots}$ 型の TeX コマンドを選択挿入します。範囲選択して実行すると選択部分を囲みます。 $\maketitle$ 型の TeX コマンドを選択挿入します。各種アクセントの TeX コマンドを選択挿入します。範囲選択して実行すると選択部分を囲みます。 $\begin{環境名}\end{環境名}$ に対応する $\end{環境名}$ を挿入します。 $\begin{環境名}\end{環境名}$ と $\end{環境名}$ を変更するダイアログを表示します。数学記号の TeX コマンドを選択挿入します。ギリシャ文字の TeX コマンドを選択挿入します。「イメージ補完モード」の ON/OFF を切り替えます。WZ8 の起動時は ON です。数式モードで「;」か「:」を入力すると「数学記号」「ギリシャ文字」の補完入力ダイアログを表示します。数式モードの判定は $\$ \dots \$$ 内、 $\$[\dots]$ 内、 $\begin{eqnarray} \dots \end{eqnarray}$ 内で判断します。カーソル位置の TeX コマンドを削除します。 $\begin{環境名}\end{環境名}$ は、対応する $\begin{環境名}\end{環境名}$ を削除します。カーソル位置の TeX コマンドと適用範囲の文章を削除します。 $\begin{環境名}\end{環境名}$ や $\end{環境名}$ は、 $\begin{環境名}$ から $\end{環境名}$ の内容がすべて削除されます。TeX コマンドを表示します。コマンドの解釈は起こりません。TeX コマンドを解釈して表示TeX コマンドを表示します。TeX コマンドの一部を解釈して体裁を整えた表示を実行します。TeX コマンドを表示しないTeX コマンドと「\$」と「&」を表示上で消し、数学記号とギリシャ文字を表示し、TeX コマンドの一部を解釈して体裁を整えた表示を実行します。数学記号やギリシャ文字の「 $\sum$ 」を「Σ」、

「 α 」を「α」で表示します。

$\begin{環境名}\end{環境名}$ のアウトライン

設定

対応ラベルへ

「TeX コマンド」「数学記号」「ギリシャ文字」の入力ダイアログでは、文字入力で絞り込み検索できます。

- 英字や記号を入力するたびに、絞り込みされます。
- 絞り込んで選択して OK すると、カーソル位置にコマンドが挿入されます。
- 絞り込みを取り消すには、[BS]キーを押します。

※「TeX 専用メニュー」の仕様は、「p 白鳥」を参考にさせていただきました。

TeX コマンドの挿入

TeX コマンドを挿入するには、下記の操作をおこないます。

- TeX ファイルで[Alt+B]キーを押す（TeX 専用のメニューが表示されます）
- 入力するコマンドに応じて、「begin 型補完」「large 型補完」「setcion 型補完」「maketitle 型補完」を実行
- 一覧からコマンドを選択して OK

テキストを範囲選択してからコマンドを実行すると、選択部分を囲みます。

行頭タブの下下げ表示

引用部分をタブで字下げして行頭タブを字下げ表示すると視認性が向上します。

- [ファイル]メニューの[専用設定]-[字下げ認識]を実行

TeX コマンドの体裁表示

TeX コマンドの一部を解釈して体裁を整えた表示をするには、[表示]メニューの[タグの表示]を実行して「タグの表示」を OFF にします。

段落内改行

上付き・下付き

箇条書き

表

「 $\varnothing$ 」コマンドを段落内改行として改行します。指定を画面表示に反映します。Σ の上下への表示やネスティング指定には対応していません。「 $\varnothing$ 」で始まる段落の折り返し 2 行目以降を字下げ表示します。「&」を表のそれぞれの桁の区切りとみなして桁揃え表示します。下記の形式の表の、桁 1～桁 3 を揃えて表示します。表の仕上がりの目安を確認できます。 $\begin{tabular}{|c|c|c|}$
桁 1 a & 桁 2 a & 桁 3 a $\varnothing$ <改行>
桁 1 b & 桁 2 b & 桁 3 b $\varnothing$ <改行>
桁 1 c & 桁 2 c & 桁 3 c $\varnothing$ <改行>
 $\end{tabular}$

TeX リサーチ入力

TeX ファイルでリサーチ入力を ON にすると、TeX コマンドと環境名の補完入力が有効となります。リサーチ入力の ON/OFF を切り替えるには、[挿入]メニューの[入力と IME]-[リサーチ入力モード]を実行します。[Ctrl+全角/半角]キーの切り替えにも対応しています。リサーチ入力を ON にすると、ステータスバーの左側に[R]と表示します。

- ・「 $\LaTeX$ 」とコマンドの先頭文字の入力から、TeX コマンドの補完候補を表示します。
- ・「 $\LaTeX$ 」と環境名の先頭文字の入力から「 $\LaTeX\begin{環境名}\sim\LaTeX\end{環境名}$ 」の補完候補を表示します。
- ・IME を ON にした日本語入力モードに対応していますので、IME の切り替え操作なしで、TeX コマンドを入力できます。

リサーチ入力では、WZ8 規定のサンプル辞書と編集テキストから補完候補を取得します。単語補完辞書に TeX ファイルを追加すると、指定したファイルからも候補を取得します。

整形

整形はメールで文章を送信したときに相手先の端末で同一の折り返しで表示されるように、文章を全角 30 文字程度で改行して折り返す機能です。

段落の整形 [編集]メニューの[整形]-[1 段落整形]を実行すると、整形された段落を認識して折り返しを整えます。整形された文章を編集して折り返しが乱れたときに使用します。

整形の連結 [編集]メニューの[整形]-[1 段落整形連結]を実行すると、整形された段落を認識して強制的改行を削除して、整形前の段落に戻します。

自動整形モード [編集]メニューの[整形]-[自動整形モード]を実行して自動整形モードを ON にすると、自動で整形された文章を作成します。

自動整形モード

自動整形モードを ON にすると、整形文章を自然に作成できます。

- ・文字入力・改行・削除する度に、改行区切りの段落を認識して段落の折り返しを整えた文字の入力・削除を実行します。
- ・箇条書き(段落先頭の・や 1.) や引用(>や#)に対応します。

段落整形のカスタマイズ

WZ8 では「段落認識」と「行末余白」の 2 種類の段落整形と、整形の折り返しのカスタマイズに対応しています。

認識方法を切り替えるには、[ツール]メニューの[環境設定]を実行、目次から「編集—整形」を選択、「自動整形」を設定します。

段落認識 段落を行末の「。」と「短い段落」の条件で認識します。タブの字下げにも対応します。WZ8/WZ7/WZ6 以

行末余白

外のソフトウェアで作成した文書の整形に対応します。段落を半角空白のあり／なしの条件で認識します。段落内の区切りの改行には半角空白が付加されます。段落末尾の改行には付加されません。

WZ8/WZ7/WZ6 以外のソフトウェアで作成した文書を整形するには、段落内の改行を削除してから整形を実行します。

Textc Mail では、「行末余白」の整形モードとなります。折り返しを指定するには、同様に「整形の折り返し」を設定します。

メニューコマンド

元に戻す

文字の削除や文字の入力を取り消します。繰り返し実行すると、以前の文字の削除や文字の入力を取り消します。

やり直し

「元に戻す」で取り消した、文字の削除や文字の入力を復活します。

切り取り

文書の範囲選択した部分を、クリップボードにコピーしてから削除します。

コピー

選択した文章をクリップボードにコピーします。

貼り付け

クリップボードからカーソル位置に文章を貼り付けます。Windows OS の仕様により、文字データの途中にコード「0」がある場合は、その手前の文字までを貼り付けます。

コピー／貼り付け—引用符を付けて貼り付け

「引用符を付けて貼り付け」ダイアログを表示します。「引用符」に認識の記号や文字列を入力して OK すると、クリップボードから各段落の先頭に指定した引用符を付けて貼り付けます。

コピー／貼り付け—クリップボード履歴ツール

「クリップボード履歴」ツールをツールビューに表示します。WZ や他のアプリケーションで、テキストのコピーをおこなうと「クリップボード履歴」に追加されます。過去の履歴を選択して、「貼り付け」をクリックするとテキストに貼り付けます。履歴が 500KB を超えると、古い履歴から削除します。

コピー／貼り付け—フォルダテキストへ追加

文書の範囲選択した部分を、フォルダテキストへ追加します。範囲選択を解除して実行すると、テキスト全体をフォルダテキストへ追加します。既に追加済の場合は更新します。「フォルダテキスト」は、文書ファイルのフォルダに作成されるテキストファイル「wz~text.txt」です。

- ・フォルダテキストは、WZ ime の変換とリサーチ入力の補完の対象となります。参考文献を追加しておくと、漢字変換と補完候補の学習ができます。

・フォルダテキストに、メモや下書きを保存できます。

フォルダテキストを開くには、[ファイル]メニューの[開く]-[フォルダテキストを開く]を実行します。

コピー／貼り付け—その他

追加切り取り 選択した文章をクリップボードに追加してから削除します。

追加コピー 選択した文章をクリップボードに追加します。

すべてコピー 文書のすべてを、クリップボードにコピーします。

置換して貼り付け 文書をクリアしてから、クリップボードから貼り付けます。

ファイルへ追加 ダイアログでファイルを指定して OK すると、文書の範囲選択した部分を指定ファイルの末尾に追加します。

クリア 文書の範囲選択した部分を削除します。

すべて選択 文書のすべてを選択します。

複数編集モード 選択してから ON にして、文字入力、文字削除、単語削除を実行すると、選択した複数の段落を一括して入力と削除を実行します。

WZ Board へ追加 文書の範囲選択した部分を、WZ Board の「未整理」に追加します。範囲選択を解除して実行すると、カーソル行の段落を追加します。

IME へ単語登録 文書の範囲選択した部分を、IME のユーザ辞書へ単語登録します。範囲選択を解除して実行すると、カーソル位置の単語を登録します。

WZ ime への単語登録は[編集]メニューの[WZ ime へ単語登録]からおこないます。

WZ ime へ単語登録 文書の範囲選択した部分を、WZ ime のユーザ辞書へ単語登録します。範囲選択を解除して実行すると、カーソル位置の単語を登録します。コマンドを実行すると、「単語登録」のダイアログを表示します。「単語」を確認して、「読み」「品詞」を指定して OK すると、単語登録を実行します。次回の変換から有効となります。

ユーザ辞書は、WZ 設定フォルダのテキストファイル「wz~dic.ime」です。

単語登録を開いて編集するには、[ファイル]メニューの[開く]-[WZ ime のユーザ辞書を開く]を実行します。

変換—半角と全角の変換

「半角と全角の変換」ダイアログを表示します。ダイアログで文字の種類別に「半角に変換」「全角に変換」「変換しない」を選択します。OK すると選択時は範囲内、選択していない時は、文書全体の文字の変換を実行します。

カタカナ そのまま／半角へ／全角へ／ひらがなへから選択します。

ひらがな そのまま／半角カタカナへから選択します。

記号 そのまま／半角へ／全角へ／句読点も半角へから選択します。

「句読点も半角へ」では、全角の句読点と中黒と「、。、．．」を半角に変換します。「半角へ」では、変換しません。

「全角へ」では、半角の句読点と中黒と鉤括弧を全角に変換します。

そのまま／半角へ／全角へから選択します。

英字、数字、空白
変換—大文字へ変換

選択時は、範囲内の半角英小文字を英大文字に変換します。選択していない時は、カーソル位置から半角英小文字を英大文字に変換します。半角英小文字がなくなったら変換を終えます。

変換—小文字へ変換

選択時は、範囲内の半角英大文字を英小文字に変換します。選択していない時は、カーソル位置から半角英大文字を英小文字に変換します。半角英大文字がなくなったら変換を終えます。

変換—大／小文字へ変換

選択時は、範囲内の英単語の先頭を大文字、後を小文字に変換します。選択していない時は、カーソル位置の英単語の先頭を大文字、後を小文字に変換します。

変換—その他

各コマンドは、選択時は範囲内、選択していない時は文章全体の変換を実行します。

数字を半角に変換
数字を全角に変換
英字を半角に変換
英字を全角に変換
カタカナを全角に変換
記号を半角に変換

全角数字を半角に変換します。

半角数字を全角に変換します。

全角英字を半角に変換します。

半角英字を全角に変換します。

半角カタカナを全角に変換します。

指定した記号を半角に変換します。変換する記号は、複数の記号を並べて指定できます。半角と全角のどちらの指定にも対応しています。

文書全体の指定した記号を全角に変換します。変換する記号は、複数の記号を並べて指定できます。半角と全角のどちらの指定にも対応しています。

記号を全角に変換

行頭の 1 文字を削除
行頭の指定文字列を削除

段落先頭の指定した文字列を削除します。

HTML タグを削除
テキストタグを削除
改行を段落内改行に

HTML のタグを削除します。

「青空文庫」「JIS テキスト」のタグを削除します。

改行を段落内改行に変換します。末尾の改行は変換せず改行のままとします。

段落内改行を改行に
改行を削除
空白行を削除
空白行を削除して改行

段落内改行を改行に変換します。

改行を削除します。

空白とタブだけの行を削除します。

タブだけの行をまとめて 1 つの空行とします。

空白の変換

それぞれのコマンドは、選択時は範囲内、選択していない時は文章全体の変換を実行します。

行頭の空白を削除 段落先頭の空白とタブを削除します。

行頭の空白を全角空白 1 文字に 段落先頭の空白を全角空白 1 文字にします。

行末の空白を削除 段落末尾の空白とタブを削除します。

複数空白を半角空白 1 文字に 連続する半角と全角の空白を削除して 1 文字にします。

空白を削除 半角空白と全角空白を削除します。

英数字と全角に余白を空ける 全角に連続する半角数字の前後に半角空白を挿入します。

英数字と全角の余白を詰める 全角に連続する半角数字の前後の半角空白を削除します。

タブを空白に変換 段落先頭のタブを「タブの文字数」の空白に変換します。

空白をタブに変換 段落先頭の「タブの文字数」の空白をタブに変換します。

段落—段落上へ移動

カーソル位置の段落を、一行上の段落へ移動します。
選択時は、選択している文字を一行上の段落へ移動します。

段落—段落下へ移動

カーソル位置の段落を、一行下の段落へ移動します。
選択時は、選択している文字を一行下の段落へ移動します。

段落—文字左へ移動

カーソル位置の文字を、一文字左へ移動します。
選択時は、選択している文字を一文字左へ移動します。

段落—文字右へ移動

カーソル位置の文字を、一文字右へ移動します。
選択時は、選択している文字を一文字右へ移動します。

段落—前の見出しへ移動

カーソル位置の段落を、一つ上の見出しへ移動します。
選択時は、選択している文字を移動します。

段落—次の見出しへ移動

カーソル位置の段落を、一つ下の見出しへ移動します。
選択時は、選択している文字を移動します。

段落—インデント

選択時は、範囲内の行頭にタブを挿入します。選択していない時は、カーソル位置にタブを挿入します。

段落—インデントの挿入

選択時は、範囲内で行頭がタブの行にタブを挿入します。行頭がタブ以外の行

には挿入しません。選択していない時は、カーソル位置にタブを挿入します。

段落—インデントの削除

選択時は、範囲内の行頭のタブを 1 つ削除します。
選択していない時は、カーソル行頭のタブを 1 つ削除します。

段落—重複行を 1 行へ（大文字と小文字を区別）

選択時は範囲内、選択していない時は、文書の連続する重複段落を 1 つにまとめます。

段落—重複行を 1 行へ（大文字と小文字の区別なし）

選択時は範囲内、選択していない時は、文書の連続する重複段落を 1 つにまとめます。半角英字の大文字と小文字は同一視します。

段落—段落の二重化

カーソル行の段落を複製して新しい段落を作成します。

整形—1 段落整形

改行で折り返された 1 つの段落を認識して、折り返しを整えます。

整形—1 段落整形連結

改行で折り返された 1 つの段落を認識して、改行を削除して 1 行にまとめます。

整形—自動整形モード

整形モードを ON/OFF します。整形モードを ON にすると、段落の折り返しを改行で区切る文書の作成に対応します。

- ・文字入力・改行・削除する度に、改行区切りの段落を認識して、段落の折り返しを整えた文字の入力・削除を実行します。

- ・箇条書き（段落先頭の・や 1.）や引用（>や#）に対応します。

整形モードには、「段落認識」と「行末余白」の 2 種類があります。

整形モードを切り替えるには、「環境設定」の「編集—整形」から設定します。

段落認識 段落を行末の「。」と短い段落の条件で認識します。
WZ8/WZ7/WZ6 以外のソフトウェアで作成した文書の整形にも対応します。

行末余白 段落を、半角空白のあり／なしの条件で認識します。
段落内の区切りの改行には半角空白が付加されます。
段落末尾の改行には付加されません。

WZ8/WZ7/WZ6 以外のソフトウェアで作成した文書を整形するには、段落内の改行を削除してから整形を実行します。

Textc Mail では、「行末余白」の整形モードとなります。

プロパティ

カーソル位置に応じたプロパティダイアログを表示します。

タグ

カーソル位置の「青空文庫テキスト」「JIS テキスト」や「HTML テキスト」のタグのアトリビュートの編集ダイアログを表示します。

見出し段落 見出しのフォントや罫線装飾を指定します。

小見出段落 小見出しのフォントや幅を指定します。

専用設定

フリーカーソル フリーカーソルの ON/OFF を切り替えます。

検索

テキストの検索をするには、[検索]メニューの[検索]を実行します。検索ダイアログが開きます。ダイアログには、検索テキストボックス、検索モード、検索オプションがあります。

検索テキストボックスでは、検索する文字列を指定します。

- ・検索モードが「正規」の場合は、正規表現を指定します。
- ・「¥」を文字として検索」を OFF にすると、¥文字で特殊文字の指定ができます。
- ・「¥t」でタブ文字、「¥n」で改行、「¥」で¥文字、「¥x0D」で段落内改行を検索します。
- ・¥x に続けて 2 桁の 16 進数を指定すると、バイナリデータを検索します。例「¥x1a」
- ・¥xx に続けて複数桁の 16 進数を指定すると、複数バイトのバイナリデータを検索します。例「¥xx5a5c」

検索文字入力とオプションの変更の度に検索を実行して、マッチした個数を「12 (5/7)」のように「文書のマッチ数 (カーソル位置より前方のマッチ数/後方のマッチ数)」で表示します。この表示を OFF にするには、「環境設定」の「検索」から「検索個数表示」を OFF にします。

検索モード

検索には 4 つのモードがあります。

基本	文字コードの一致を判断して検索します。
曖昧	英字の大文字と小文字、全角と半角の文字を区別しないで検索します。
	欧文のアクセント付きアルファベットと、英字のアルファベットを区別しないで検索します。
単語	半角の英単語を検索します。
	wo を検索すると word にはマッチしません。
正規	正規表現で検索をします。

検索オプション

大文字と小文字を区別	ON にすると、半角英文字の大・小を区別します。
	OFF にすると、同一視します。
	「曖昧」モードでは無効です。
¥を文字として検索	ON にすると、¥文字を通常検索します。
	OFF にすると、¥文字を検索するには「¥」を指定します。
	「正規」モードでは無効です。
空白と記号をスキップ	ON にすると、空白と記号や改行をスキップして検索します。改行で区切られたメールの語句も検索できます
	「正規」モードでは無効です。
AND 検索	ON にすると、複数語句を AND 検索します。

空白で区切って複数の語句を指定します。
先頭語句で検索して、段落に 2 番目以降の語句があるか調べます。段落にすべての語句があれば、検索マッチで先頭語句にジャンプします。

「text if」と指定すると「text」と「if」の両方を含む段落を探して「text」にマッチします。

空白には半角空白を指定します。

検索文字の色分けは先頭語句のみ実行します。

「正規」モードでは無効です。

上方向へ検索

すべてのタブを対象 見出し内の検索

ON にすると、検索語をファイル先頭方向へ検索します。

ON にすると、すべてのタブの文書を検索します。

ON にすると、見出し内だけを検索します。

検索の実行

検索ダイアログのボタンから、検索を実行します。

OK
ダイアログを閉じて検索語を検索し、その位置へジャンプします。

キャンセル
ダイアログを閉じます。

全検索
文書の先頭から検索を実行します。

一覧
検索を実行し、マッチした段落を一覧表示します。

各種の検索

[検索]メニューの[各種検索]サブメニューから、各種の検索が実行できます。
文書のカーソル位置を保ちながら検索する「新検索」や、検索語句を含む段落だけを一覧表示する「絞り込み」などが利用できます。

絞り込み
「絞り込み」ダイアログを表示します。
検索語句を指定して OK すると、文書の指定語句を含む段落を絞り込んで表示します。

絞り込みの解除
絞込みを解除します。
検索単語の取得
カーソル位置の英単語を検索文字列として取得します。
新検索
新検索ダイアログを開きます。

索引から検索
文書と別のウィンドウを開いて検索します。
「索引から検索」ダイアログを表示します。
文書の語句の一覧から選択して OK すると、文書の先頭から語句を検索します。

高度な検索
「高度な検索」ダイアログを表示します。
AND や OR で、検索条件を複数組み合わせ合わせた検索ができます。
検索は段落単位で実行します。

検索ツール
「検索ツール」を起動してツールビューに表示します。
文書を編集しながら「検索ツール」で検索や置換の実

置換ツール	行ができます。 「置換ツール」を起動してツールビューに表示します。文書を編集しながら「置換ツール」で置換の実行ができます。 検索文字列・検索オプション・置換文字列の組を記憶して、複数条件の一括置換に対応します。
検索アウトライン	アウトラインに検索テキストボックスを表示します。テキストボックスで検索語句を入力すると、語句を含む段落を一覧表示します。
絞込アウトライン	アウトラインに絞込テキストボックスを表示します。テキストボックスで検索語句を入力すると、語句を含む見出しの一覧を絞り込み表示します。
検索の色分け	検索文字列の色分け表示の ON/OFF を切り替えます。
絞り込み	

WZ8 のリストボックスやアウトライン、閲覧モードのテキストでは、行単位の絞り込みに対応しています。

文字を入力すると絞り込み表示します。

- ・リストボックスの一覧に、絞り込み文字列を含む項目を絞り込み表示します。
- ・絞り込み中は、リストボックスの上部に絞り込みの文字列を表示します。
- ・続けて文字を入力すると、さらに絞り込みをおこないます。
- ・空白に続けて文字を入力すると、空白で区切った語句のすべてを含む項目を、絞り込み表示します。

[Backspace]キーを押すと、絞り込み文字列を 1 文字削除します。

絞り込み文字列をすべて削除して空にすると、絞り込みを終えます。

グローバル検索

[検索]メニューの[グローバル]サブメニューから、複数の文書を対象とする各種の検索が実行できます。

ファイルの検索

「ファイルの検索」ダイアログを開きます。

検索文字列を指定して OK すると、文字列を含むテキストファイルを文書のフォルダから検索して一覧表示します。

WZ Grep

見出しの検索

「WZ Grep」を起動してグローバル検索します。

「見出し検索」ダイアログを表示します。「見出し」に見出し名を入力すると、フォルダからファイルを探索して結果を一覧に表示します。一覧から選択して OK すると、見出しの箇所へジャンプします。

ワイド検索アウトライン

ウィンドウのすべてのタブのリアルタイム Grep 検索をおこないます。

ワイド絞込アウトライン

ウィンドウのすべてのタブの検索語を含む見出しを一覧表示します。プログラムの変数名や定義値を検索指定すると、変数の使用箇所の関数を一覧表示します。

関数定義の検索

テーブルファイル (TAGS ファイル) を作成することなく、フォルダ内の全ファイルからの C、C++、Java 言語の関数定義の検索とタグジャンプに対応しています。

関数定義を検索するには、[検索]メニューの[グローバル検索]-[見出しの検索]を実行して、「見出し」テキストボックスに関数名を入力します。編集テキストで関数名にカーソルを合わせてコマンドを実行すると自動入力されます。関数名を入力する度に、編集テキストのフォルダの全ファイルから関数定義が検索され結果が一覧に表示されます。複数行にまたがる関数定義など、検索できない関数もあります。

一覧から項目を選択して OK すると、関数定義の位置へジャンプします。

正規表現検索

正規表現で検索するには、検索ダイアログで「正規」を ON にして、「検索」に正規表現を指定します。正規表現では、複数の文字列を指定した OR 検索や、特定のパターンを検索することができます。

「検索」または「置換」

	検索 置換
スペースの列	¥s+
「数字-数字」	¥d-¥d
空白行	^\$
行頭スペース	^¥s+
行末スペース	¥s+\$
E-mail アドレス	[-A-Za-z0-9.]+@[-a-z0-9.]+

正規表現メタキャラクタ

正規表現では、検索文字列にメタキャラクタを記述して、パターンの記述や検索のオプションを指定します。その他の文字は、通常の検索文字列として指定できます。

^	正規表現の先頭に指定すると行の先頭を表します。
\$	正規表現の末尾に指定すると行の末尾を表します。
.	改行を除いた任意の 1 文字を表します。(全角も 1 文字)
[...]	[]内に含まれる任意の 1 文字を表します。

	範囲指定 [a-z]、[あ-お]の記述も可能です。 (全角文字はシフト JIS コードの範囲になります)
	[]内では、¥t・¥s・¥w・¥d・¥[・¥]・¥¥・¥xXX の指定で、 タブ・空白・英数字・数字・[・]・¥・文字コード XX を指定できます。
[^...]	[]内に含まれない任意の 1 文字を表します。範囲指定も可能です。
(...)	(...)を 1 つの文字として扱います。 ()内の文字をタグに記憶します (最大 9 個)。 タグに記憶した N 番目の文字列にマッチします。 「¥N」の指定も同じです。
\$N	直前パターンの 0 回以上のくり返し。
*	直前パターンの 1 回以上のくり返し。
+	直前パターンが 0 個または 1 個であることを表します。
?	直前パターンの n 回以上、m 回以下のくり返し。
{n,m}	n と m は 30 まで指定できます。数が多いと「正規表現が複雑すぎます」のエラーになります。 直後に同じ文字を「a{3,5}a」と指定すると文字指定が無効になります。 "aaaaaa"に対して a{3,3}を検索すると 1 回マッチします。 マッチする場所は不定です。 想定される動作と実際の動作が異なる場合があります。
{n}	直前パターンの n 回のくり返し
<	単語の始め
>	単語の終わり
	和演算子 (A または B)
¥w	英数字と「_」
¥W	¥w 以外
¥s	空白文字 (タブ、全角空白も含む)
¥S	空白以外の文字
¥d	数字
¥D	数字以外
¥b	英単語の始めまたは終わり 指定例:"¥bWORD"、"WORD¥b"
¥B	英単語の途中 指定例:"¥BWORD"、"WORD¥B"
¥n	改行 (CR+LF または LF)
¥r	復帰 (CR)
¥t	タブ
¥x00~¥xFF	文字コード
¥000~¥777	8 進数表記による文字コード

¥c	正規表現 c の意味を取り消して、文字 c を表します。 「」は「¥」、「+」は「¥+」、「¥」は「¥¥」で表します。
※正規表現の「^」や「\$」は、それぞれ行頭や行末を表す記号です。改行を表す文字ではありません。	

置換

語句の置換をするには、[検索]メニューの[置換]を実行します。置換ダイアログが表示されます。「検索」に検索文字列、「置換」に置換文字列を指定します。OKすると検索実行して、置換を問い合わせします。

置換テキストボックスでは、置換文字列を指定します。

- ・検索モードが「正規」の場合は、正規表現のタグ指定 (例:\$1) を指定できます。
- ・置換文字列を空にすると、検索文字列を削除します。
「¥を文字として検索」を OFF にすると、¥文字で特殊文字の指定ができます。
・「¥t」でタブ文字、「¥n」で改行、「¥¥」で¥文字に置換します。
- ・¥x に続けて 2 桁の 16 進数を指定すると、バイナリデータに置換します。例「¥x1a」
- ・¥xx に続けて複数桁の 16 進数を指定すると、複数バイトのバイナリデータに置換します。例「¥xx5a5c」

改行を削除して段落を連結するには、下記の指定をおこないます。

- ・「¥を文字として検索」を OFF
- ・「検索」に「¥n」を指定
- ・「置換」に「空」を指定

置換の専用オプション

置換の確認	ON にすると、置換前に確認します。 OFF にすると、確認をしないで置換実行します。
範囲内の置換	ON にすると、選択範囲内を置換をします。 箱型範囲選択 (矩形選択) の置換にも対応しています。
全置換	テキストの先頭から末尾までの全体を置換します。 置換個数が 1000 個を超えると高速化のため、編集の行番号の太字表示はクリアされます。
履歴	置換の履歴を 300 個まで一覧表示します。 選択して OK するとダイアログに入力します。

正規表現置換

正規表現では、「タグ付き置換」による文字列の置換ができます。タグ付き置換では、パターンにマッチした文章をタグに記憶して、置換文字列として指定します。

(例) カタカナ単語のー(マイナス)を、ー(音引き)に置き換える

検索文字列 ([ア-ケ])ー
置換文字列 ¥1ー

- ・タグに記憶するパターンは、()で囲います。
- ・置換文字列にタグを指定するには「¥1」を記述します。

置換文字列には、下記のメタキャラクタが指定できます。

\$N タグに記憶した N 番目の文字列を挿入します。
¥N タグに記憶した N 番目の文字列を挿入します。
\$+ 最後に括弧でマッチした文字列を挿入します。
\$& マッチした文字列全体を挿入します。
\$' 段落先頭からマッチした文字列までを挿入します。
\$' マッチした文字列から段落末尾までを挿入します。

バイナリデータの検索

バイナリデータを検索するには、下記の操作をおこないます。

- ・[検索]メニューの[検索]を実行
- ・「基本」を選択
- ・「¥を文字として検索」を OFF、「大文字と小文字を区別」を ON

¥x に続けて 2 桁の 16 進数を「¥x1a」のように指定すると、1 バイトのデータ検索をおこないます。¥xx に続けて複数桁の 16 進数を「¥xx5a5c」のように指定すると、複数バイトのデータ検索をおこないます。

バイナリアドレスジャンプ

特定アドレスへジャンプするには、下記の操作をおこないます。

- ・[検索]メニューの[ジャンプ]を実行
- ・「アドレス」にジャンプ先を 16 進数で「a123」の様に入力して OK

メニューコマンド

検索

検索ダイアログを開きます。検索語句を指定して OK すると検索を実行します。

置換

置換ダイアログを開きます。検索語句と置換文字列を指定して OK すると置換を実行します。

前を検索

前回検索した文字列を、カーソル位置から前方向へ検索します。

次を検索

前回検索した文字列を、カーソル位置から次方向へ検索します。

各種検索一絞り込み

「絞り込み」ダイアログを表示します。検索語句を指定して OK すると、文書の指定語句を含む段落を絞り込み表示します。折りたたみはすべて解除されます。

各種検索一絞り込みの解除

絞り込みを解除します。

各種検索一検索単語の取得

カーソル位置の英単語を検索文字列として取得します。

ダイアログは開かずにテキストの検索文字列を色分け表示します。

各種検索一新検索

新検索ダイアログを開きます。文書と別のウィンドウを開いて検索します。

- ・検索テキストボックス、検索モード、検索オプション、テキストビューを表示します。テキストビューに文書を表示します。テキストビューでの編集にも対応しています。
- ・検索文字列を入力すると、テキストビューのカーソル位置から検索して該当箇所へジャンプします。
検索文字列が見つからない時は「見つかりません」と表示します。
検索文字列を変更するたびに、検索を実行します。
- ・検索テキストボックスで[↑][↓]キーを押すと、前／後の検索をします。
- ・「絞り込み」チェックボックスを ON にすると、テキストビューの検索文字列を含む段落を絞り込みます。

各種検索一索引から検索

「索引から検索」ダイアログを表示します。

文書の語句の一覧から選択して OK すると、文書の先頭から語句を検索します。

各種検索一高度な検索

「高度な検索」ダイアログを表示します。AND や OR で、検索条件を複数組み合わせた検索ができます。検索は、段落単位で実行します。

- ・各検索条件は、「検索文字列」「モード」「オプション」を指定します。
- ・AND 条件を追加するには、「追加」から「AND 条件を追加」を実行します。
- ・OR 条件を追加するには、「追加」から「OR 条件を追加」を実行します。

条件の組み合わせは木構造で表示されます。

OR 条件は 2 つに対等に枝分かれした木構造で、AND 条件は子の枝に分かれた木構造で表示されます。この構造で表現できる AND と OR の組み合わせに対応しています。

各種検索一検索ツール

「検索ツール」を起動してツールビューに表示します。

文書を編集しながら「検索ツール」で検索や置換実行ができます。

- ・「検索」テキストボックスに検索文字列を入力して、「次検索」をクリックすると、文書のカーソル位置から検索してジャンプします。
- ・「置換」テキストボックスに置換文字列を入力して「置換」をクリックすると、文書のカーソル位置から検索して置き換えます。「全置換」をクリックすると、文書の先頭から検索して順に置換します。
- ・「オプション」のクリックで、「検索」と「置換の確認」オプションの変更ができます。
- ・「検索」「置換」テキストボックスは、タブと改行に対応しています。
タブや改行を挿入するには、テキストボックスにカーソルを移動し「改行」「タブ」をクリックします。
複数行の検索文字列は、履歴の記憶と色分け表示には対応していません。

各種検索－置換ツール

「置換ツール」を起動して、ツールビューに表示します。

文書を編集しながら「置換ツール」で置換実行ができます。

検索文字列・検索オプション・置換文字列の組を記憶し、複数条件の一括置換に対応します。置換条件を下記の操作で登録します。

- ・「追加」をクリックして、「検索オプション」ダイアログを表示
- ・「置換」と同様に検索文字列・オプション・置換文字列を指定して OK 一覧に入力した条件が追加されます。
- ・上記の操作を繰り返し実行すると、一覧に複数の条件が追加されます。一覧の各行が 1 つの置換条件となります。

一覧から下記の操作で、検索や置換を実行します。

次検索

一覧で選択した条件で検索を実行します。

置換

一覧で選択した条件で検索を実行して置換します。

「次検索」の後に「置換」を実行すると、その単語を置換します。

全置換

テキストの先頭から置換を実行します。

置換の確認

置換の確認の ON/OFF を指定します。

置換条件の編集

一覧で選択した条件を変更します。

上へ／下へ

置換条件の表示の順序を入れ替えます。

見出し

見出しの挿入・編集ダイアログを表示します。

一括置換をするには、下記の操作をおこないます。

- ・複数の条件を入力
- ・先頭条件を選択
- ・「見出し」をクリック
- ・「見出し名」と「見出しレベル」を指定して OK。一覧に見出しが作成されます
- ・見出しを選択して「次検索」「置換」「全置換」をクリック
選択した見出しから、次の見出しまでの条件で一括置換が実行されます。
一括置換の条件を複数記憶することも可能です。

一覧を右クリックして「エディタで開く」を実行すると、登録内容を直接編集できます。検索文字列、置換文字列、検索オプション (10 進数表記) をタブで区切って指定します。検索オプションは、WZ フォルダのファイル「text.h」の SEARCH_ で始まる語句の定義を参照して指定します。

各種検索－検索アウトライン

アウトラインに、検索テキストボックスを表示します。

テキストボックスで検索語句を入力すると、語句を含む段落の一覧を表示します。

検索アウトラインを終了するには、テキストボックスで[Esc]キーを押します。

検索オプションを指定するには、検索テキストボックスを右クリックして、「検索ダイアログ」コマンドから実行します。

各種検索－絞込アウトライン

アウトラインに、絞込テキストボックスを表示します。テキストボックスで検索語句を入力すると、語句を含む見出しの一覧をアウトラインに絞り込み表示し

ます。本文には、語句が色分けして表示されます。検索結果をアウトラインで確認できます。

絞込アウトラインを終了するには、テキストボックスで[Esc]キーを押します。

検索オプションを指定するには、絞込テキストボックスを右クリックして、「検索ダイアログ」コマンドから実行します。

絞込アウトラインは、本文の編集による自動更新には対応していません。更新するには、絞込テキストボックスで[Enter]キーを押します。

各種検索－検索の色分け

検索文字列の色分けの ON/OFF を切り替えます。

グローバル検索－ファイルの検索

「ファイルの検索」ダイアログを開きます。検索文字列を指定して OK すると、文書のフォルダからテキストファイルを検索して一覧表示します。

一覧から選択して[Enter]すると、ファイルを開いて検索箇所へジャンプします。

一覧は自動的に更新されます。フォルダのファイルが変更されると、再検索を実行して一覧に反映します。

グローバル検索－WZ Grep

WZ Grep を起動して、グローバル検索をおこないます。

グローバル検索－見出しの検索

「見出し検索」ダイアログを表示します。「見出し」に見出し名を入力すると、フォルダからファイルを検索して結果を一覧に表示します。

一覧から選択して OK すると、見出しの箇所へジャンプします。

- ・文書のフォルダから、すべてのテキストファイルを検索します。
文書と同じ拡張子のファイルを検索してから、文書の拡張子以外のファイルを検索します。
- ・「部分一致」を ON にすると、指定した見出し名を含む見出しを検索します。
OFF にすると、指定した見出し名と一致する見出しを検索します。
見出し名の半角英文字の大小は、区別しないで検索します。
- ・見出しの検索は、「見出し名」の入力の度にバックグラウンドでおこないます。
- ・プログラムの関数の定義場所を、「見出し検索」コマンドで検索できます。

グローバル検索－ワイド検索アウトライン

ウィンドウのすべてのタブの、リアルタイム Grep 検索をおこないます。コマンドを実行するとワイドアウトラインを表示して、検索テキストボックスを表示します。

検索語を入力して[Enter]キーを押すと、ワイドアウトラインに検索語を含む段落の一覧を表示します。一覧で選択して[Enter]キーを押すと、その段落へジャンプします。

検索オプションを指定するには、検索テキストボックスを右クリックして「検索ダイアログ」コマンドを選択します。

検索を終えるには、検索テキストボックスで[Esc]キーを押します。

ワイドアウトラインを閉じるには、消えるまで[Alt+D]キーを複数回押します。

グローバル検索－ワイド絞込アウトライン

ウィンドウのすべてのタブの、検索語を含む見出しを一覧表示します。プログ

ラムの変数名や定義値を検索指定すると、変数の使用箇所の関数を一覧表示します。

コマンドを実行するとワイドアウトラインを表示して、絞込テキストボックスを表示します。検索語を入力して[Enter]キーを押すと、ワイドアウトラインに検索語を含む見出しの一覧を表示します。一覧で選択して[Enter]キーを押すと、その段落へジャンプします。

検索オプションを指定するには、絞込テキストボックスを右クリックして「検索ダイアログ」コマンドを選択します。検索を終えるには、絞込テキストボックスで[Esc]キーを押します。

ワイドアウトラインを閉じるには、消えるまで[Alt+D]キーを複数回押します。

絞込アウトラインは、リアルタイムの更新表示には対応していません。

表示を更新するには、絞込テキストボックスで[Enter]キーを押します。

文書の先頭

文書の先頭へジャンプしてカーソルを移動します。

文書の末尾

文書の末尾へジャンプしてカーソルを移動します。

ジャンプ

ジャンプダイアログを開いて各種のジャンプを実行します。

段落へ	指定の段落へジャンプします。
表示行へ	指定の表示行へジャンプします。
ページへ	指定のページへジャンプします。
最後の編集位置へ	最後の編集位置へジャンプします。
前位置へ	検索や文書の先頭／末尾の移動前の位置へジャンプします。

対括弧へ 対括弧を検索してジャンプします。

Unicode 文字 Unicode 特有の文字へジャンプします。カーソル位置から検索します。

URL URL へジャンプします。カーソル位置から検索します。

見出し 見出しへジャンプします。カーソル位置から検索します。

変更行へ 変更行へジャンプします。カーソル位置から検索します。

対括弧 カーソル位置の括弧記号に対応する、括弧記号へジャンプします。

括弧記号は、() [] { } < > に対応しています。

見出し/ブロックー前の見出し

前の見出しを、文書の先頭方向へ検索します。

見出し/ブロックー次の見出し

次の見出しを、文書の末尾方向へ検索します。

見出し/ブロックー前のブロック

ブロック単位の前方向への移動をおこないます。

- ・空白のみの行。
- ・アウトラインの見出し行。

- ・C 言語の { や } を含む行。
- ・C 言語の #if, #else, #elif, #endif の行。

見出し/ブロックー次のブロック

ブロック単位の後方向への移動をおこないます。

- ・空白のみの行。
- ・アウトラインの見出し行。
- ・C 言語の { や } を含む行。
- ・C 言語の #if, #else, #elif, #endif の行。

見出し/ブロックー対のブロック

対のブロックへの移動をおこないます。

- ・C 言語の { を含む行から、} を含む行へ。
- ・C 言語の #if 行から #else 行へ。

マーク

文書にしおりを 4 か所まではさむことができます。

- ・マークダイアログでマーク 1～4 を選択して「記憶」をクリックすると、現在のカーソル位置を記録します。
- ・「解除」をクリックすると、記憶を解除します。
- ・一覧から選択して OK すると、記憶位置にジャンプします。

しおりの位置は、プロファイルに保存されます。

マークー覧 マークダイアログを表示します。

マーク 1 に記憶 カーソル位置をマーク 1 に記憶します。

マーク 1 へジャンプ マーク 1 へジャンプします。

マーク 1 をクリア マーク 1 をクリアします。

マーク 2 に記憶 カーソル位置をマーク 2 に記憶します。

マーク 2 へジャンプ マーク 2 へジャンプします。

マーク 2 をクリア マーク 2 をクリアします。

タグジャンプ

カーソル行のタグ指定を読み取り、別のテキストファイルを開いてジャンプします。

文書にタグを埋め込んでおくと、そのファイルをタグジャンプで開けます。関連付けアプリケーションや Windows アプリケーションと WZ の起動にも対応しています。

タグ情報には、ファイル名や行番号を指定します。

- ・"ファイル名" コメント
- ・"ファイル名" 行番号 コメント
- ・"ファイル名" 行番号,桁 コメント
- ・"ファイル名" "検索文字列" コメント

コメントは省略できます。行番号は括弧付きで(行番号)の指定にも対応しています。

タグジャンプからファイルに関連付けで開くには、テキストファイルに下記の書式でタグを埋め込みます。

- shell は行頭から記述して、ファイル名の直後に改行を入力します。
- ・shell "ファイル名"

- ・指定例

```
shell "C:¥Users¥Name¥Desktop¥PDF ファイル.pdf"
```

ファイル名を入力するには、ファイルをエクスプローラやデスクトップからマウス右ボタンを押しながら WZ8 にドラッグアンドドロップします。

タグの行にカーソルを移動して、タグジャンプを実行すると、ファイルがアプリケーションで表示されます。

Windows アプリケーションを起動するには、下記のタグを指定します。

- ・shell(コメント) コマンドライン

(コメント)は省略できます。コマンドラインには、Windows で「スタート | ファイル名を指定して実行」の指定を記述します。

- ・shell(フォルダを開く) c:¥_text
- ・shell(Grep を起動) "c:¥program files¥wz editor¥wzeditor.exe" @txgrep

WZ8 を起動するには、下記のタグを指定します。

- ・wz(コメント) 引数

(コメント)は省略できます。引数には、WZ8 の起動オプションを指定します。

- ・wz(Grep を起動) @txgrep

バックジャンプ

「バックジャンプ」ダイアログを表示します。バックジャンプの一覧表示から選択して OK すると、ジャンプ前の文書の編集位置に戻すことができます。

バックジャンプには、「タグジャンプ」前の位置、「見出し検索」のジャンプ前の位置、文書を閉じた時の位置、「前位置へ追加」の位置が記憶されています。

バックジャンプへ追加

「バックジャンプ」に、文書のファイル名とカーソル位置を追加します。

比較を開始

2つの文書の先頭から比較を開始して、一致しない箇所へカーソルを移動します。比較をするには、下記の操作をおこないます。

- ・比較する2つの文書を開く
- ・[ウィンドウ]メニューの[分割ビューの切り替え]を実行して、並べて表示する
- ・「比較を開始」を実行

比較を続ける

2つの文書のカーソル位置から比較して、一致しない箇所へカーソルを移動します。

文書の比較

文書と指定ファイルの比較を実行します。

- ・「比較」ウィンドウから、「ファイル | 開く」コマンドを選択して、ファイルを指定して OK します。
- 「比較」ウィンドウの左側に文書、右側に指定ファイルを表示します。
- ・段落ごとに比較します。
- ・一致した段落はハイライト表示、一致しない段落はグレー表示します。
- ・左側画面で編集をすると、元の文書にも編集結果が反映されます。
- ・比較後に編集した段落は、通常の色で表示します。
- 「比較」ウィンドウを閉じると、元の文書に戻ります。

表示

色分け

テキストの色分けを設定するには、色分けスタイルを使用します。

単語や文字の色分け

プログラムの予約語や原稿の特定の文字を色分け表示するには、下記の操作をおこないます。

- ・[表示]メニューの[色分け設定]を実行
- ・「追加」をクリック
- ・ステータスを ON、色の指定を「直接指定」、色を設定
- ・種類に「英単語」または「語句」を指定
漢字のキーワードを色分けする場合は、「語句」を指定
- ・「文字列 1」に色分けするキーワードを空白で区切って指定して OK

単語や文字のキーワードをファイルで指定するには、下記の操作をおこないます。

- ・改行または空白区切りでキーワードをテキストファイルに作成。
- ・色分け設定の「文字列 1」に「file://フルパスのファイル名」を指定して OK
ファイル名の例「c:¥Program Files¥WZ Editor 8¥xxx.tkw」
「文字列 1」の指定例「file://c:¥Program Files¥WZ Editor 8¥xxx.tkw」

色表示のカスタマイズ

文字、範囲選択の表示色や、偶数段落行の背景色のカスタマイズをするには、下記の操作をおこないます。

- ・[表示]メニューの[設定]を実行
- ・目次から「表示スタイル-文字表示-文字色」を選択
- ・「通常文字」「選択文字」「選択背景」などに色を指定して OK

検索文字列、URL、引用など色分けの表示色をカスタマイズするには、下記の操作をおこないます。

- ・[ツール]メニューの[環境設定]を実行
- ・目次から「色分け」を選択
- ・「検索文字列」「URL」「引用」などに色を指定して OK

デフォルトの色分け

WZ8 では、下記の表示スタイルが標準で用意されています。

標準、自動判別、HTML、PHP プログラム、css、TeX、ini ファイル、MortScript、UNIX シェルスクリプト、C プログラム、JAVA プログラム、PERL プログラム、RUBY プログラム、SQL プログラム、VHDL プログラム、アセンブラ、フォートラン、BASIC プログラム、PASCAL プログラム、LISP プログラム、PYTHON プログラム

「標準」スタイルはテキスト文書用です。検索文字列、URL、タグ、引用、コ

メントの色分けをおこないます。その他のスタイルはプログラム用です。「自動判別」を指定すると、ファイル拡張子によって自動で使用する色分けスタイルを切り替えます。

テキストの色分け

テキスト文書は、デフォルトで検索文字列、引用、コメントが色分け表示されます。

引用

「>」文字から始まる段落は、引用行と認識してグレーで表示します。

文章を引用するには、

- ・引用する文章をクリップボードへコピー
- ・[編集]メニューの[コピー／貼り付け]-[引用符を付けて貼り付け]を実行
- ・引用符に「>」を指定して OK

色を変更するには、

- ・[ツール]メニューの[環境設定]を実行
- ・目次から「色分け」を選択
- ・「引用」の色を変更して OK

コメント

「#」文字から始まる段落は、コメントとして緑色で表示されます。

色を変更するには、

- ・[ツール]メニューの[環境設定]を実行
- ・目次から「色分け」を選択
- ・「コメント」の色を変更して OK

プログラムの色分け

プログラムファイルを開くと、拡張子によってプログラム言語に対応した色分け表示をします。

色分けは、コメント、識別子、文字列、数値、予約語、演算子が対象となります。

プログラム言語に応じて色分け表示の対応状況が異なります。

C・C++プログラムの色分け

- ・#if 0～#endif のコメント色分け
- ・#if 識別子～#else～#endif の色分け
- ・単項、代入演算子「* = ! & ? : ~」の色分け
- ・比較、2 項演算子「> . == != >= <= < > && | + - /」の色分け
- ・括弧類「() , ; { } []」の色分け

色分けスタイルの切り替え

色分けスタイルをファイル単位で切り替えるには、

- ・[表示]メニューの[色分け設定]を実行。
- ・「スタイル一覧」をクリック、一覧でスタイルを選択して OK。

色分けスタイルの切り替えは、ファイルのプロファイルに記憶されます。

ファイル単位で専用の色分けスタイルを使用するには、

- ・[表示]メニューの[色分け設定]を実行。
- ・「スタイル一覧」をクリック、先頭の「専用設定」を選択して OK。

専用設定の設定内容はファイルのプロファイルに記憶され、他の色分けスタイルと混ざることなくファイル専用の設定として使用できます。

色分けスタイルの設定

色分けスタイルの設定をするには、[表示]メニューの[色分け設定]を実行します。

色分けスタイルでは、色分けの種類と表示色を指定した「色分け項目」を複数登録できます。色分け項目を登録するには下記の操作をおこないます。複数の色分け項目を追加するにはこの操作を繰り返します。

- ・「追加」をクリック。新規項目が追加されます
- ・「ステータス」を「OK」にする。OFF にすると項目の色分けが無効となります。
- ・「色の指定」から色を選択。「検索文字列」や「予約語」を選択すると、環境設定で指定した色で表示します。「直接指定」を選択すると「色」「太字」「下線」「斜体」を指定できます。
- ・「種類」「文字列」「オプション」を指定

色分けの実行

色分けは字句解析のパターンマッチングで表示します。構文解析を実行しないためプログラム言語の完全な色分けには対応していません。

色分けのパターンマッチングは、スタイルの先頭の色分け項目から順に実行します。

- ・上位の色分け項目にマッチした字句は、下位の色分け項目のマッチングから除外されます。
- ・下位の色分け項目のオプションに inc か over を指定すると、上位にマッチした字句を完全に含む場合に下位のマッチングも実行します。

プログラム言語のコメントの色分けは、下記の順位に色分け項目を指定します。

- ・上位に文字列や URL などのコメントの開始記号にマッチする色分け項目を指定します。
- ・下位にコメントの色分け項目を指定して、オプションに inc または over を指定します。

inc を指定すると、コメント内の文字列など上位の字句を色分け表示します。

over を指定すると、コメント内の文字列もコメントの色で表示します。

色分け項目の設定

ステータス

OK 色分け項目の指定を有効

SKIP 色分け項目の指定を無効

色の指定

検索文字列や**予約語** 環境設定で指定した色で表示、*項目の指定は無効

直接指定 *項目の「色」「太字」「下線」「斜体」の指定色で表示

色分け表示色を指定

色*

太字*

ON 色分け対象の文字列を太字表示

下線*

ON 色分け対象の文字列を下線付きで表示

斜体*

ON 色分け対象の文字列を斜体表示

種類

色分けの種類を指定、詳細は下記

文字列 1,2	「種類」に応じて文字列、正規表現、ファイル名を指定
タグ 1,2	文字列 1,2 の正規表現のタグを指定 なし 正規表現にマッチした文字列全体を色分け タグ 1〜5 正規表現の「先頭〜5 番目」の括弧内にマッチした文字列を色分け
オプションコメント	色分けのオプションを指定、詳細は下記 色分け指定の目的などのコメントを入力
色分けの種類	
英単語	英単語を色分け、英単語は「文字列 1」に半角空白で区切って指定（例）「abc def」 英単語をファイルで指定するには、「文字列 1」に「file://」に続けてファイル名をフルパスまたは標準フォルダの相対パスで入力（例）「file://c:¥color.tkw」「file://color.tkw」 ファイルには単語を半角空白か改行で区切って指定
英単語（大小区別なし）	
語句	英単語を色分け、大文字と小文字は区別しない 日本語語句を色分け、色分けする語句は「文字列 1」に半角空白で区切って指定、「英単語」と同様にファイル指定も可能
正規表現	「文字列 1」で指定した正規表現を色分け、「タグ 1」の指定による正規表現のタグ記憶の色分けも可能
行末	「文字列 1」で指定した文字から行末までを色分け
行末（正規表現）	「文字列 1」で指定した正規表現から行末までを色分け
段落内範囲	段落内で「文字列 1」〜「文字列 2」で指定した範囲を色分け
広範囲	「文字列 1」〜「文字列 2」で指定した範囲を色分け 1 つの色分けスタイルにつき合計 6 個まで指定可能＊
広範囲（正規表現）	「文字列 1」〜「文字列 2」の正規表現で指定した範囲を色分け 1 つの色分けスタイルにつき合計 6 個まで指定可能＊
URL	URL を判別して色分け
"ファイル名"	ファイルが存在する"ファイル名"を色分け
#if 条件	C・C++言語の「#if〜#else〜#endif」を色分け 「#if 0〜#endif」の無効部を指定色で色分け 「文字列 1」に識別子を半角空白で区切って複数指定可能 「#if 識別子〜#endif」「#if defined(識別子)」は有効部 「#if !defined(識別子)」は無効部 文字列 1 に指定のない識別子の「#if defined(識別子)」

は無効部、「#if !defined(識別子)」は有効部
文字列 1 に!識別子の指定で「#if 識別子〜#endif」は無効部
オプション「nodef」の指定で defined の色分けを OFF
検索ダイアログで指定した検索条件で色分け
HTML のタグを色分け
HTML のタグの属性部分を色分け
青空文庫と JIS 形式のタグを色分け

オプションの詳細

優先度や色分け文字列の詳細設定を指定します。 複数のオプションを指定するには空白で区切ります。	
inc	上位レベルの色分けを含む文字列を色分け表示 （デフォルトは、上位レベルを含む色分けは無効）
over	上位レベルの色分けを含む文字列を色分け表示、上位レベルの色分けは無効化（デフォルトは、上位レベルを含む色分けは無効）
esc	段落内範囲専用オプション、=に続けてエスケープする文字を指定 エスケープに続く一文字は範囲末尾の判定から除外
s1	段落内範囲専用オプション、「文字列 1」を色分け表示
s2	段落内範囲専用オプション、「文字列 2」を色分け表示
icase	半角英字の大文字と小文字を区別しないで色分け
nodef	#if 条件専用オプション、「#if defined(識別子)」「#if !defined(識別子)」の色分けを OFF

折りたたみ

折りたたみはプログラムのブロックを折りたたんで全体の構造を表示する機能です。C プログラム、C++プログラム、Java プログラムに対応しています。

折りたたみするには下記の操作をおこないます。

- ・プログラムブロック「{」、#if、#else の行へ移動
- ・[Alt+←]キーを押す。ブロックの終わりまでを折りたたみ表示します。

折りたたみを解除するには、再度[Alt+←]キーを押します。

行番号に[+]や[-]が表示された行は、折りたたみ可能な行となります。行番号の[+][-]のクリックや、行番号のダブルクリックでも折りたたみ／解除の操作がおこなえます。

下記の設定で、#if 0〜#endif を折りたたんでプログラムファイルを開きます。

- ・[表示]メニューの[設定]を実行して、目次から「ファイル／文書／開く」を選択
- ・折りたたみ表示に「C 言語ブロック（#if 0 をたたんで開く）」を選択して OK

タグの表示

WZ8では、青空文庫、JIS、HTML、TeX、体裁文書、TML 文書で使用するタグの表示を消して本文だけを表示することができます。

タグの表示を OFF にするには、[表示]メニューの[タグの表示]を実行します。再度コマンドを実行するとタグの表示を ON にします。

下記のカスタマイズをおこなうと、印刷プレビューと印刷時に自動でタグの表示を OFF にできます。

- ・[ツール]メニューの[環境設定]を実行
- ・目次から「ファイル-印刷オプション」を選択
- ・「印刷でタグを表示しない」を ON にして OK

ルビの表示

[表示]メニューの[専用設定]-[ルビ]-[ルビ 標準]以下のコマンドの実行で、ルビの表示を本文の 50%、75%、35%、表示 OFF に切り替ええます。

図の表示

[表示]メニューの[専用設定]-[図]-[図を等倍表示]以下のコマンドの実行で、図の大きさを 100%、50%、33%、25%、表示 OFF に切り替ええます。

メニューコマンド

設定

設定ダイアログを表示します。

表示設定の一覧

表示スタイルの一覧を表示します。表示スタイルを選択して OK すると、文書の表示スタイルを切り替えます。

色分け設定

「色分けスタイル」ダイアログを表示します。文書の色分けスタイルが表示されます。「一覧」をクリックすると、「色分けスタイル一覧」ダイアログを表示します。

- ・現在の文書に適用されている色分けスタイルを、一覧で選択表示します。
- ・一覧からスタイルを選択して OK すると、文書の色分けスタイルを切り換えます。

折り返しを指定文字数

文書を指定した文字数で折り返し表示します。

指定は、ファイル単位の設定として文書を閉じてでも保存されます。

折り返しを画面幅

文書を画面右端で折り返し表示します。

指定は、ファイル単位の設定として文書を閉じてでも保存されます。

折り返しをしない

文書の折り返しを OFF にして表示します。

指定は、ファイル単位の設定として文書を閉じてでも保存されます。

タグの表示

青空文庫／JIS テキストと HTML テキストのタグの表示の ON/OFF を切り替えます。

タグの記号表示

青空文庫／JIS テキストと HTML テキストのタグの記号表示の ON/OFF を切り替えます。ON にするとタグを一文字の記号で表示します。

文字参照を文字表示

HTML テキスト専用のコマンドです。文字参照「<」「>」「&」「"」を、通常文字「<」「>」「&」「"」として表示します。文字参照は表示上は文字として表示されますが、テキストには文字参照の指定が残ります。再度コマンドを実行すると、「文字参照を文字表示」を OFF にします。

「文字参照を文字表示」を ON にしてキーボードから「<」「>」「&」「"」を入力すると、文字参照「<」「>」「&」「"」がテキストに入力されます。

閲覧モード

閲覧モードの ON/OFF を切り替えます。閲覧モードを ON にすると、入力や編集が OFF となります。文字入力をする、その文字を含む段落を絞り込み表示します。続けて文字入力をする、さらに絞り込みます。

分割モード

文書のウィンドウを分割して、同一の文書を 2 つのビューに表示します。再度コマンドを実行すると元に戻します。カーソル位置、表示スタイルは個別に設定できます。

「多重化のカーソル位置を同期」の設定は、ウィンドウメニューの「分割ビューの切り替え」コマンドが優先されます。

自動スクロールモード

自動スクロールを開始します。自動スクロール中は、文字入力が OFF となります。

下記のスクロール操作のキー割り当てが有効となります。

Shift	速度 UP します。
Ctrl	速度 DOWN します。
Space	一時停止します。もう一度押すと再開します。
Esc	自動スクロールを解除します。

カーソル位置の切り替え

カーソルの表示位置を「画面上部」「中央部」「下部」へ移動します。カーソルの編集位置は保ちます。文字入力や[↓]キーでカーソルを移動すると、カーソルが画面の下方に表示されます。

このコマンドを実行すると、カーソルを画面の上方へ移動して、カーソル以降の行をより多く表示します。続けてこのコマンドを実行するとカーソルを画面中央へ、もう一度実行すると画面下部へ移動します。

表示を更新

編集画面の表示を更新します。

表示ツール

ブロックの折りたたみ／解除

プログラムのブロック単位で、表示の折りたたみ／解

カーソルを表示しない ヘッダの表示	除をおこないます。 カーソルを表示する／表示しないを切り替えます。 HTML テキストやメールテキストで、ヘッダ部分の表示を切り替えます。
ズーム	ズームダイアログを表示します。本文フォントのサイズを 10%～250%まで、ズーム表示します。 本文フォントのサイズを 50,75,100,120,150,200,250%で表示します。
専用設定	
字間 2～-2	字間を 2,1,0,-1,-2 ピクセルで表示します。
行間 6～-12	行間を 6,5,4,3,2,1,0,-1,-2 ピクセルで表示します。
行間 1/10 行～2/3 行	行間を 1/10,1/5,1/4,1/3,1/2,2/3 行で表示します。
縦書き	縦書き／横書き表示を切り替えます。
縦中横	縦中横表示の ON/OFF を切り替えます。
文字組版	文字組版表示の ON/OFF を切り替えます。
テキストを中央に表示	テキストを中央に表示する／しないを切り替えます。 表示設定によっては表示が切替らない場合があります。 タブを空白で表示する／記号で表示するを切替えます。 改行空白で表示する／記号で表示するを切り替えます。 EOF を空白で表示する／記号で表示するを切替えます。 全角スペースを空白で表示する／記号で表示するを切り替えます。ON は記号で、OFF は空白で表示します。 半角スペースを空白で表示する／記号で表示するを切り替えます。ON は記号で、OFF は空白で表示します。 表示行の行番号表示の ON/OFF を切り替えます。 段落行の行番号表示の ON/OFF を切り替えます。 ルーラー表示の ON/OFF を切り替えます。 カーソル行のアンダーラインの ON/OFF を切り替えます。
半角スペースの色分け	カーソル桁に縦線を引く／引かないを切り替えます。 ON にするとカーソル移動の都度、表示の更新をおこないます。表示速度に影響する場合があります。 ルビを本文フォントの 1/2 のサイズで表示します。 ルビを本文フォントの 75%のサイズで表示します。 ルビを本文フォントの 35%のサイズで表示します。 ルビの表示を消します。
表示行番号	図を標準サイズで表示します。
段落行番号	図を標準の 1/2 のサイズで表示します。
ルーラー	図を標準の 1/3 のサイズで表示します。
アンダーライン	図を標準の 1/4 のサイズで表示します。 図の表示を消します。
バーチカルライン	
ルビ 標準	
ルビを大きく	
ルビを小さく	
ルビを表示しない	
図を等倍表示	
図を縮小表示 50%	
図を縮小表示 33%	
図を縮小表示 25%	
図を表示しない	

挿入

リサーチ入力

リサーチ入力モードを ON にして文字を入力すると、補完入力候補の一覧を表示します。2 回目以降の語句・ブロック・タグの入力は、先頭の 1・2 文字を入力して選択入力できます。日本語語句、英単語、熟語、変数名、プログラム構文、関数呼び出し HTML タグ、TeX コマンドを、少ないキー操作で正確に入力できます。

リサーチ入力は、キーボードからの英字入力と、WZ ime・ATOK・MS-IME のかな入力に対応しています。IME の ON/OFF に関わらず、日本語と英語を補完入力します。入力の都度の IME モード切り替えが必要なく、IME を ON のまま英数字や記号も入力できます。

リサーチ入力モードを ON にすると、編集中のテキストの語句をバックグラウンドで分析します。リサーチ入力モードを OFF にすると、WZ ime の入力や、リサーチ入力コマンドの実行時に分析をおこないます。

リサーチ入力は、分析結果を利用してテキストごとに適した語句の補完を実行します。テキストの分析はプログラムで機械的に実行しますので、単語の区切りの判定や読み仮名の不一致により、意図した語句がリサーチ入力の補完候補一覧に表示されない場合や、WZ ime で優先表示されない場合があります。

リサーチ入力モードの ON/OFF

リサーチ入力モードの ON/OFF を切り替えるには、[挿入]メニューの[入力と IME]-[リサーチ入力モード]を実行します。[Ctrl+全角/半角]キーの切り替えにも対応しています。リサーチ入力モードを ON にすると、ステータスバーの左側に [R] と表示します。

候補一覧は下記のキー操作に対応しています。キー操作はカスタマイズ可能です。

[↓]キー

候補一覧へ移動します。

[↓][↑][変換][無変換][Space][F1～F12]キーで語句を選択して、[Enter]キーで文章へ入力できます。

[Shift+Enter]キーでルビ付きの補完入力をおこないます。

[Esc]キー

候補一覧を閉じます。

上記以外のキー操作は、テキスト本文の編集操作となります。テキストを編集しながら必要に応じて補完候補から入力できます。

補完候補の表示

補完候補一覧では、編集中のテキストを走査して入力語句から始まる語句の一覧を表示します。

半角の英単語 日本語の語句

wzeditor
名詞、動詞、形容詞

4 つまでの名詞の連続語 「補完」 + 「入力」 + 「候補」

英単語と名詞の連続語 「TML」 + 「文書」

英数字と半角空白の連続語

WZ EDITOR 8

英数字とハイフンの連続語

WZ ime

英数字とハイフンと名詞の連続語

WZ-リサーチ入力

全角カタカナの語句 ダブルゼットソフトウェア

全角カタカナと名詞の連続語

リサーチ入力

プログラムブロック

for (jumptop(text);!iscureof(text);jumpnextpara(text))

「英単語(引数)」の形式の候補を表示します。

HTML タグ

CSS スタイル

line-height:1.5em;

TeX コマンド

¥begin{enumerate}

¥item

¥end{enumerate}

「」で括られた語句

「色分けアウトライン」

長い語句や、段落全体が「」、段落が」で終わる場合を除きます。

全角や半角の引用符の語句

"色分けアウトライン"

長い語句は除きます。

見出しの語句

WZ EDITOR 8 ヘルプ

ルビ付きの語句

人物名

テキストの走査

テキストの走査は、リサーチ入力モードが ON の場合は常時バックグラウンドでおこないます。

テキストのオープン直後などに走査が未完了で、すべての補完候補を表示できない場合は、候補一覧に[!]を表示します。

[!]をクリックすると走査をおこなって、すべての補完候補を表示します。

候補の優先度

候補一覧は補完候補の語句を、英単語、日本語語句、カタカナ、プログラムブロック、タグの種類別に、使用頻度の高い順に表示します。

IME が ON の時は日本語を優先、OFF の時は英語を優先して表示します。

[Shift+ ↑][Shift+ ↓]キーで、種類別にカーソルを移動します。

絞り込み

候補一覧では、[Shift]+文字入力による絞り込みに対応しています。英字の候補および、ひらがな・カタカナを絞り込み表示します。[BS]または[Shift]+[BS]キーで、絞り込みを1文字ずつ解除します。

リサーチ入力モード OFF の補完入力

リサーチ入力モードを OFF にして補完入力するには、[挿入]メニューの[リサーチ入力]を実行するか[Ctrl+Space]キーを押します。入力した文字から始まる補完候補の一覧を表示します。

環境設定の「挿入IME」のオプションを設定すると、IME が ON の場合でも[Ctrl+Space]で補完入力をします。

候補一覧メニュー

候補一覧で右クリック、[R]のクリック、[メニュー]キーを押すと、操作のメニューを表示します。設定ダイアログの項目の一部もこのメニューから指定できます。

入力と IME の設定

送りかなを送る

入力と IME のカスタマイズダイアログを表示します。漢字変換候補の送りかなを「送る」「送らない」に切り替えます。

ルビ付きで補完入力

ルビ付きの補完語句は、候補一覧にルビを（）内に表示します。コマンドを実行すると、ルビを付けて補完入力します。JIS テキストと青空文庫テキストのルビに対応しています。

コピー

参照

候補一覧の選択行をコピーします。候補一覧の選択行の単語の位置にジャンプして、文書を表示します。

ジャンプ

候補一覧の選択行の単語の位置にジャンプして、一覧を閉じます。

ブロック内容の表示

ブロック内容のコピー

最新の内容に更新

候補一覧の選択行のブロック内容を表示します。候補一覧の選択行のブロック内容をコピーします。最新の表示に更新します。

2 段階の補完入力

下記の操作で、補完候補の単語から始まる一連のブロック入力ができます。

- ・候補一覧で[→]キーを押す。単語から始まる文章の一覧が表示されます。
- ・続けて[→]キーを押す。文章の続きが表示されます。[←]キーを押すと、文章を短縮します。
- ・単語の手前を表示するには[Shift+←]キー、戻すには[Shift+→]キーを押す
- ・[Enter]キーで挿入

2 段階の補完入力は、日本語・英語・プログラムの構文・ブロックに対応しています。

漢字と仮名の入力

ローマ字表記で英字を入力すると、先頭文字の読みが一致する日本語語句の補完候補を表示します。IME が OFF でも、日本語を補完入力できます。

IME から「ひらがな」を入力すると、先頭文字の読みが一致する日本語語句の補完候補と、IME から入力したローマ字と先頭文字が一致する英単語を表示します。

リサーチ入力では、WZ ime の機能で漢字が入力できます。補完候補に加えて、

ローマ字表記やひらがな入力に対応する、かな漢字変換候補を一覧に表示します。
かな漢字変換候補は、[wzime] 付きで表示し、補完候補と区別して表示します。

記号と引用符の入力

リサーチ入力は、テキストの使用頻度に応じた記号の変換入力に対応しています。

IME から、[括弧][引用符][記号][数字]キーを入力すると、各種の括弧、引用符、半角と全角の記号・数字を入力できます。

[]	読点[、]、コンマ[,]、半角読点[,]、半角コンマ[,]
[.]	句点[。]、ピリオド[.]、半角句点[。]、半角ピリオド[.]
[/]	中黒[・]、斜線[/]、半角中黒[・]、半角スラッシュ[/]
[_]	長音[ー]、音引[―]、マイナス[－]、ハイフン[-]、半角マイナス[-]
[#]	ナンバー[#]、音楽記号のシャープ[#]、半角ナンバー[#]
["]	二重引用符[“ ”]、半角二重引用符["]
[']	引用符[‘ ’]、半角引用符[']、半角アクサングラフ[']

IME から記号を入力すると、候補一覧に入力可能な記号を、使用頻度の高い順で表示します。全角の二重引用符[“ ”]と引用符[‘ ’]は、候補一覧に開始記号[" "]と終了記号[" "]を、入力位置に応じた優先順位で表示します。

キー入力「!\$%&()=~\|_?+*」で、候補一覧に全角または半角の記号を使用頻度の高い順で表示します。

英単語とプログラムの補完

英数字を入力すると、先頭文字が一致する英単語を補完候補に表示します。英単語は、「英数字」と「半角のアンダーライン」の文字列を認識します。単語の補完は、欧文のアクセント付きアルファベット文字にも対応しています。

英単語に(引数)が続く場合は、関数呼び出しや for ループとみなして、(引数)を含めたプログラムブロックを補完候補に表示します。C・C++・Java プログラムの関数呼び出しの再入力、条件を含めた for ループの再入力、関数定義の確認ができます。

HTML タグの補完

< と英字を入力すると、先頭文字が一致して、> で終わる HTML タグを補完候補に表示します。/ と英字を入力すると、HTML の閉タグを補完候補に表示します。

HTML タグの補完候補は、候補一覧に優先表示します。IME が ON の日本語入力モードでも、上記の操作でタグを補完入力します。

HTML のタグは、編集テキストに加えて、WZ8 規定のサンプル辞書から候補を取得します。サンプル辞書には、HTML タグの一覧が入力されていますので、新規 HTML テキストでもタグの補完入力を実行します。

CSS プロパティの補完

英字を入力すると、先頭文字が一致して「名前: 内容;」形式の CSS プロパティを補完候補に表示します。

TeX コマンドの補完

¥と英字を入力すると、先頭文字が一致する TeX コマンドを補完候補に表示します。TeX タグの補完候補は、候補一覧に優先表示します。IME が ON の日本語入力モードでも、上記の操作で TeX コマンドを補完入力します。

TeX のコマンドは、編集テキストに加えて、WZ8 規定のサンプル辞書から候補を取得します。サンプル辞書には、TeX の一般的なコマンドの一覧が入力されていますので、新規 TeX テキストでもコマンドの補完入力を実行します。

¥begin{環境名}の補完候補は、¥end{環境名}を含めて表示します。¥に続けて環境名の先頭文字を入力すると、¥begin{環境名}〜¥end{環境名}の補完候補を表示します。

API の補完

- 下記の操作で、「Text-C API」「Windows API」の補完入力も可能です。
- ・先頭の 1・2 文字を入力
 - ・補完候補一覧の[R]をクリック。メニューが表示されます
 - ・メニューから「Text-C API」または「Windows API」を選択
次回から、補完候補に API を含めて表示します。

プログラム構文の補完

構文入力をおこなうには、あらかじめ辞書ファイルで構文を定義しておきます。構文のキーになる文字列を**ではさんで構文を指定し、終わりに空行を指定します。構文入力後のカーソル位置を<>で定義できます。

```
*for* (;<>); {  
}  
  
for と入力してからリサーチ入力で一覧を実行すると、補完候補に「for (;<>);  
{↓}」が表示されます。選択して[Enter]キーを押すと、構文を入力してカーソル  
を■に移動します。  
  
for (;■); {  
  
}  
  
}
```

ファイル名の補完

ファイルオープンボックス・テキストオープンダイアログは、ファイル名の補完入力に対応しています。「ファイル名」テキストボックスで、英字を入力すると、先頭文字が一致するファイル名を表示します。

補完候補一覧からファイル名を選択して[Enter]すると、ファイルをオープンします。フォルダ名を選択して[Enter]すると、フォルダへ移動します。

ユーザ辞書

単語補完辞書を指定すると、補完候補を指定の辞書から検索して表示します。単語補完辞書には通常の文書やプログラムファイルを指定します。WZ8 が自動で単語を解析して辞書として使用します。

- 単語補完辞書を指定するには、下記の操作をおこないます。
- ・[表示]メニューの[設定]を実行
 - ・目次から「挿入一文書／補完候補の取得」を選択
 - ・「単語補完辞書 1,2」にファイルを指定

- ・「単語補完辞書 1,2」を ON にして OK
- WZ ime で指定した「見本テキスト」は、リサーチ入力にも適用されます。見本テキストの語句を認識して、補完候補を表示します。
- 見本テキストを指定するには、下記の操作をおこないます。
- ・[表示]メニューの[設定]を実行
- ・目次から「挿入一文書／補完候補の取得」を選択
- ・「見本テキスト 1,2」にファイルを指定して OK

カスタマイズ

リサーチ入力のカスタマイズは、[ツール]メニューの[環境設定]を実行、目次から「挿入」を選択しておこないます。

本文から候補一覧へのフォーカス移動

[↓][Shift+↓]・[↑][Shift+↑]・[Tab][Shift+Tab]
[Space][Shift+Space][Alt+Space]
[変換][Shift+変換][Ctrl+変換][Alt+変換]
[無変換][Shift+無変換][Ctrl+無変換][Alt+無変換]
[F1]～[F12]・[数字]キー・[Ctrl+F1～F12 数字]キー
[Alt]・[Shift]・[Ctrl+P]・[Ctrl+N]

コマンドの割り当て

[↓][Shift+↓]・[↑][Shift+↑]・[Tab][Shift+Tab]
[Space][Shift+Space][Alt+Space]
[変換][Shift+変換][Ctrl+変換][Alt+変換]
[無変換][Shift+無変換][Ctrl+無変換][Alt+無変換]

確定

自動表示

文字入力による確定の ON/OFF
リサーチ入力モードの ON/OFF、[半角/全角]キー割当
補完候補を表示するかな入力文字数、英字入力文字数

候補一覧表示

一覧のサイズ・フォント・色分け

WZ ime

WZ ime は WZ8 に内蔵された WZ 専用のかな漢字変換システムです。他のアプリケーションの入力には対応していません。

WZ ime は辞書の学習の代わりに、テキストで使用されている語句を分析して「同音異義語の順位」「かなの送り」「漢字／仮名表記」を判定しますので、テキストごとに適した日本語語句の入力をおこないます。テキストで使用されている全角カタカナの語句は単語登録の必要がなく、自動で単語として認識して変換します。

WZ ime はテキストで使用している読点「、」や句点「。」の種類を認識しますので、テキスト単位に読点と句点を揃えた入力ができます。対となる「括弧」「引用符」の入力も、分析結果から正しい記号を判定します。

テキストの入力

日本語を入力するには IME を ON にします。プログラムや英数字を入力するには IME を OFF にします。IME の ON/OFF はステータスバーの左端に表示されます。

- [A] IME は OFF です。
- [wz] WZ ime が ON です。WZ ime で日本語入力をおこないます。
- [あ] 他の IME が ON です。IME で日本語入力をおこないます。

- IME の ON/OFF の切り替えは下記のキー操作でおこないます。
- Shift+[半角/全角]キー WZ ime の ON/OFF を切り替えます。
キー割り当ては、カスタマイズが可能です。
- Alt+[半角/全角]キー 他の IME の ON/OFF を切り替えます。
- 環境設定の「挿入IME」の「[Shift+Enter]のフック」を ON に設定しておく、IME の入力途中に[Shift+Enter]キーを押すと IME の変換をキャンセルします。IME を OFF にしないで入力した半角アルファベットや記号の入力がおこなえます。

WZ ime の入力

WZ ime から入力するには、Shift+[半角/全角]キーを押して WZ ime を ON にします。ステータスバーの左端に [wz] が表示されます。ローマ字でかなを入力します。

- キー入力 kanawokanjinihenkansimasu
- 表示 かなをかんじにへんかんします

WZ ime は、かな入力にも対応しています。
入力したかなは、文節単位に区切って表示します。文節の区切りを変更するには、[→][←]キーで文節へ移動して、[Shift+→][Shift+←]で文節の句切りを変更します。

[Space]キーで変換実行する前に文節を正しい区切りに修正しておく、誤変換を抑止できます。変換を実行するには、[Space]キーを押します。

- 表示 仮名を漢字に変換します。

- [Enter]または文字を入力すると確定されます。
- 第 2 候補を表示するには、確定の前に[Space]キーを押します。

変換候補の一覧から単語を選択し、[Enter]または文字を入力すると確定されます。

変換候補の一覧

候補一覧では、ひらがな・カタカナへの変換、送りかなの切り替え、文節の変更の操作に対応しています。

- [Esc] かな入力に戻します。もう一度押すと入力したかなを削除します。
- [→] 次の文節へ移ります。
- [←] 前の文節へ移ります。
- [Ctrl+U]または[F6] ひらがなに変換します。
- [Ctrl+I]または[F7] カタカナに変換します。
- [Ctrl+O]または[F8] 半角カタカナに変換します。
- [Ctrl+P]または[F9] 入力した英数字に戻します。
- [Ctrl+J] 漢字の送りを切り替えます。
「いろわけ」の変換で[Ctrl+J]キーを押すと、「色分け」

[Ctrl+Y] と「色分」を交互に切り替えます。
[Shift+→] ルビ付きの変換の ON/OFF を切り替えます。
[Shift+←] 文節の区切りを 1 文字右に増やします。
文節の区切りを 1 文字左に減らします。

ルビ付きの入力

WZ ime は漢字に読みを付けて入力する、ルビ付きの入力に対応しています。
ルビ付きの入力をするには、ローマ字でかなを入力します。
表示 かなをかんじにへんかんします
[Shift+Space]キーを押して変換すると、ルビ付きの変換をおこないます。
表示 仮名(かな)を漢字(かんじ)に変換(へんかん)します。
[Enter]または文字を入力すると確定されます。
通常の[Space]の変換から、ルビ付きの入力もできます。
表示 仮名を漢字に変換します。
[Shift+Enter]で確定すると、ルビ付きの確定入力をおこないます。
入力 仮名(かな)を漢字(かんじ)に変換(へんかん)します。
ルビ付きの入力は、青空文庫文書と JIS 文書に対応しています。その他のテキストでは読みを()付きで入力します。

英数字の入力

WZ ime は英字を半角文字で入力します。ローマ字表記の英字はをひらがなに交換します。[Shift]キーを押しながら英字キーを押すと、半角の英大文字を入力します。ひらがなへは変換しません。
数字は半角文字で入力されます。[Space]キーを押すと全角へ変換できます。変換の第一候補が表示されます。再度[Space]キーを押すと全候補を一覧表示します。
・「1234」の変換候補は、半角「1234」全角「1 2 3 4」「一二三四」「千二百三十四」となります。

語句の入力

WZ ime はテキストの全角カタカナの語句を自動的に認識して変換に反映します。カタカナの語句は辞書登録が不要です。
・テキストに「ダブルゼットソフトウェア」の語句があり、「だぶるぜっとそふとうゑあは」と入力して[Space]キーを押すと、「ダブルゼットソフトウェア」に変換します。
テキスト内のルビが振られた語句も自動認識します。人物名は辞書登録が不要です。
・テキストに「人物名(じんぶつめい)」のルビがあり、「じんぶつめいは」と入力して[Space]キーを押すと、「人物名は」に変換します。

括弧の入力

WZ ime はキーの押し下げによる各種の括弧記号の入力に対応します。
[「『【[[および半角の「[{の入力
] 開き括弧に対応する、閉じ括弧の入力
{ {『『[[および半角の「[{の入力
} 開き括弧に対応する、閉じ括弧の入力
[< <<≤および半角の<の入力

[> 山型の開き括弧に対応する、閉じ括弧の入力
(全角[(、半角[(
) 全角)]、半角)]
']'と'}'と[>]キーの入力で、入力位置の開き括弧に対応する閉じ括弧を入力します。

テキスト 【括弧記号■
キー入力]
テキスト 【括弧記号】■

引用符の入力

WZ ime はキーの押し下げによる引用符の入力に対応します。
["] 二重引用符[“ ”]、半角二重引用符["]
['] 引用符[‘ ’]、半角引用符[']、半角アクサングラフ
['] [']
全角の二重引用符[“ ”]と引用符[‘ ’]は、入力位置に応じた開始記号[“][‘]と終了記号[”][’]を入力します。

(例 1)
テキスト “ 二重引用符■
キー入力 ["] 下記の終了記号が入力されます。
テキスト “ 二重引用符 ” ■

(例 2)
テキスト “ 二重引用符 ” の連続■
キー入力 ["] 下記の開始記号が入力されます。
テキスト “ 二重引用符 ” の連続 “ ■

記号の入力

WZ ime はキーの押し下げによる各種の記号入力に対応します。
[,] 読点[,]、コンマ[,], 半角読点[,], 半角コンマ[,]
[.] テキストの読点の使用頻度を認識して、読点[,] または コンマ[,]を優先表示します。
['] 句点[。], ビリオド[.], 半角句点[。], 半角ビリオド[.]
['] テキストの句点の使用頻度を認識して、句点[。] または ビリオド[.]を優先表示します。
[/] 中黒[・], 斜線[/], 半角中黒[・], 半角スラッシュ[/]
[-] 長音[ー], 音引[ゝ], マイナス[－], ハイフン[-], 半角マイナス[-]
[#] ナンバー[#], 音楽記号のシャープ[#], 半角ナンバー[#]
!\$%&=~^¥|_?+* 全角の記号を入力します。[Space]で全角と半角の記号を選択入力します。
[Space] 全角スペース
[Shift+Space] 半角スペース

再変換

再変換するには、WZ ime を ON、語句へカーソルを移動、[変換]キーを押しま

す。

- ・ WZ ime によりカーソル位置の日本語語句を判定して、再変換を実行します。
- ・ 文章を選択してから[変換]キーを押すと、選択した部分の再変換を実行します。
- ・ 文章をひらがなで速記しておき、後で漢字に変換できます。
- ・ 誤って入力した同音異義語を、再変換の操作で修正できます。

再変換は、日本語文章を解析して実行します。単語の区切りの判定や読み仮名の不一致により、意図した再変換が実行されない場合があります。

他の IME で再変換するには、IME を ON にして[変換]キーを押します。IME によって再変換のキーが異なる場合があります。

見本テキスト

WZ ime は文書スタイル単位で見本テキストを 2 つまで登録できます。

見本テキストを指定すると、編集テキストと見本テキストで使用されている日本語語句とカタカナ語句を認識して変換に反映します。見本テキストには通常の文書ファイルを指定します。自動で単語を解析して辞書として使用します。

見本テキストに、使用頻度の高い日本語語句、ひらがなの語句、カタカナの語句、送りかなの振り、慣用句、括弧記号、読点と句点を指定しておくと、見本テキストに沿った新規文書の作成が可能です。

見本テキストを指定するには、下記の操作をおこないます。

- ・ [表示]メニューの[設定]を実行
- ・ 目次から「挿入一文書／補完候補の取得」を選択
- ・ 「見本テキスト 1,2」にファイルを指定して OK

フォルダテキスト

「フォルダテキスト」は、編集テキストと同じフォルダに自動作成されるテキストファイル「wz~text.txt」です。

- ・ フォルダテキストは、「見本テキスト」として WZ ime の変換の対象となります。
- ・ 見本テキストの登録指定は不要です。文書のフォルダで自動的に切替わります。
- ・ フォルダテキストは、リサーチ入力の補完の対象となります。
- ・ フォルダテキストに参考文献を追加しておくと、漢字変換と補完候補の学習がおこなえます。
- ・ フォルダテキストには、メモや下書きを保存できます。

フォルダテキストに文章を追加するには、下記の操作をおこないます。

- ・ 追加する文章を選択。文書の全体を追加するには、選択を解除します。
- ・ [編集]メニューの[コピー／貼り付け]-[フォルダテキストへ追加]を実行

フォルダテキストを開くには、[ファイル]メニューの[開く]-[フォルダテキストを開く]を実行します。

ユーザ辞書

WZ ime は「ユーザ辞書」の単語登録に対応しています。

単語を登録するには、下記の操作をおこないます。

- ・ 登録する単語へカーソルを移動、または語句を選択

- ・ [編集]メニューの[WZ ime へ単語登録]を実行
- ・ 「よみ」「品詞」「オプション」を指定して OK

直ちに登録が実行されて次回の変換から登録した語句が有効となります。動詞を登録するには、語句を終止形で入力、活用行も指定します。

ユーザ辞書をメンテナンスするには、下記の操作をおこないます。

- ・ [ファイル]メニューの[開く]-[WZ ime のユーザ辞書を開く]を実行してユーザ辞書を開く
- ・ [Alt+B]キーを押して、辞書メンテナンスのメニューから操作を実行
- ・ [ファイル]メニューの[上書き保存]を実行して閉じる

WZ ime の辞書は人名や地名の登録がないので、必要に応じて単語を登録します。

日本語辞書の追加

WZ ime では文書設定で、ユーザ指定の日本語辞書を 2 つまで登録できます。論文や学術文の執筆に必要な専門の単語辞書を追加してテキストの入力ができます。

日本語辞書を作成するには、下記の操作をおこないます。

- ・ [ファイル]メニューの[新規作成ダイアログ]を実行。
 - ・ 「日本語辞書」を選択して OK。拡張子".ime"の新規文書が作成されます。
- 作成した日本語辞書の使用を指定するには、下記の操作をおこないます。
- ・ [表示]メニューの[設定]を実行。
 - ・ 目次から「挿入一文書／WZ ime の辞書」を選択。
 - ・ 「国語辞書 1,2」にファイルを指定して OK。

変換を高速化するため、辞書のキャッシュファイルが作成されます。キャッシュファイルは、「辞書のファイル名.idx」のファイルに作成されます。

日本語辞書のメンテナンス

日本語辞書を WZ8 で開いて[ツール]メニューの[専用メニュー]または[Alt+B]キーを押すと、下記の辞書メンテナンスのメニューを表示します。

登録語の検索	「読み」を入力して辞書から語句を検索します。
単語登録	「読み」「漢字表記」「品詞」「オプション」を入力して、辞書に語句を追加します。
プロパティ	カーソル行の語句の品詞とオプションの編集ダイアログを表示します。

ソート 「読み」の順序でソートします。
単語を登録するには、「単語登録」コマンドを実行します。

- ・ 「読み」と「漢字表記」を入力します。
- ・ 「品詞」に「名詞」「形容詞」「形容動詞」「動詞」「上一段活用」「下一段活用」を指定します。
- ・ 「活用行」に「動詞」「上一段活用」「下一段活用」の活用を指定します。
- ・ 「接続」と「活用」オプションは、通常はデフォルトのままとします。

複数の名詞を単語登録するには、下記の操作で直接入力できます。

- ・ 「読み」[Tab]「漢字表記」[Enter]を入力。
- ・ 「読み」は半角カタカナで入力します。
- ・ 上記の操作を繰り返し、複数の語句を登録。
- ・ ソートコマンドを実行。

辞書は「読み」の順序でソートしておく必要があります。
メンテナンスが終了したら、[ファイル]メニューの[上書き保存]を実行します。
数秒後に新しい辞書が有効となります。

環境設定

WZ ime のカスタマイズは、[ツール]メニューの[環境設定]の「挿入－WZ ime」からおこないます。

キー	ON/OFF のキー割り当て、[変換]キー、ユーザーキー定義
ローマ字入力	[x][i]の入力、ユーザー定義、かな入力
表示	変換候補一覧表示の高さ、余白、フォント
オプション	テキストの語句の取得

タグの挿入

青空文庫テキストと JIS テキストでは、[挿入]メニューの[タグ]を実行すると文字装飾や段落体裁を指定できます。この章ではタグの概要について説明します。実際のルビや装飾や体裁の指定は、「文字装飾」の章をご覧ください。

青空文庫形式では、ルビや文字装飾は専用の記号をテキスト本文の中に埋め込んで指定します。この記号を青空文庫では「注記」、WZ8 では「タグ」と呼びます。青空文庫では下記のタグを使用します。

ルビの指定	《 》
文字装飾・段落体裁	[# 各種文字列] 各種文字列には全角文字で装飾や体裁を指定します。

JIS 形式では、ルビや文字装飾は専用の記号をテキスト本文の中に埋め込んで指定します。この記号を WZ8 では「タグ」と呼びます。

本文としてのタグ記号

タグとして認識される記号を、本文で使用するにはタグの前に \ を挿入します。 \ に続くタグの記号は、装飾や体裁の指定が取り消されます。タグの表示を OFF にすると、挿入した \ は消去されてタグの記号が表示されます。 \ 自身は \ \ で表します。

参考：\ は JIS 文書で規定されています。
青空文庫には \ の規定はありませんので、WZ8 の拡張機能となります。

青空文庫のタグ一覧

WZ8 では、青空文庫規定の下記の文字装飾と段落体裁の表示に対応しています。	
漢字 《読み》	漢字に読みのルビ付きで表示します。
漢字 漢字 《読み》	漢字に読みのルビ付きで表示します。 記号はルビを付ける位置を指定します。

[# 傍点] ～ [# 傍点終わり]	タグで括られた文字列を傍点付きで表示します。 白ゴマ、丸、白丸、黒三角、白三角、二重丸、蛇の目傍点にも対応します。
[# 傍線] ～ [# 傍線終わり]	

文字列を傍線付きで表示します。
二重傍線、鎖線、破線、波線にも対応します。
波線は二重破線の代替表示となります。

[# 太字] ～ [# 太字終わり]	文字列をゴシック太字で表示します。
[# 斜体] ～ [# 斜体終わり]	文字列を斜体で表示します。
[# 上付き小文字] ～ [# 上付き小文字終わり]	文字列を上付きの小さい文字で表示します。
[# 下付き小文字] ～ [# 下付き小文字終わり]	文字列を下付きの小さい文字で表示します。
[# 改ページ]	以降の段落から改ページします。
[# 改段]	以降の段落から改段します。
[# ここから太字] ～ [# ここで太字終わり]	タグに挟まれた段落ブロックをゴシック太字表示します。
[# ここから斜体] ～ [# ここで斜体終わり]	段落ブロックを斜体表示します。
[# ここから○字下げ] ～ [# ここで字下げ終わり]	段落ブロックを字下げ表示します。 字下げ数は全角の数字で指定します。
[# ここから○字下げ、折り返して●字下げ] ～ [# ここで字下げ終わり]	段落ブロックを凹凸の字下げ表示します。 字下げ数は全角の数字で指定します。
[# ここから地付き] ～ [# ここで地付き終わり]	段落ブロックを地付き（行末揃え）表示します。
[# ここから地から○字上げ] ～ [# ここで字上げ終わり]	段落ブロックを地付きの字上げ表示します。 字上げ数は全角の数字で指定します。
[# ここから○字詰め] ～ [# ここで字詰め終わり]	段落ブロックを指定の字詰めで表示します。 字詰め数は全角の数字で指定します。

[# 「文字列」に傍点]	文字列を傍点付きで表示します。 丸、白丸、黒三角、白三角、二重丸、蛇の目傍点にも対応します。
----------------	---

[# 「文字列」に傍線]	文字列を傍線付きで表示します。二重傍線にも対応します。
----------------	-----------------------------

JIS のタグ一覧

— ^ 親文字（ルビ） ^ —	ルビを指定します。
-----------------	-----------

— ^ 親文字【ルビ】 ^ —	JIS で許容されたルビの指定です。
— ^ 親文字／ルビ ^ —	JIS で許容されたルビの指定です。
— ^ 親文字 {ルビ} ^ —	JIS で許容されたルビの指定です。
— “ 傍点をふる文字列 ” —	傍点を指定します。
— “ <<◎>> 傍点をふる文字列 ” —	傍点の記号○●▲△◎を指定します。
— アンダーライン／傍線 —	横書きはアンダーライン、縦書きは傍線となります。
— 割注 —	文章に注を埋め込みます。
¶ 《改頁》	ここから改ページします。
¶ 《改段》	ここから改段します。
— ↑ 上付き ↑ —	フォントサイズ 1/2 で上半分に表示します。
— ↓ 下付き ↓ —	フォントサイズ 1/2 で下半分に表示します。
— / 縦中横 / —	タグの認識と色分けを表示します。
— ⊥ 和字扱い ⊥ —	タグの認識と色分けを表示します。
— ※ 太字 ※ —	太字を指定します。＊
— ※ 《1》 装飾 1 ※ —	文字装飾 1 でフォント・太字・下線を一括指定します。 ＊
— ※ 《2》 装飾 2 ※ —	文字装飾 2 でフォント・太字・下線を一括指定します。 ＊
— ※ 《3》 装飾 3 ※ —	文字装飾 3 でフォント・太字・下線を一括指定します。 ＊
— ※ 《4》 装飾 4 ※ —	文字装飾 4 でフォント・太字・下線を一括指定します。 ＊
— ※ 《5》 装飾 5 ※ —	文字装飾 5 でフォント・太字・下線を一括指定します。 ＊
— ※ 《6》 装飾 6 ※ —	文字装飾 6 でフォント・太字・下線を一括指定します。 ＊
¶ 《8／5 改行》	行高を 90% とします。段落先頭に指定します。＊
¶ 《4／5 改行》	行高を 80% とします。段落先頭に指定します。＊
¶ 《3／4 改行》	行高を 75% とします。段落先頭に指定します。＊
¶ 《2／3 改行》	行高を 66% とします。段落先頭に指定します。＊
¶ 《1／2 改行》	行高を 50% とします。段落先頭に指定します。＊
¶ 《1／3 改行》	行高を 33% とします。段落先頭に指定します。＊
¶ 《1／4 改行》	行高を 25% とします。段落先頭に指定します。＊

TML 文書のタグの挿入

WZ5/WZ4 の TML 文書では、[挿入]メニューの[タグ]から、ルビ・太字・下線・斜体・上付き・下付きの文字装飾がおこなえます。

ルビの挿入

青空文庫

青空文庫形式によるルビは、文中でルビを《》で括って表現します。

(例) 漢字《かんじ》

ルビの付く文字列の始まりを特定する記号 | が付くことがあります。

(例) 漢 | 字《じ》

青空文庫形式による注釈は、「JIS 第 3 水準の漢字」と「傍点の位置指定」に対応しています。

青空文庫形式の文書を作成するには、下記の操作をおこないます。

- ・[ファイル]メニューの[新規作成ダイアログ]を実行
- ・「青空文庫テキスト」を選択して OK

ルビを付けるには、漢字を選択して、[挿入]メニューの[ルビ]から「ルビ」を入力して OK します。

JIS テキスト

JIS テキストでルビを入力するには、

- ・[挿入]メニューの[ルビ]を実行
- ・「読み」と「漢字」を入力して OK

記号と文字が挿入され、ルビが表示されます。

— ^ 漢字 (よみ) ^ —

ルビを編集するには、

- ・ルビにカーソルを移動
- ・[Alt+Enter]キーを押す
- ・「読み」と「漢字」を編集して OK

テキストタグ、漢字、ルビの文字入力や、[Del]キーの操作でルビの編集が可能です。

TML 文書

WZ5/WZ4 の TML 文書のルビの挿入と編集に対応しています。

- ・ルビにカーソルを移動して[編集]メニューの[プロパティ]を実行すると、ルビを編集できます。

青空文庫の文字装飾

青空文庫テキストの文字装飾は、傍点、傍線、ゴシック太字、斜体、文字サイズ、上付き、下付きに対応しています。文字装飾を指定すると、青空文庫規定の [#傍点] ～ [#傍点終わり] などのタグを挿入します。

傍点

傍点を指定するには、下記の操作をおこないます。

- ・傍点を付ける文字列を選択
- ・[挿入]メニューの[タグ]を実行

- ・「傍点」を選択
- ・「傍点」「白ゴマ傍点」「白丸傍点」「丸傍点」「黒三角傍点」「白三角傍点」「二重丸傍点」「蛇の目傍点」から選択して OK

蛇の目傍点は、○と小さい●を重ね合わせて表示するため、表示がずれる場合があります。

傍線

傍線を指定するには、下記の操作をおこないます。

- ・傍線を付ける文字列を選択
- ・[挿入]メニューの[タグ]を実行
- ・「傍線」を選択
- ・「傍線」「二重傍線」「破線」「鎖線」「波線」から選択して OK

縦書きでは文字の右側、横書きでは下側に線を表示します。

波線は二重破線で代替表示します。

太字、斜体、上付き、下付き

「ゴシック太字」「斜体」「上付き」「下付き」の文字装飾は、下記の操作をおこないます。

- ・装飾する文字列を選択
- ・[挿入]メニューの[タグ]を実行
- ・「ゴシック太字」「斜体」「上付き」「下付き」を選択して OK
- 「ゴシック太字」は「MS ゴシック」フォントの表示となります。

文字サイズ

文字サイズを指定するには、下記の操作をおこないます。

- ・文字サイズを変更する文字列を選択
- ・[挿入]メニューの[タグ]を実行
- ・「大きく」または「小さく」を選択
- ・サイズ変更の段階を 1～15 から選択して OK

ブロックの装飾

ブロックの装飾は、複数の段落のゴシック太字・斜体・文字サイズの装飾を一括して指定する機能です。装飾を指定すると、青空文庫規定の [#ここから太字] ～ [#ここで太字終わり] などのタグを挿入します。ゴシック太字は、「MS ゴシック」フォントの表示となります。

ブロックの装飾を指定するには、

- ・装飾する段落を選択
- ・[挿入]メニューの[タグ]を実行
- ・「ブロック体裁」を選択
- ・「ゴシック太字」「斜体」「大きく」「小さく」を選択して OK
- ・文字サイズの指定は、サイズ変更の段階を 1～15 から選択して OK

ブロックの装飾を指定してから段落のテキストを入力するには、

- ・選択を解除
- ・[挿入]メニューの[タグ]を実行
- ・「ブロック体裁」を選択
- ・「ゴシック太字」「斜体」「大きく」「小さく」を選択して OK

- ・文字サイズの指定は、サイズ変更の段階を 1～15 から選択して OK
- 続けて段落を入力すると、装飾表示がおこなわれます。

JIS テキストの文字装飾

JIS テキストの文字装飾は、傍点、傍線、上付き、下付きに対応しています。WZ8 の拡張タグによる太字、文字スタイル（文字サイズ）にも対応しています。文書にコメントを埋め込む割注タグの使用も可能です。

傍点

傍点を指定するには、下記の操作をおこないます。

- ・傍点を付ける文字列を選択
- ・[挿入]メニューの[タグ]を実行
- ・「傍点」を選択して OK

傍線

傍線を指定するには、下記の操作をおこないます。

- ・傍線を付ける文字列を選択
- ・[挿入]メニューの[タグ]を実行
- ・「下線」を選択して OK

縦書きでは文字の右側、横書きでは下側に線を表示します。

上付き、下付き

上付き、下付きを指定するには、下記の操作をおこないます。

- ・装飾する文字列を選択
- ・[挿入]メニューの[タグ]を実行
- ・「上付き」「下付き」を選択して OK

太字

太字を指定するには、下記の操作をおこないます。

- ・装飾する文字列を選択
- ・[挿入]メニューの[タグ]を実行
- ・「太字」を選択して OK

参考：太字装飾は JIS の規定がないので、WZ8 の独自のタグ __※太字※__ を挿入します。

文字スタイル

文字スタイルは、フォント、フォントサイズ、下線などの文字装飾のスタイルを 6 種類登録して、スタイル別に表示を揃える機能です。

文字スタイルを指定するには、

- ・装飾する文字列を選択
- ・[挿入]メニューの[タグ]を実行
- ・「文字スタイル 1～6」を選択して OK

文字スタイルの装飾表示を指定するには、

- ・文字スタイル装飾の文章にカーソルを移動、[Alt+Enter]を押す
- ・フォント、フォントサイズ、下線、太字を指定、表示を確認、OK

参考：文字スタイルは JIS の規定がないので、WZ8 の独自のタグ__※《《1》》
装飾※__～__※《《6》》装飾※__を挿入します。

割注

割注は、文章の中にコメントを埋め込む機能です。

割注を入力するには、下記の操作をおこないます。

- ・[表示]メニューの[タグの表示]を ON
- ・[挿入]メニューの[タグ]を実行
- ・割注を選択して OK
カーソル位置に、__ || __が挿入されます。
- ・続けて割注を入力
割注は「改行」「段落内改行」には対応していません。

割注を削除するには、下記の操作をおこないます。一箇所ずつ確認しながら削除できます。

- ・[検索]メニューの[置換]を実行
- ・「正規」を選択
- ・「検索」に下記を指定
__ || . * __
- ・「置換」を空に設定
- ・「置換の確認」を ON にして、OK

段落体裁

WZ8 では簡条書き、字下げ、小見出、桁揃え、会話文、段落スタイルの認識による段落体裁を整えた文書が作成できます。これらの段落体裁は、段落先頭の「・」やタブを認識して整えますのでプレーンテキストファイルでも使用できます。

それぞれの段落体裁の使用は、予め[表示]メニューの[設定]の「ファイルー文書／段落認識」での設定か、[ファイル]メニューの[専用設定]コマンドの実行が必要です。

簡条書き

簡条書きをするには、段落を「・」で始めます。

- ・簡条書き

番号付きの簡条書きをするには、段落を「数字」と「」ピリオドで始めます。

1.簡条書き

1. 簡条書き

簡条書き段落の折り返しの 2 行目以降は字下げ表示されます。

簡条書きの段落から[Enter]キーを押すと、新しい段落が簡条書きとなります。

[Shift+Enter]キーを押すと、段落内改行コード CR が挿入されて段落内で改行します。

字下げ

段落の字下げをするには、段落の先頭に[Tab]キーを押してタブを入力します。複数のタブを入力すると、字下げを深くします。字下げを解除するには、タブを削除します。

字下げ段落の折り返しの 2 行目以降は字下げ表示されます。

字下げスタイル

字下げスタイルは段落先頭のタブの個数によって、段落の体裁を揃える機能です。タブの個数 1～6 がそれぞれ字下げスタイル 1～6 に対応します。字下げスタイルが設定されていない場合は、通常の子下げ表示をします。

字下げスタイルを設定するには、

- ・字下げタブの段落にカーソルを移動、[Alt+Enter]キーを押す
- ・字下げ、字上げ、左／中央／右揃え、フォントを指定、表示を確認、OK

小見出

小見出を入力するには、段落先頭へ移動、項目名を入力、[Tab]キーを押してタブを入力、項目の内容を入力、改行を実行します。

項目内容の途中で改行するには、[Shift+Enter]キーを押します。段落内改行コード CR が挿入されます。

小見出の段落の折り返しの 2 行目以降は字下げ表示されます。

連続する小見出の段落は、桁を揃えて表示されます。

小見出の幅や字下げを設定するには、下記の操作をおこないます。

- ・小見出段落へカーソルを移動、[Alt+Enter]キーを押す
- ・字下げ、字上げ、小見出の幅、フォントなどを指定、表示を確認、OK

桁揃え

タブの位置で前後の段落の桁を揃えて、罫線のない表形式で表示します。タブが 1 つだけの段落は、小見出の表示が適用されます。

桁揃えの段落が折り返し表示となる場合は、最後の桁で折り返し表示されます。

[Shift+Enter]キーの入力による強制折り返しにも対応しています。段落内改行コード CR が挿入されます。

会話文

会話文を入力するには、段落を下記の形式で作成します。

人物名「会話文」

人物名□会話文（□は全角空白）

人物名はゴシック、会話文の折り返しの 2 行目以降は字下げ表示されます。

人物名のフォントや字下げを設定するには、下記の操作をおこないます。

- ・会話文の段落へカーソルを移動、[Alt+Enter]キーを押す
- ・フォント、人物の桁数、字下げなどを指定、表示を確認、OK

段落スタイルの認識

「参考：」などの特定の文字で始まる段落を認識して、字下げやフォントの体裁を文書内で統一して揃えることができます。6 パターンの認識と体裁表示が指定できます。

段落認識を指定するには、

- ・[表示]メニューの[設定]を実行、「目次」で「文書スタイルー段落体裁ー段落スタイルの認識」を選択
- ・「段落スタイル 1～6」のいずれかに段落先頭の文字列を入力して OK

体裁表示を指定するには、

- ・段落スタイルの段落へカーソルを移動、[Alt+Enter]キーを押す

- ・字下げ、字上げ、中央揃え、右揃え、フォント、見出しフォントなどを指定、表示を確認、OK

段落認識には下記のように正規表現を指定できます。正規表現を指定すると複雑な認識と、() によるタグ記憶の見出しフォント指定が有効となります。下記の場合は、「参考」が見出しフォントで表示されます。

^(参考):

本文段落

箇条書きなどの段落スタイルが適用されない本文の段落は、先頭行の字下げや折り返しの2行目以降の字下げを設定できます。

- ・本文段落へカーソルを移動、[Alt+Enter]キーを押す
- ・字下げ、字上げ、中央揃え、右揃えを指定、表示を確認、OK

段落内改行

段落内改行は、箇条書き、小見出、脚注の段落内で先頭に折り返す場合に挿入します。[Shift+Enter]キーで、段落内改行コードの LF (文字コード 0x0A) を挿入します。

段落内改行を記号で表示するには、下記の操作をおこないます。

- ・[表示]メニューの[設定]を実行
- ・目次から「表示—表示／色分け」を選択
- ・「改行文字を表示」を ON にして OK

段落内改行は「←」、改行は「↓」の記号で表示されます。

参考：段落内改行は青空文庫や JIS テキストに規定のない、WZ8 の拡張機能です。

青空文庫の段落体裁

WZ8 では青空文庫の規定の「注記」による字下げ、地寄せ、地付き、字詰め、箇条書き、改ページ、改段の指定に対応しています。WZ8 の拡張機能として、n/m 改行と行間の指定にも対応します。

字下げ

字下げを指定するには、下記の操作をおこないます。

- ・字下げする段落を選択
- ・[挿入]メニューの[タグ]を実行
- ・「字下げ」を選択
- ・字下げ文字数を 1~15 から選択
- ・「折り返しの字下げ」に「指定なし」を選択して OK

段落の前後に「[#ここから○字下げ]」と「[#ここで字下げ終わり]」タグの行が挿入されて、段落が字下げ表示されます。タグの表示を OFF にすると、タグ行の表示は消えて本文だけの表示となります。

タグを削除すると、字下げは解除されます。

「折り返しの字下げ」に 0~14 を選択すると、段落の折り返し行の字下げを指定できます。

地寄せ・地付き

地寄せ・地付きを指定するには、下記の操作をおこないます。

- ・地寄せする段落を選択
- ・[挿入]メニューの[タグ]を実行
- ・「地寄せ」を選択
- ・「地付き」か地寄せ文字数を 1~14 から選択して OK

段落の前後に「[#ここから地から○字上げ]」と「[#ここで字上げ終わり]」タグが挿入され、段落が行末寄せで指定した文字数の字上げで表示されます。

字詰め

字詰目を指定するには、下記の操作をおこないます。

- ・字詰めする段落を選択
- ・[挿入]メニューの[タグ]を実行
- ・「字詰め」を選択
- ・字詰め文字数を 1~60 から選択して OK

段落の前後に「[#ここから○字詰め]」と「[#ここで字詰め終わり]」のタグが挿入されて、指定した文字数で段落を折り返して表示します。

字詰めの指定は、字下げの指定と併用できます。4 字下げて、30 字詰めなどの指定がおこなえます。

字詰めと字下げを指定するには、下記の操作をおこないます。

- ・対象とする段落を選択
- ・[挿入]メニューの[タグ]を実行
- ・「字下げ」を選択
- ・字下げ文字数を 1~15 から選択し、「折り返しの字下げ」に「指定なし」を選択して OK
- ・[挿入]メニューの[タグ]を実行
- ・「字詰め」を選択
- ・字詰め文字数を 1~60 から選択して OK

このほか、ゴシック太字、斜体、文字サイズの併用指定に対応しています。

箇条書き

折り返しの字下げと記号を組み合わせた箇条書きの指定に対応しています。

- ・箇条書き指定をする段落を選択
- ・[挿入]メニューの[タグ]を実行
- ・「箇条書き」を選択
- ・箇条書きの記号を「・」「1.」「一.」から選択して OK

段落の先頭に指定した箇条書き記号が挿入され、段落の前後に「[#ここから 0 字下げ、折り返して○字下げ]」と「[#ここで字下げ終わり]」タグの行が挿入されて、段落が箇条書きの字下げで表示されます。

n/m 改行と行間

n/m 改行と行間は、段落単位の改行の高さや行間を指定する機能です。

空行の空きを詰めたり、行間を 1/2 や 0 に詰めて表示します。

下記の操作で n/m 改行を指定すると、段落先頭にタグが挿入されて、行高を 1/3, 1/2, 2/3 行で表示します。

- ・[挿入]メニューの[タグ]を実行
- ・一覧から「改行高さ」を選択
- ・「1/3」「1/2」「2/3」から選択して OK

段落を通常の行高に戻すには、タグを削除します。

下記の操作で n/m 行間を指定すると、段落先頭にタグが挿入されて、行間を 1/2 や 0 で表示します。

- ・[挿入]メニューの[タグ]を実行
- ・一覧から「行間」を選択
- ・「0」「1/2」から選択して OK

段落を通常の行高に戻すには、タグを削除します。

参考：n/m 改行と行間は青空文庫に規定のない、WZ8 の拡張タグです。

改ページ

改ページは指定箇所までページを改めて、続きを次のページから印刷する機能です。

改ページを挿入するには、下記の操作をおこないます。

- ・[挿入]メニューの[改ページ／改段文字]を実行
- ・一覧から「改ページ」を選択して OK

改段

改段は指定箇所まで段組を改めて、続きを次の段から印刷する機能です。

改段を挿入するには、下記の操作をおこないます。

- ・[挿入]メニューの[改ページ／改段文字]を実行
- ・一覧から「改段」を選択して OK

図の挿入

WZ8 ではイメージファイルのファイル名をテキストに埋め込むことによる図版の表示と印刷に対応しています。PDF Book では、クリップボードからの図の貼り付けにも対応します。

予め[表示]メニューの[設定]の「文書／段落認識」で「図の認識」の指定が必要です。

図を挿入するには、図を PNG・JPEG・BMP ファイルで文書と同じフォルダに作成してから、[挿入]メニューの[図]コマンドを実行、イメージファイルを指定、OK します。

下記のように図のファイル名が半角の引用符""で括って挿入されます。

"図のファイル名.png"

挿入した図は大きな 1 つの文字として、文章に挿入表示されます。

PDF Book の図の挿入

図をテキストに埋め込むには、「図のファイル名の入力」「クリップボードから貼り付け」の 2 通りあります。

図のファイル名の入力は、[挿入]メニューの[図]を実行、イメージファイルを指定、OK します。WZ8 から PDF 出力を実行すると、図は PDF ファイルに埋め込み（添付）されます。

クリップボードから貼り付けるには、「ペイント」などのアプリケーションで図をクリップボードにコピーしてから WZ8 で[編集]メニューの[貼り付け]を実行します。図は WZ8 で編集時の PDF ファイルに添付され、テキストには".0252613000.img"のような図の ID が埋め込まれます。図の ID をテキストの別の箇所に入力すると、同じ図をその箇所に表示します。

参考：図の ID は現在の日付と時刻から作成しますので、連続して多数の図を貼り付けると ID が不足して貼り付けに失敗する場合があります。最大 1000 枚／15 分（およそ 1 秒に 1 枚）までとなります。

図の"ファイル名"の表示は、[表示]メニューの[タグの表示]で ON/OFF できます。

PDF に挿入した図は、クリップボードにコピーして他のアプリケーションで表示することができます。図をコピーするには、図にカーソルを合わせて[編集]メニューの[コピー]を実行します。

PDF Book の図の一覧

PDF Book に埋め込まれている図の一覧を表示するには、[ツール]メニューの[専用メニュー]を実行、「図版の一覧」を選択します。「図版の一覧」ダイアログが開いて、図版の一覧とプレビューを表示します。ダイアログでは、下記の図版のメンテナンスがおこなえます。

削除

一覧で選択した図を削除します。

図版が文書で使用されている場合は、「削除しない」がデフォルトの問い合わせをします。

図版が文書で使用されていない場合は、「削除する」がデフォルトの問い合わせをします。

コピー

プロパティ

一覧で選択した図をクリップボードにコピーします。

一覧で選択した図のサイズ、グレイスケール／フルカラーを表示します。

脚注

WZ8 では「章末」「文書末」のテキスト形式の脚注に対応しています。

脚注の入力

- ・[挿入]メニューの[脚注]-[脚注の挿入]を実行
カーソル位置に「(注 1)」が挿入され、文末に「(注 1)」が自動入力されます。
- ・続けて、脚注を入力
脚注内で改行するには、[Shift+Enter]キーで段落内改行を挿入。

脚注から本文に戻る

- ・[挿入]メニューの[脚注]-[対応する注へジャンプ]を実行
続けて脚注を入力すると、番号は自動で連番となります。

脚注のその他の機能

「挿入」メニューの「脚注」から操作します。

対応する注へジャンプ 本文の脚注記号から対応する注へジャンプします。
または、注から本文の脚注記号へジャンプします。

番号を振り直す	脚注の番号をすべて振り直します。 カットアンドペーストなどの編集操作で、脚注の番号が揃わない場合に実行します。 「章末脚注」は現在の見出しの脚注番号を振り直します。
前の脚注/次の脚注	前後の脚注へジャンプします。

脚注のカスタマイズ

- ・[表示]メニューの[設定]を実行
- ・目次から「挿入—文書／脚注」を選択
- ・「脚注」を、「章末」「文書末」「見出し 1~6 末脚注」から選択
- ・「文中の記号」を入力または一覧から選択
- ・「注の見出し」を入力または一覧から選択

メニューコマンド

リサーチ入力

「リサーチ入力」は、1、2 文字の入力から長い英単語や日本語語句を一覧から選択して再入力する機能です。コマンドを実行すると、直前の入力文字列から補完候補一覧を表示します。

日本語語句・プログラムの変数名や関数名と構文・英単語・HTML タグ・TeX コマンドの 2 回目以降の入力が、一覧から選択するだけで正確に実行できます。

入力と IME

リサーチ入力モード リサーチ入力モードの ON/OFF を切り替えます。ON にすると文字入力の度に補完候補一覧を表示します。

WZ ime を ON WZ ime を ON にして、日本語を入力します。
IME を ON IME をひらがな入力に ON にして、日本語を入力します。WZ ime から入力するには、[挿入]メニューの[入力と IME]-[WZ ime を ON]を実行します。

IME を OFF WZ ime とその他の IME を OFF にします。
形容詞 WZ8 の日本語辞書の形容詞の一覧を表示／入力します。
動詞 WZ8 の日本語辞書の動詞の一覧を表示／入力します。
カタカナの語句 WZ8 日本語辞書のカタカナ語句の一覧を表示／入力します。

英単語 WZ8 スペルチェック辞書の英単語一覧を表示／入力します。

最近検索した文字列

WZ8 では、検索文字列とクリップボードにコピーした短い文章を、専用の履歴ファイルに保存しています。この履歴を一覧に表示します。選択、OK するとカーソル位置に文字列を挿入します。

最近コピーした文字列

最近コピーした文字列を一覧に表示します。選択して OK するとカーソル位置に貼り付けます。複数行や長い文字列、箱形選択、行選択にも対応しています。

慣用句

「慣用句の挿入」ダイアログを表示します。よく使用する文章や語句を登録して文書に挿入できます。「編集」をクリックすると、文章の登録や編集ができます。

ファイル

ファイル選択のダイアログを表示します。選択したファイルをカーソル位置へ挿入します。

ファイル名

「ファイル名の挿入」ダイアログを表示します。

下記の操作で、各種の形式のファイル名を入力できます。

- ・ファイル名を入力、または「参照」をクリックしてファイル名を選択。
 - ・ファイル名の形式を「モード一覧」から選択。
 - ・オプション「`''`で括る」「`¥`を`/`に変換」「小文字に変換」を指定して OK。
- 「モード一覧」ではファイル名の形式を指定します。

相対 文書ファイル名を基準とした相対ファイル名

ドライブ名なし ドライブ名と:を省いたファイル名

絶対 ドライブ名付きのファイル名

ベースフォルダ相対 ベースフォルダを基準とした相対ファイル名

脚注—脚注の挿入

文書のカーソル位置に脚注を挿入します。脚注記号は、通常のテキスト文字として挿入されますが、脚注の挿入の度に正しく番号が振り直されます。脚注は一段落で入力します。脚注内で行を区切るには、[Shift+Enter]キーで段落内改行します。

脚注—対応する注へジャンプ

本文の脚注にカーソルを置いて実行すると、章/文書末尾の対応する注へジャンプします。章/文書末尾の注にカーソルを置いて実行すると、本文の脚注へジャンプします。

脚注—番号を振り直す

カットアンドペーストの編集操作による、脚注番号の欠番を整理して番号を振り直します。文書スタイルの「脚注」の設定が「章末脚注」の場合は、カーソルの見出し内の脚注番号を振り直します。

脚注—前の脚注

前の脚注(本文および脚注)へジャンプします。

脚注—次の脚注

次の脚注(本文および脚注)へジャンプします。

ルビ

ルビの挿入ダイアログを表示します。漢字とルビを入力して OK すると、ルビ付きの漢字を挿入します。ルビを振る漢字を選択してから実行すると、選択した文字にルビを振ります。「青空文庫テキスト」「JIS テキスト」専用のコマンドです。

表

テーブルの桁数と行数を指定すると、<table>タグと<td>タグを挿入します。

HTML テキスト専用のコマンドです。

タグ

「タグの挿入」ダイアログを表示します。

テキストタグや HTML タグの一覧を表示し、選択したタグを文書に挿入します。

- ・範囲選択して実行すると、選択範囲を開始タグと終了タグで囲みます。
- ・範囲選択なしで実行すると、開始タグと終了タグを挿入します。
- ・「青空文庫」「JIS」「HTML」テキスト専用のコマンドです。

図

イメージファイルの選択ダイアログを表示します。OK するとテキストにファイル名を挿入して画像を表示します。

行

カーソル行の前に空行を挿入します。

改ページ／改段文字

印刷用の改ページ記号を挿入します。印刷プレビューでは、改ページ記号を処理してページ表示を切り替えます。「青空文庫テキスト」「JIS テキスト」では改段記号の挿入にも対応しています。改段記号以降の文章を、次の段組へ送ります。

表示スタイルから下記の設定をおこなうと、改ページ記号を処理してページ表示を切り替えます。

- ・「ページめくり」を ON
- ・「縦段組」を 2 以上に設定
- ・「見開き表示」を ON

水平線

コマンドを実行すると、カーソル位置に - 記号の連続の区切り線を挿入します。カーソル位置に記号を入力してから実行すると、その記号を連続挿入して水平線を引きます。(例)「=」を入力しておく、= 記号で水平線を引きます。

HTML テキストでコマンドを実行すると、<hr>タグを入力します。水平線の桁数は、環境設定の「編集－整形」の「整形の折り返し」で設定した数となります。

欧文文字

アクセント付き文字の挿入ダイアログを表示します。

- ・A~Z のアクセント付き文字を、一覧から選択して文書に挿入できます。
- ・A~Z や a~z を入力してから実行すると、ダイアログを該当文字ヘジャンプして開きます。

「設定」をクリックすると、「欧文文字のカスタマイズ」が表示されます。文字の追加や表示順序の入れ替えができます。

「前文字削除」チェックボックスを ON にして OK すると、カーソル位置の前位置の文字を削除します。

「Windows 標準」キー定義では、日本語キーボードからのキー操作で欧文文字の入力ができます。

[Ctrl+Shift+] - 英字キー	グレイヴ・アクセント付き	à è ì ò ù À È Ì Ò Ù
[Ctrl+Shift+] - 英字キー	アキュート・アクセント付き	á é í ó ú Á É Í Ó Ú ð Ð
[Ctrl+^] - 英字キー	サーカムフレックス付き	â ê î ô û Â Ê Î Ô Û
[Ctrl+Shift+~] - 英字キー	ティルダ符号付き	ã ñ õ Ã Ñ Õ Ì ï Û ü Æ æ
[Ctrl+.] - 英字キー	トレマ符号付き	ä ë ï ö ü Ä Ë Ì Ö Ü

[Ctrl+@] - 英字キー	A+丸・c(U+00E7)・o+スラッシュ文字	å Å ç Ç ø Ø
[Ctrl+Shift+&] - 英字キー	A+E・o+E・エスツェット文字(s)	æ Æ œ Æ ß
[Ctrl+:] - [!]または[?]	逆!文字	¿ ;

制御文字

制御文字の挿入ダイアログを表示します。

制御文字コード「0x00-0x1F」の一覧から、選択して OK すると挿入します。

日付・時刻

今日の日付や現在時刻を挿入します。「前の日付」「次の日付」で昨日や明日の日付の挿入にも対応します。日付の書式は追加や変更のカスタマイズができます。

- ・「追加」をクリックすると、新しい書式を追加します。
- ・「書式の追加」ダイアログで任意の文字列と日付書式を指定します。
- ・「書式の挿入」のクリックで、各種日付の書式文字列を入力できます。
- ・「編集」のクリックで書式の編集、「削除」のクリックで削除を実行します。

日付の書式文字列は、半角の「%」に続けて英数字を指定します。「年」「月」「日」「曜日」を各種の形式で挿入します。

現在時刻が、2010 年 7 月 30 日 6 時 15 分 0 秒の表示例を示します。

%y	平成 22
%2y	10
%yy	10
%yyyy	2010
%m	7
%2m	7
%mm	07
%mmm	Jul
%mmm	July
%d	30
%2d	30
%dd	30
%w	金
%www	Fri
%www	Friday
%h	6
%2h	6
%hh	06
%t	15
%2t	15
%tt	15
%s	0
%2s	0
%ss	00
%%	%
%%yy	%yy

アウトライン

「アウトライン」は、本文と見出し一覧を同時に表示する機能です。アウトラインの見出し一覧を参照しながら、長文のテキストやプログラムを編集します。

アウトラインの表示

見出しの認識

WZ8 は標準では WZ アウトライン形式によって見出しを認識します。WZ アウトライン形式では、半角ピリオド '.' で始まる段落を見出しとして扱います。

'.' 1 個の段落	大見出し
'..' 2 個の段落	中見出し
'...' 3 個の段落	小見出し

最大 255 個までの見出しレベルを認識します。

C プログラムファイルでは、関数の定義行を見出しとして認識します。見出し段落の認識方法は、カスタマイズが可能です。

アウトラインの表示と編集

WZ8 では、文章の横に見出しの一覧を「アウトライン」として表示します。文書の目次を参照しながら、本文を編集できます。アウトラインを表示するには、[アウトライン]メニューの[アウトライン]を実行します。再度、[アウトライン]メニューの[アウトライン]を実行すると、アウトラインを閉じます。

アウトラインの基本操作

アウトラインでは、本文の編集位置に対応する見出しが選択して表示されます。アウトラインの見出しをクリックすると、対応する本文の位置へジャンプします。

アウトライン画面は、下記のキーとマウス操作に対応しています。

[Ctrl+Tab]キー	本文からアウトラインへフォーカスを移動
[Enter]キー	アウトラインから本文へフォーカスを移動
[←]、縦書き[↑]	開いた子見出しを閉じる、または開いた同レベルの見出しを閉じる、または親見出しへ移動
[→]、縦書き[↓]	閉じた子見出しを開く
ダブルクリック	子見出しの開閉を切り替え
クリック	[+]や[-]のクリックで、子見出しの開閉を切り替え
右クリック	アウトラインの操作メニューを表示
ドラッグアンドドロップ	見出しを他へドロップすると移動
[Ctrl+Up]キー	見出しを上へ移動 (縦書きは[Ctrl+Right]キー)
[Ctrl+Down]キー	見出しを下へ移動 (縦書きは[Ctrl+Left]キー)

アウトラインの各種機能

絞り込み

アウトラインで文字入力すると絞り込み表示します。目的の見出しを探しやすくなります。

改行アウトライン

アウトライン編集

見出しの入れ替え

絞込アウトライン

検索アウトライン

キー定義

- 下記の絞り込みの操作で、見出しや関数を検索できます。
- ・アウトラインで、見出し名の一部をキー入力
 - ・続けて文字入力をする、さらに絞り込み
 - ・[BS]キーで 1 文字解除、[Esc]キーで絞り込みを解除

アウトライン編集

アウトライン編集は、アウトラインウィンドウで見出し名の入力や編集をおこなう機能です。アウトライン編集を実行するには、[アウトライン]メニューの[アウトライン編集]を実行します。

アウトラインウィンドウでは、下記の編集操作が実行できます。

文字入力	見出し名を変更
[Enter]	新しい見出しを作成
[Shift+Enter]	本文へ移動
[Del]と[BS]	見出し名を削除
[Tab]と[Shift+Tab]	見出しレベルを変更
右クリック	アウトラインの操作メニューを表示

ブロック編集

ブロック編集は、アウトラインで選択した複数の見出しの一括編集や入れ替える機能です。

- ・キーで見出しを選択するには、アウトラインで[Shift+Up]または[Shift+Down]キーを押します。カーソル位置と前・後の見出しを選択します。
- ・マウスで見出しを選択するには、アウトラインの見出しを[Shift+クリック]します。カーソル位置からクリック位置までの見出しを選択します。

一括編集をするには、見出しを選択して[Ctrl+Up]キーやドラッグアンドドロップの操作を実行します。一括編集に対応するアウトラインコマンドは、切り取り、コピー、ごみ箱へ、移動、前回移動先へ移動、↑、↓、←、→、先頭へ↑、末尾へ↓、です。

絞込アウトライン

絞込アウトラインはキーワードを含む見出しを一覧表示する機能です。キーワードに関連のある記述をまとめて閲覧できます。プログラムファイルでは、キーワードの変数を使用した関数の一覧を表示できます。絞込アウトラインを表示す

るには、

- ・[検索]メニューの[各種検索]-[絞込アウトライン]を実行
- ・「絞込」テキストボックスにキーワードを入力して、[Enter]キーを押す

検索アウトライン

検索アウトラインではキーワードを含む段落の検索結果を一覧に表示します。検索アウトラインを表示するには、[検索]メニューの[各種検索]-[検索アウトライン]を実行、「検索」テキストボックスにキーワードを入力、[Enter]キーを押します。

ワイドアウトライン

ワイドアウトラインは、タブでオープンしている全てのファイルの見出しを一覧に表示します。複数ファイルに分割したプログラムの関数を、一覧に表示できます。

ワイドアウトラインを表示するには、[アウトライン]メニューの[ワイドアウトライン]を実行します。

アウトラインの装飾

見出しの体裁

見出しの体裁は、文字色、背景色、行取り、字下げ、配置（左、中央、右揃え）、フォント、サイズ、上／下／左／右の罫線表示の装飾を見出しレベル1～6単位に指定する機能です。

見出しの体裁を指定するには下記の操作または、見出し行へカーソルを移動、[Alt+Enter]キーを押して実行します。

- ・[表示]メニューの[設定]を実行、目次から「表示／段落―見出しの表示」を選択
- ・見出し1～6の各項目を設定、表示を確認、OK

アウトラインの色分け表示

アウトラインウィンドウの見出しレベルの色分けは、下記の操作で指定します。

- ・[表示]メニューの[設定]を実行
- ・目次から「アウトライン―段落／アウトラインの表示」を選択
- ・見出し1～6のアウトラインの色分けを「色分け」にし、文字色を指定してOK

目次の作成

目次の作成は、本文の見出しを抽出してクリップボードにコピーする機能です。目次を作成するには、[アウトライン]メニューの[章番号][目次を作成]を実行します。

PDF Book では、[ツール]メニューの[専用メニュー]から「目次の更新」を実行すると、見出しの一覧を文書の「目次」領域に出力します。

目次の作成オプション

見出の前後に余白や記号を追加して体裁を整えたりページ数の出力のオプション

を指定するには、文書設定でおこないます。

- ・[表示]メニューの[設定]を実行
- ・目次から「文書スタイル―アウトライン―目次」を選択
- ・見出し1～6の「前置文字列」「後置文字列」を指定
- ・「ページ数を出力」ONでページ番号を出力、番号の増減指定にも対応

メニューコマンド

アウトライン

アウトラインを表示します。アウトライン編集の機能をOFFにします。

アウトラインで文字入力すると絞り込みします。

すでにアウトラインを表示している場合は、アウトラインを閉じます。

アウトライン編集

アウトラインを表示します。アウトライン編集の機能をONにします。

すでにアウトラインを表示している場合は、アウトラインを閉じます。

アウトライン編集では、文字入力、[Enter]、[Del]、[BS]、[Tab]、[Shift+Tab]キーによる見出しの作成や変更の編集操作に対応しています。

目次を作成

アウトラインの見出しを作成してクリップボードにコピーします。

3ペインアウトライン

アウトライン／見出し／本文の3つを表示するモードに切り替えます。

改行アウトライン

改行アウトライン表示のON/OFFを切り替えます。改行アウトラインをONにすると、空行で区切られた段落をアウトラインに表示します。

章立てのない文書のアウトライン表示に対応します。

タグアウトライン

タグの入れ子関係を、アウトラインウィンドウへ視覚的に表示します。

タグの入れ子の深さは最大255です。HTMLテキスト専用のコマンドです。

ワイドアウトライン

ワイドアウトラインを表示します。

すでに表示されている場合は、ワイドアウトラインへカーソルを移動します。カーソルがワイドアウトラインにある場合は、ワイドアウトラインを閉じます。

- ・開いているファイルの一覧と、アウトラインを表示します。
- ・テキストの編集操作やファイルのオープン・クローズによって、アウトラインを自動更新します。
- ・ドラッグアンドドロップによる見出しの入れ替えには対応していません。

浮動アウトライン

アウトラインを別ウィンドウで表示します。

浮動アウトラインは、アウトライン編集、検索、索引には対応していません。

見出し

段落の見出しレベルを変更するダイアログを表示します。

見出し大

段落の見出しレベルを変更します。

- ・段落が見出しでない場合は、見出しに変更します。
見出しレベルは、段落の手前の見出しと同じレベルにします。
- ・段落が見出しの場合は、見出しレベルを一つ大きくします。

見出し小

段落の見出しレベルを変更します。

- ・段落が見出しでない場合は、見出しに変更します。
見出しレベルは、段落の手前の見出しと同じレベルにします。
- ・段落が見出しの場合は、見出しレベルを一つ小さくします。

章番号―見出し 1～6

段落を、章番号付きで見出し 1～6 に変更します。

章番号の形式は、段落の手前の同一レベルの見出しから取得します。

手前に見出しがない場合は、後方から取得します。

章番号を認識した番号の振り直しや、連番の見出しの新規作成に対応しています。

(例) 第 1 章 はじめに

章番号は、文字「零序第章節項幕場面巻その Q A Q A 関数」と、全角数字、半角数字、半角記号、全角記号、1－1 の連番に対応しています。

章番号と見出しの間は、半角空白か全角空白で区切ります。

章番号―本文

見出し段落の見出し文字列を削除して、本文に変更します。

章番号―章番号を振り直す

すべての見出しの章番号を振り直します。文章の先頭の見出し番号は振り直さないで、例えば「第 4 章」から始まる文書にも対応します。

章番号―章番号を揃える

カーソル行の見出しの書式に、文書の他の見出しの書式を揃えます。

カーソル行と同じレベルの見出しが対象となります。

章番号―目次を作成

アウトラインの見出しをクリップボードにコピーします。

見出しの追加

「見出しの追加挿入」ダイアログを表示します。

「見出名」「見出しレベル」を指定して、「挿入」「続けて追加挿入」オプションを選択して OK すると、見出し行を新規に作成します。

「挿入」を ON にすると、カーソル位置が属する見出しの手前に新規作成します。

「挿入」を OFF にすると、カーソル位置が属する見出しの最後に新規作成します。

「続けて追加挿入」を ON にすると、見出しを続けて新規作成できます。

未整理に追加

「未整理」見出しにジャンプして、新規見出しを追加します。

「未整理」見出しがなければ自動的に作成します。

専用設定

見出しを表示しない

本文の見出し段落の表示する／表示しないを切り替えます。

見出しページング

見出しのページングを切り替えます。ON にすると見出しを画面の先頭から表示します。

右クリックメニュー

アウトラインウィンドウの右クリックメニューに特有のコマンド一覧です。

折り畳み―すべて閉じる

アウトラインのツリーをすべて閉じます。

見出し 1～5 まで展開

アウトラインのツリーをすべて閉じてから、見出し 1～5 の表示に展開します。

すべて展開

アウトラインのツリーをすべて展開します。

見出し名のコピー

アウトラインで選択した見出し名を、クリップボードへコピーします。

編集―切り取り

見出しと本文をクリップボードに切り取ります。

編集―コピー

見出しと本文をクリップボードにコピーします。

編集―貼り付け

クリップボードから貼り付けます。

編集―ごみ箱へ

見出しと本文を「ごみ箱」の見出しへ移動します。

「ごみ箱」の見出しがなければ自動的に作成します。

「移動先の指定」ダイアログを表示します。移動先の見出しを選択して OK すると、移動先に見出しと本文を子見出しとして移動します。

編集―前回移動先に移動

見出しと本文を、前回移動先に子見出しとして移動します。

編集―↑

見出しを一つ上に移動します。

編集―↓

見出しを一つ下に移動します。

編集―←

見出しレベルを一つ上げます。子見出しのレベルも一つ上げます。

編集―→

見出しレベルを一つ下げます。子見出しのレベルも一つ下げます。

編集―先頭へ↑

見出しを同レベルの見出しの先頭に移動します。

編集―末尾へ↓

見出しを同レベルの見出しの末尾に移動します。

編集―カレント←

見出しレベルを一つ上げます。子見出しのレベルは変更しません。

編集―カレント→

見出しレベルを一つ下げます。子見出しのレベルは変更しません。

見出し名の絞り込み

検索文字列を指定すると、アウトラインの絞込みをおこないます。

絞り込みの解除

絞り込みを解除します。

ツール

文字数、枚数カウント

文字数、単語数、原稿用紙枚数を表示するには、[ツール]メニューの[文字数行数カウンタ]を実行して「カウンタ」ツールをツールビューに表示します。この他に「環境設定」の「ウィンドウメニュー」を設定することによってステータスバーに文字数や枚数を表示することも可能です。

文書の行数、バイト数、ページ数、文字数、文字数（空白なし）、漢字、ひらがな、カタカナ、英単語数、Unicode 特有文字数、40 文字行数（概算）、原稿用紙枚数（概算）をリアルタイムに表示します。文章の選択をすると範囲内の各種文字数も表示します。

「40 文字行数」と「原稿用紙枚数」は概算値となりますので、正確な行数と枚数を計算するには、「表示スタイル」を「原稿用紙」に切り替えて、実際のページ数や行数を表示します。

索引

索引は WZ8 が解析した文書の単語の一覧や、プログラムの変数や関数名を別ウィンドウで一覧表示する機能です。索引を表示するには、下記の操作をおこないます。

- ・[ツール]メニューの[索引]を実行

英語はアルファベット順で、日本語はシフト JIS の文字コード順で一覧表示します。類似語の表示や送りかなの不一致を検出できます。

索引ウィンドウで文字を入力すると、単語を絞り込み表示します。曖昧な語句やプログラムの変数名を簡単に調べることができます。

- ・索引で名前の一部をキー入力すると、絞り込みを開始
- ・続けて文字入力をする、さらに絞り込み
- ・[BS]キーで 1 文字解除、[Esc]キーで絞り込みを解除

索引の[+]をクリックすると、単語の使用箇所の一覧を表示します。単語をクリックすると、本文の該当位置へジャンプします。

索引では下記の操作による単語の一括置換が可能です。

- ・索引ウィンドウで単語を選択して、右クリック
- ・「置換」コマンドを選択、置換語句を指定して OK

ソート

データを段落単位でソートできます。

- ・ソートする段落を選択。全体をソートするには選択を解除
- ・[ツール]メニューの[ソート]を実行

- ・「項目」に「段落全体」を選択して OK

桁のソート

桁データでソートできます。

- ・ソートする段落を選択。全体をソートするには選択を解除
- ・[ツール]メニューの[ソート]を実行
- ・CSV ファイルは「カンマ区切り」を ON、TSV ファイルは OFF に設定
- ・「項目」に「先頭」や「2 番目」や「3 番目」を選択して OK

テキストの WEB-TO 変換

WZ8 では「WEB-TO」機能で、文書ファイルから WEB 公開用の複数の HTML ファイルに変換できます。HTML ファイルに変換するには、下記の操作をおこないます。

- ・[ファイル]メニューの[保存／終了]-[HTML の保存]を実行。変換が実行されます。
- ・「見出し 2」単位でテキストを分割して、複数の html ファイルを出力します。
- ・各ページの先頭部に、見出し 2 の「アウトライン」のメニューバーを表示します。メニューバーから各ページへの切り替え操作ができます。

先頭ページの html ファイル名は、ステータスウィンドウに出力されます。

ステータスウィンドウを表示するには、下記の操作をおこないます。

- ・[ウィンドウ]メニューの[ツールビューへ]を実行
- ・「ステータス」をクリック

テキストの HTML 形式の変換出力

- ・段落を
で区切る
- ・空行を<p>〜</p>で区切る
- ・「<> 空白 &」を「< > &」に置換
- ・見出し 3〜6 を<h3>〜<h6>に変換
- ・「・」の箇条書きをに変換
- ・¥ <HTML タグ>を<HTML タグ>に変換
- ・「html:」行から空行までを HTML 出力
- ・「code:」行から空行までをプログラムリスト形式で出力
- ・「title: タイトル」をページのタイトルに設定
- ・「file: ファイル名」を出力先の html ファイル名に設定

出力先

html ファイルは、wzcfg://webto フォルダに出力されます。

出力先を変更するには、下記の指定をおこないます。

- ・[表示]メニューの[表示ツール]-[ヘッダの表示]を実行して、ヘッダの表示を ON
- ・ヘッダがない場合は、「テキストヘッダの作成」の問い合わせに「はい」を選択
- ・「webto: 保存先のフォルダ名」の行を作成（例）

text-header: 1.0
subject: WZ エディタ 8
webto: c:¥web¥WZ8
(空行)

上記の指定で、「c:¥web¥WZ8」フォルダに出力されます。

「c:¥web¥WZ8¥index.html」とフルパスで指定すると、トップページを指定のファイル名で出力します。

「subject: タイトル」で、ページのタイトルを指定します。

HTML 変換出力の詳細

ページヘッダ、ディレクトリ、ショートカットの指定にも対応しています。

詳細は WZ フォルダのサンプル「webto.txt」をご覧ください。

- ・サンプルを開くには、[ファイル]メニューの[開く]-[オープンボックス]を実行して、「wz://webto.txt」を入力して OK
- ・[ファイル]メニューの[保存／終了]-[HTML の保存]を実行すると、トップページを「wzcfg://webto¥webto_001.htm」に出力
- ・WZ8 でトップページを開くには、[ファイル]メニューの[開く]-[オープンボックス]から操作
- ・ブラウザで開くには、WZ でトップページを開き、[ファイル]メニューの[開く]-[関連付けプログラムで開く]を実行

「WEB-TO」機能は、WEB ブラウザ「IE8」「IE7」で動作を確認しました。ブラウザにより表示差が発生する場合があります。

TML ファイルの変換

「TML ファイル」を「JIS テキスト」「体裁文書」「HTML」に変換して引き継ぎます。脚注・中央揃え・右揃え・傍点・図の一部の引き継ぎにも対応しています。

TML ファイルを JIS テキストに変換するには、下記の操作をおこないます。

- ・TML ファイルを開く
- ・[ツール]メニューの[テキストの変換]を実行
- ・「TML テキストを JIS テキストに」を選択
- ・[ファイル]メニューの[新規作成ダイアログ]から「JIS テキスト」を新規作成
- ・[編集]メニューの[貼り付け]を実行。変換結果が貼り付けられます

メニューコマンド

キーボードマクロ再生

前回記憶したキーボードマクロを再生します。

キーボードマクロ記録開始／終了

キーボードマクロの記録を開始します。記録中の場合は、記録を終了します。

キーボードマクロでは、カーソル移動、文字入力、基本操作を記録できます。

- ・各種のカーソル移動

- ・文字入力、改行、文字削除
- ・ダイアログを表示しない操作
- ・「文書の切り替え」以外の操作

キーボードマクロ一覧

キーボードマクロの選択ダイアログを表示します。過去に記録したキーボードマクロの一覧を表示します。選択して OK すると再生します。

「マクロ出力」をクリックすると、一覧で選択したキーボードマクロを Text-C プログラムとしてファイル「wzcfg://text¥mine¥idkbm.txc」に追加出力します。関数には固有の名前を自動で作成します。このマクロ名が、[マクロ]メニューの[履歴から実行]の先頭に追加されて、ダイアログから実行できます。

「コマンドマクロ出力」をクリックすると、一覧から選択したキーボードマクロをコマンドマクロに変換してクリップボードにコピーします。コマンドマクロはキーやメニューに割り当てができます。

ユーザメニュー

ユーザメニューを表示して選択したコマンドを実行します。

ユーザメニューには、WZ のコマンド、入力文字列、コマンドマクロ、マクロが指定できます。ユーザメニューを編集するには、[ツール]メニューの[カスタマイズ]-[ユーザメニューのカスタマイズ]から操作します。

コマンドの選択実行

コマンド一覧を表示します。OK すると指定したコマンドを実行します。

専用メニュー

PDF Book、TeX、BIB、日本語辞書ファイルの専用メニューを表示します。

文字数行数カウンタ

「カウンタ」ツールをツールビューに表示します。文書の行数・バイト数・ページ数・文字数・文字数(空白なし)・漢字・ひらがな・カタカナ・英単語数・Unicode 特有文字数、40 文字行数(概算)・原稿用紙枚数(概算)をリアルタイムに表示します。

文章の選択をすると、範囲内の各種文字数も表示します。

「40 文字行数」と「原稿用紙枚数」は、4 つの条件を前提とした概算値となります。

- ・プレーンテキストおよび青空文庫形式のテキスト
- ・タブや制御文字を含まないテキスト
- ・「桁揃え」「箇条書き認識」「固定字下げ」「会話文認識」機能は OFF
- ・「MS 明朝」や「MS ゴシック」の固定ピッチフォント

正確な行数と枚数を計算するには、「表示スタイル」を「原稿用紙」に切り替えて、実際のページ数や行数を表示します。

「青空文庫文書」「JIS 文書」のテキストは、[表示]メニューの[タグの表示]の ON/OFF によって文字数の計算が異なります。

- ・ON では、ルビを含めた文字数や行数や枚数を表示
- ・OFF では、ルビを除いた文字数や行数や枚数を表示

整数計算

整数の四則演算をおこないます。

(例) 10+20 の後にカーソルを置いてコマンドを実行すると、結果を「=30」と文

書に挿入します。

- ・演算子は+ - * /と()に対応しています。
- ・double 型で計算します。
- ・オーバーフローには対応していませんので、計算結果は検算してください。
- ・消費税の計算は、%を指定します。(例) 1000*105%
- ・16 進数は 0x1234 と記述すると、10 進に変換して計算します。
(例) 0x1234+567=5227

16 進数での計算結果は、ステータスウィンドウに表示します。

複数の段落を選択してからコマンドを実行すると、各段落のタブで区切られた桁ごとの合計を計算します。桁の=の後の数字か、桁の数字の合計を計算して結果をクリップボードにコピーします。

ソート

「ソート」ダイアログを表示します。オプションを指定して OK すると、文書を段落単位でソートします。

項目	「段落全体」を指定すると、段落でソートします。 「先頭」や「2 番目」を指定すると、タブで区切られた先頭部分・2 番目の部分でソートします。
逆順	ON にすると大きい順でソートします。 OFF にすると小さい順でソートします。
大文字と小文字を区別	ON にすると半角英文字の大小を区別します。
範囲内をソート	ON にすると範囲内をソートします。
カンマ区切り	ON にすると CSV ファイル形式のソートをおこないます。 タブの代わりにカンマ区切りの項目をソートします。

索引

索引を表示します。すでに表示されている場合は索引へカーソルを移動します。カーソルが索引にある場合は、索引を閉じます。

用語統一

用語統一ダイアログを表示します。

テキスト形式で辞書を作成することで、表記のゆれを統一することができます。

- ・辞書は 6 種類を登録して、タブで切り替えます。
サンプルの辞書で動作を確認できます。
- ・辞書を編集するには、「編集」をクリックします。
- ・辞書の記述方法は、ダイアログで「ヘルプ」をクリックすると参照できます。

辞書ファイルは、プレーンテキストとして作成します。

各行に正しい用語表記、タブ、誤りの用語表記を指定します。

複数の誤りの用語表記を指定するには、用語を | で区切って指定します。

Unicode 特有文字を使用する場合は、文字コード「SJIS-EX」として保存します。

コンピュータ→	コンピューター
インタフェース→	インターフェース インタフェイス
エディター→	エディター エディタ エディター エディッタ ー エディッタ

半角英文字の用語表記を指定すると、同じ綴りの「大文字・小文字の違い」と「全角」の単語を、表記の誤りとして検出します。

WZ
FAQ
Tips

ダイアログで OK すると、用語統一を開始します。

- ・文書を解析して、用語統一が必要な箇所の一覧を表示します。
解析には時間がかかりますが、[Esc]キーで中止できます。
- ・解析が完了すると「用語統一の実行」ダイアログを表示します。
- ・一覧で用語統一を確認します。一覧は、段落番号、綴り、置換候補の順で表示されます。下記の操作で用語統一を実行します。

↑/↓

一つ上/下の項目に移動します。

文書のカーソル位置も対応する箇所に移動します。

修正

元に戻す

一覧から削除

同じ綴りを一覧から削除

綴りを置換候補で選択した語句に置き換えます。

「修正」のクリックで置き換えた綴りを元に戻します。

選択した綴りを一覧から削除します。

選択した綴りと同じ綴りを一覧から削除します。

段落の編集

段落順

綴り順

置換順

選択した綴りの段落を編集します。

段落順でソートします。

綴り順でソートします。

置換候補順でソートします。

選択してから用語統一コマンドを実行すると、範囲選択内で用語統一を実行します。

自動校正

校正ダイアログを表示します。

句読点や文体の統一、日本語の文章の基本的な校正に対応しています。

校正機能は、文書をプログラムで解析しますので、「正しい語句を誤りと指摘する」や「誤りを検出しない」ことがあります。

ダイアログで校正を設定して OK すると、校正を開始します。

- ・文書を解析して、校正箇所の一覧を表示します。
解析には時間がかかりますが、[Esc]キーで中止できます。
- ・解析が完了すると「校正の実行」ダイアログを表示します。
校正対象がダイアログの一覧に表示されます。
- ・一覧で校正を確認します。一覧は、段落番号、綴り、置換候補の順で表示されます。下記の操作で校正を実行します。

↑/↓

一つ上/下に移動します。

文書のカーソル位置も対応する箇所に移動します。

修正

元に戻す

一覧から削除

同じ綴りを一覧から削除

綴りを置換候補で選択した語句に置き換えます。

「修正」のクリックで置き換えた綴りを元に戻します。

選択した綴りを一覧から削除します。

選択した綴りと同じ綴りを一覧から削除します。

段落の編集	選択した綴りの段落を編集します。
段落順	段落順でソートします。
綴り順	綴り順でソートします。
置換順	置換候補順でソートします。

選択してから自動校正コマンドを実行すると、範囲選択内で自動校正を実行します。

スペルチェック

スペルチェックをおこないます。英単語の途中で終わりにカーソルを置いてコマンドを実行すると、その単語のスペルをチェックします。

2回続けてコマンドを実行すると、「一括スペルチェックダイアログ」を表示します。

空白や漢字や記号にカーソルを置いて実行すると「一括スペルチェックダイアログ」を表示します。

スペルチェックのユーザ辞書を参照

- ON ユーザ辞書と標準辞書でスペルチェックします。
- OFF 標準辞書でスペルチェックします。

追加辞書をクリア

- ON にすると追加辞書をクリアします。
- 追加辞書は、「スペルミスの修正」ダイアログで一覧から削除した単語を記憶しています。

すべて大文字の単語をチェック

- すべて大文字の単語のスペルチェックを指定します。

数字が付いた単語をチェック

- 数字を含む単語のスペルチェックを指定します。

「一括スペルチェック」ダイアログで OK すると、スペルチェックを開始します。

- ・文書を解析して、スペルミス一覧を表示します。
解析には時間がかかりますが、[Esc]キーで中止できます。
- ・スペルチェックが完了すると。「スペルミスの修正」ダイアログを表示します。
- スペルミスがダイアログの一覧に表示されます。
- ・一覧でスペルチェックを確認します。一覧は、段落番号、綴り、置換候補の順で表示されます。下記の操作でスペルミスの修正を実行します。

- ↑/↓ 一つ上/下に移動します。
文書のカーソル位置も対応する箇所に移動します。
- 修正** 綴りを置換候補で選択した語句に置き換えます。
- 元に戻す** 「修正」のクリックで置き換えた綴りを元に戻します。
- 一覧から削除** 選択した綴りを一覧から削除します。
- 同じ綴りを一覧から削除** 選択した綴りと同じ綴りを一覧から削除します。

段落の編集	選択した綴りの段落を編集します。
段落順	段落順でソートします。
綴り順	綴り順でソートします。
置換順	置換候補順でソートします。

文書設定の変換

「文書スタイルの変換」ダイアログを表示します。

変換先の文書設定を選択して OK すると、変換を実行します。

- ・「見出し文字列」を変換します。
- ・ルビや文字装飾の「タグ」を変換します。

変換先の文書スタイルに「テキスト」を指定すると、タグとルビを削除します。

テキストの変換

テキストの変換メニューを表示します。

「HTML テキスト」「プレーンテキスト」「TML 文書」形式の変換ができます。

- ・HTML テキストとプレーンテキストの変換
- ・改行付きテキストとプレーンテキストの変換
- ・TML 文書から JIS テキスト・体裁文書・HTML テキストに変換

変換した結果はクリップボードにコピーされます。

メールの改行付きテキストを変換するには、「改行付きテキストをテキストに」を選択します。

「改行付きテキストとプレーンテキスト」「HTML テキストとプレーンテキスト」の変換は、範囲選択に対応しています。選択して実行すると、選択範囲内を変換します。

WZ Board

WZ Board を起動します。

WZ Filer

WZ Filer を起動します。

WZ Tab Filer

WZ Tab Filer を起動します。

環境設定

「環境設定」ダイアログを表示します。キー定義、標準の文字コードやウィンドウサイズなど各種のカスタマイズが可能です。

カスタマイズ—履歴の削除

最近開いたファイル・検索語句・文字列・フォルダ・プログラムの履歴を削除するダイアログを表示します。

履歴の一覧を表示しますので、削除する履歴を選択して「削除」をクリックするとクリアします。「開く」をクリックすると、履歴ファイルを開きます。

カスタマイズ—ユーザメニューのカスタマイズ

ユーザメニューを編集するダイアログを表示します。

カスタマイズ—拡張子を WZ8 に関連付け

WZ8 で開く拡張子の関連付けをおこないます。

関連付けた拡張子のファイルは、エクスプローラーからダブルクリックすると WZ8 で開きます。拡張子を関連付けするには、下記の操作をおこないます。

- ・関連付けしたい拡張子のファイルを WZ8 で開く
- ・([ツール]メニューの[カスタマイズ]-[拡張子を WZ8 に関連付け])を実行
- ・「拡張子を WZ8 へ関連付け」ダイアログで、「開く」と「編集」を ON にして OK

カスタマイズ—HTML の関連付け

HTML エディタの一覧に追加するカスタマイズをおこないます。

カスタマイズ—キー一覧

「キー一覧」ダイアログを表示します。コマンドが割り当てられているキーの一覧を表示します。ダイアログから、コマンドやカスタマイズを実行できます。

実行 一覧から選択したコマンドを実行します。

カスタマイズ キー定義のカスタマイズをおこないます。

ユーザ追加定義 ユーザ追加定義のカスタマイズをおこないます。

カスタマイズ—背景色の変更

「背景色の変更」ダイアログを表示します。ダイアログで指定した背景色に合わせて、色設定の一括変更をおこないます。「表示スタイル」「色分けスタイル」「環境設定」の色の設定を自動的に調節します。

- ・「背景色」に「黒」など明度の低い色を指定した場合は、各種の文字色を明度の高い色に変更します。
- ・「背景色」に「白」など明度の高い色を指定した場合は、各種の文字色を明度の低い色に変更します。
- ・原則として、「背景色」を暗→明→暗または明→暗→明に戻すと、文字色も元の色に戻ります。

「背景色の変更」ダイアログの「コントロールの色」は、リストボックスやテキストボックスのコントロール部位の色を調整します。

- ・「共通」を指定すると、コントロール部位の色を編集画面と同色にセットします。
- ・「専用指定」を指定すると、コントロール部位の色を Windows の基準色から初期化して設定します。

カスタマイズ—WZ7 の設定引継ぎ

WZ7 の表示・文書・印刷・色分けスタイルと環境設定を取得します。

スタイル名に「WZ7」を追加して取得します。

WZ7 のプロファイル・ファイルの履歴・検索文字列の履歴も取得します。

カスタマイズ—WZ6 の設定引継ぎ

WZ6 の表示・文書・印刷・色分けスタイルと環境設定を取得します。

スタイル名に「WZ6」を追加して取得します。

WZ6 のプロファイル・ファイルの履歴・検索文字列の履歴も取得します。

カスタマイズ—WZ5 の設定引継ぎ

WZ5 の「文書の設定」を WZ7 の「表示スタイル」に取得します。

- ・文書の設定の「標準」の設定は、WZ7 の標準の表示スタイルに取得します。
- ・その他の設定は、スタイル名に「WZ5」を追加して取得します。
- ・WZ5 の「文書の設定」の見出し文字列の取得には対応していません。
WZ7 で文書スタイルを新規作成して見出し文字列を設定します。
- ・WZ5 の「環境設定」の取得には対応していません。WZ7 の「環境設定」で改めて設定します。

カスタマイズ—WZ8 のアンインストール

WZ8 を終了し、WZ8 のアンインストールプログラムを起動します。

問い合わせダイアログでの確認後に、アンインストールを実行します。

マクロ

Text-C によるマクロプログラミングにつきましては、[マクロ]メニューの[ヘルプ]と[マクロ]メニューの[Text-C リファレンス]をご覧ください。

プログラムの見出し認識

Text-C プログラムで見出し認識をするには、プログラムを作成して登録します。

- ・プログラムサンプルは、txttool.c の headtest を参照。
- ・プログラムを WZ8 で開いてから[マクロ]メニューの[プログラムの登録]を実行。

[表示]メニューの[設定]の「アウトライン—文書／見出しの認識」の「見出し認識 1～6」にプログラム名を指定します。

- ・「関数名@¥作者名¥ファイル名」で Text-C プログラムを指定。

(例)「headtest@¥system¥txttool.c」

コメントアウトするには、先頭に//を指定。

(例)「//headtest@¥system¥txttool.c」

- ※プログラムに不具合があると、WZ8 が起動しなくなります。回避するには「WZ プログラムフォルダ¥textc¥作者名¥ファイル名.txp」のファイルを削除します。

メニューコマンド

マクロの一覧

WZ8 に登録されているマクロコマンドの一覧を表示します。

一覧からコマンドを選択して OK すると、マクロコマンドを実行します。

「登録プログラム一覧」をクリックすると、「登録プログラム一覧」ダイアログを表示します。登録されている Text-C プログラムの一覧が表示されます。

ダイアログからカスタマイズが実行できます。

削除 一覧で選択したプログラムを削除します。

プログラムを開く プログラムを開きます。

カスタマイズ WZ8 標準のプログラムをカスタマイズします。
「アプリケーションの一覧」をご参照ください。

ツールの一覧

「ツールの一覧」ダイアログを表示します。「実行」をクリックすると、ツールを実行します。ダイアログの各ボタンは、「アプリケーションの一覧」をご参照ください。

アプリケーションの一覧

「アプリケーションの一覧」ダイアログを表示します。

「実行」をクリックすると、アプリケーションを実行できます。

ダイアログからカスタマイズが実行できます。

上へ	一覧で選択したプログラムを一つ上へ移動します。
下へ	一つ下へ移動します。
削除	削除します。
プログラムを開く	アプリケーションのプログラムを開きます。

「カスタマイズ」をクリックすると、一覧で選択したプログラムを下記の操作でカスタマイズできます。

- ・「作者名の指定」で、作者名を指定。公開の予定なら作者名(例:gonbei)、予定がなければ mine(個人用プログラムの意味)を指定します。
- ・OK する。一覧で選んだプログラムのコピーを、指定の作者名のフォルダに作成してエディタで開きます。
- ・プログラムを編集して、「プログラムの登録」コマンドを実行。次回の実行から、カスタマイズしたプログラムが起動されます。

プラグインの一覧

「プラグインの一覧」ダイアログを表示します。
プラグインとして登録されているプログラムの一覧を表示します。
プラグインの登録を、下記の操作で一時的に解除できます。

- ・一覧からプラグインを選択
- ・「ステータス」の[▼]をクリックして、「SKIP」を選択して OK
- ・WZ8 を一旦すべて終了

登録を復活するには、「ステータス」から「OK」を選択します。

txttool.c (標準コマンド) の SKIP や削除を実行すると、WZ8 の 1/3 のコマンドが無効となります。

ステータスツールの一覧

「ステータスツールの一覧」ダイアログを表示します。
ステータスツールとして登録されているプログラムの一覧を表示します。
ツールの登録を、下記の操作で一時的に解除できます。

- ・一覧からツールを選択
- ・「ステータス」の[▼]をクリックして、「SKIP」を選択して OK
- ・WZ8 を一旦すべて終了

登録を復活するには、「ステータス」から「OK」を選択します。

「実行」をクリックすると、一覧で選択したツールをツールバーに追加表示します。

- ・ツールバーの表示が OFF の場合は、表示を ON にします。
- ・ツールバーが「ユーザ定義」の場合は、標準のツールバーに切り替えます。
- ・印刷プレビューの場合は、プレビューを終えるとツールを表示します。

タイトルバーの右クリックメニューから、メニュー・ツール・ステータスバーのツールの表示をカスタマイズできます。

プログラムの登録

開いている Text-C プログラムを登録します。

テキストバッファのプログラムをコンパイルして登録します。

- ・アプリケーションのプログラムは、アプリケーション一覧に登録します。
- ・プラグインのプログラムは、プラグイン一覧に登録します。
- ・プログラムのすべてのマクロコマンドを、「マクロの一覧」に登録します。

マクロの新規作成

「マクロの新規作成」ダイアログを表示します。

作者名、マクロ名、関数名を指定して OK すると、マクロプログラムファイルを新規作成して開きます。

- ・「サンプル」を選択すると、関数のひな形を挿入します。
 - ・既存のファイルを指定すると、関数を追加します。
- マクロプログラムを実行するには、下記の操作をおこないます。
- ・[マクロ]メニューの[コンパイル]を実行。
 - ・[マクロ]メニューの[履歴から実行]を実行。

コンパイル

テキストバッファのプログラムをコンパイルします。

エラーはステータスウィンドウに表示します。

実行

テキストバッファのプログラムをコンパイルして実行します。

エラーはステータスウィンドウに表示します。

コンパイルが正常に完了すると、プログラムのマクロコマンドの一覧を表示します。

選択して OK するとコマンドを実行します。

履歴から実行

最近コンパイルしたプログラムの一覧を表示します。

一覧から選択して OK すると、プログラムを実行します。プログラムに複数のコマンドがある場合は、コマンドの選択ダイアログを表示します。

「開く」をクリックすると、一覧で選択したプログラムを開きます。

ダンプ

開いている Text-C プログラムを、コンパイルして P コードをダンプ表示します。
P コードは、Text-C の実行形式のプログラムコードです。

デバッグモード

デバッグモードの ON/OFF を切り替えます。

デバッグモードを ON にすると、プログラムの実行箇所のファイル名と行番号をステータスウィンドウに表示します。

Text-C リファレンス

Text-C の関数、定義、typedef、プロパティ一覧のリファレンスを表示します。

ヘルプ

Text-C のヘルプファイルを表示します。

ウィンドウ

メニューコマンド

ウィンドウ一覧

開いている文書ファイルの一覧と、Text-C のアプリケーションの一覧 (WZ Grep、WZ Filer) を表示します。

一覧で文書やアプリケーションを選択して OK すると、表示を切り替えます。

「最近開いたファイル」にファイルの履歴一覧を表示します。

ファイルを選択して OK すると、ファイルを開きます。

ダイアログから、クローズ、保存、オープンの操作が実行できます。

ウィンドウを閉じる 一覧で選択したウィンドウを閉じます。

すべて保存 「すべて保存」コマンドを実行します。

開く >> 「ファイルを開く」ダイアログに切り替えます。

タブの切り替え

現在の文書と、直前に開いていた文書を切り替えます。

前のタブ

文書を 1 つ前のタブに切り替えます。

次のタブ

文書を 1 つ後ろのタブに切り替えます。

多重化

画面を分割して、新しいタブを開いて文書を表示します。

新しいタブで文書を編集すると、元のタブにも反映されます。

表示スタイルを個別に設定すると、文書を縦書きと横書きで編集できます。

多重化 別ウィンドウ

新しいウィンドウを開いて文書を表示します。

新しいウィンドウで文書を編集すると、元のウィンドウにも反映されます。

多重化のカーソル位置を同期

ON にすると、多重化したテキストのカーソル位置を同期します。テキストを縦書きと横書きで表示して、縦書きで入力すると、横書き側のカーソル位置を同期します。

OFF にすると、同期を解除します。それぞれのビューでカーソル位置を個別に移動できます。

「別ウィンドウで多重化」したビューは同期の適用外となります。

分割ビューの切り替え

画面の分割を切り替えます。

実行する度に、通常→左右に分割→上下に分割→通常に切り替えます。

2 つの文書を左右や上下に並べて編集できます。

タブをマウスでドラッグして、別のタブにドロップすると文書のタブをウィンドウ間で移動します。

分割ビューの入れ替え

「分割ビューの切替」の画面分割で、左右・上下のファイルを入れ替えます。

ツールビューへ

ツールビュー領域へカーソルを移動します。ツールビューがなければ作成します。

ツールビューは、「文字数行数カウンタ」などのツールとステータスウィンドウを表示する領域です。ステータスバーの[]のクリックで、ツールビューのメニューを表示します。

文書のツールビューへの表示も可能です。文書のタブをマウスでドラッグして、ツールビューのタブヘドロップします。

ビュー—ビュー 1 へ

画面分割の左側・上側へカーソルを移動します。

ビュー—ビュー 2 へ

画面分割の右側・下側へカーソルを移動します。

画面分割が OFF の場合は、画面分割を実行します。

ビュー—同時スクロールモード

ON にすると、「分割ビューの切替」で画面を分割している時に、左右・上下のビューで同時スクロール表示をします。

ビュー—対称スクロールモード

ON にすると、「分割ビューの切替」で画面を分割している時に、左右・上下のアクティブでない別ビューのスクロール表示をします。

全画面表示

WZ8 の画面を、ディスプレイサイズいっぱいに最大化します。

タイトルバーとツールバーを表示しないで、本文を大きく表示します。

再度、コマンドを実行すると元の表示に戻します。

画面高を最大

画面の上下を、ディスプレイサイズに最大化します。

画面位置の記憶

ウィンドウの位置を、複数記憶／復元するダイアログを表示します。

ヘルプ

ヘルプを表示します。

外部ヘルプ/Web—WZ8 のホームページ

WZ8 の Web ページのホームを表示します。

外部ヘルプ/Web—外部ヘルプ 1~4

文書スタイルの外部ヘルプ 1~4 にヘルプを登録しておく、と、カーソル位置の単語でヘルプを参照します。外部ヘルプは、各種ファイルの指定に対応しています。

CHM ファイル 単語をクリップボードにコピーします。

テキストファイル WZ8 でファイルを開いて単語で検索ジャンプします。

HLP ファイル Windows のヘルプを表示します。Windows XP のみの対応です。Windows 8/7/Vista には対応していません。

URL http://で始まる URL を指定すると、ブラウザを起動して WEB で検索実行します。

バージョン情報

WZ8 のバージョン情報、動作モード、WZ フォルダ、WZ 設定フォルダの場所を表示します。

WZ フォルダを開く エクスプローラで WZ フォルダを開きます。

WZ 設定フォルダを開く WZ フォルダは、WZ のプログラムのフォルダです。

エクスプローラで WZ 設定フォルダを開きます。

WZ 設定フォルダは、WZ の設定ファイルのフォルダです。

個人専用セットアップの場合は、WZ 設定フォルダは WZ フォルダと同一のフォルダとなります。

情報のコピー WZ8 のプログラムファイル名と、WZ フォルダ名、

WZ 設定フォルダ名をクリップボードへコピーします。

最新版の確認 WZ8 のマイナーアップデートの最新版の情報を表示する、WEB ページを開きます。

登録情報 「登録情報」ダイアログを表示します。管理者権限が必要です。

「登録情報」ダイアログでは、WZ8 の「購入情報」の表示と「管理設定」をおこないます。

- ・「シリアル番号」と「ライセンスキー」に、ご登録のシリアル番号とライセンスキーを表示します。

登録内容の変更には対応していません。ダイアログでシリアル番号やライセンスキーを編集して OK しても、変更は無効となります。

- ・「インターネット機能を許可」を OFF にすると、Text-C プログラムから WinSock によるインターネット接続を禁止します。
- ・「インターネット検索」や「Textc Mail」などのインターネットの機能が使用不可能となります。

「管理者権限が必要です」と表示され「登録情報」が表示されない場合は、下記の操作をおこないます。

- ・WZ8 を一度終了
- ・WZ8 起動のショートカットアイコンを右クリック
- ・「管理者として実行」を選択

設定

WZ8 には、「文書、表示、段落、色分け、印刷、環境」の 6 つの設定があります。環境設定は WZ8 全体で共通の設定となります。

「文書～印刷」設定は、使用頻度の高い設定が複数のスタイルとしてデフォルトで登録されています。

文書

「テキスト」「青空文庫テキスト」「JIS テキスト」「PDF Book」「C プログラム」「HTML テキスト」「TeX」他

拡張子単位に、使用する文書スタイルを登録可能
デフォルト表示、段落、色分け、印刷設定を登録可能
テキスト／プログラム、プレーンテキスト／青空文庫
／JIS テキスト、アウトライン見出しの認識、箇条書き／小見出し／段落体裁の認識などを設定

表示

「縦書き」「雑誌原稿」「横書き 2 段」「プログラム」
編集表示の文字数、段組、フォント、行間、字間、余白、行番号、文字組版、禁則などを設定

段落

「標準」「ドキュメント」(WZ8 ヘルプ、マニュアル用)
見出し段落の野線装飾や行取り、箇条書き／小見出しの字下げや幅、段落体裁の字下げやフォントなどを設定

色分け

「C プログラム」「HTML」「TeX」他
特定の語句の色分け、プログラム構文の色分けを設定

印刷

「A4 横書き」「A4 横書き (2 段組)」「A4 縦書き 40 文字 40 行 (見開き)」他
印刷の用紙、文字数、段組、フォント、行間、字間、余白、行番号などを設定

環境設定

キー定義 (Windows 標準／VZ／MIFES／Emacs／ユーザ定義)、色、常駐、標準フォルダなどを設定

WZ8 でファイルを開くと、拡張子に応じて適用する文書スタイルが決まります。文書スタイルから「表示、段落、色分け、印刷」設定が決まります。

WZ8 では下記の設定操作に対応しています。

- ・設定ダイアログによる、設定内容の一括表示と変更
- ・ファイル専用の「文書、表示、段落、色分け、印刷」設定の使用
- ・ファイル単位で使用する「文書、表示、段落、色分け、印刷」スタイルを個別に切り替え
- ・「文書、表示、段落、色分け、印刷」のスタイルの追加、編集、削除

設定ダイアログ

設定をするには[表示]メニューの[設定]を実行します。設定ダイアログに「文書、表示、段落、色分け、印刷、環境」設定の項目名と設定値が一括表示されます。

色分けは専用ダイアログでの設定となりますので、詳細は「表示－色分け」をご覧ください。

設定ダイアログは左側に設定項目の目次を、右側に設定項目と設定値を表示します。ダイアログで「表示、段落、印刷」設定の項目を変更すると、直ちに編集ファイルの表示に反映します。設定変更の効果を確認しながらの設定操作が可能です。

設定値を変更して OK すると、更新の問い合わせ「更新する」「専用設定にする」「キャンセル」を表示します。

「更新する」をクリックするとスタイル登録を更新します。同じスタイルを使用する別のファイルの表示も更新されます。

「専用設定にする」をクリックするとファイル専用の設定とします。他のファイルとは独立した設定となります。

メニュー順とカテゴリ順

設定ダイアログの目次は、「メニュー順」「カテゴリ順」を切り替えて表示できます。「表示切替」をクリックすると交互に切り替えます。通常はメニュー順を使用します。



(設定／メニュー順画面)

メニュー順では、「ファイル、編集、検索、表示、挿入、アウトライン、ツール、ウィンドウ」の分類で、「文書－環境設定」を束ねて設定一覧を表示します。「表示－表示／文字数（専用設定）」のように、分類「表示」、設定「表示」、設定項目グループ「文字数」、スタイル名「専用設定」を目次に表示します。

設定項目と項目の詳細一覧は、「環境設定、文書設定、表示設定、段落設定、印刷設定」の章をご覧ください。



(設定／カテゴリ順画面)

カテゴリ順では、「文書、表示、段落、色分け、印刷、環境設定」の分類で設定一覧を表示します。各設定ごとに現在使用している登録スタイル名と、スタイルの切り替えや追加などのメンテナンスメニューが表示されます。

カテゴリ順では、設定値を変更して OK すると更新の問い合わせなしで、スタイル登録を更新します。

キー操作と絞り込み

設定ダイアログでは、下記のキー操作とボタン操作がおこなえます。

[Alt+Down]

[▼]をクリックします。

[Alt+Right]	[参照]をクリックします。
目次	目次へキーボードフォーカスを移動します。
絞り込み	「絞り込み」ダイアログを表示します。項目名の一部を入力すると設定項目を絞り込み表示しますので、目的の項目の検索ができます。
	「索引」をクリックすると、設定項目の名称の一覧から絞り込み表示をおこないます。
項目メニュー	現在の設定項目の内容を別のスタイルにコピーします。WZ PDF Book では現在の専用設定の設定項目の内容を、表紙〜奥付の専用設定へコピーします。

項目設定の共通化

文書、表示、段落、印刷の各設定の項目はスタイル単位に独立しています。すべてのスタイルで特定の設定項目の設定内容を共通にするには、設定ダイアログで項目を指定して、「項目メニュー」をクリック、「項目設定の共通化」を選択します。問い合わせダイアログに「はい」を選択すると、すべてのスタイルの指定項目を、設定値に書き換えます。

設定の切り替えとメンテナンス

設定の切り替えや追加をするには、「カテゴリ順」の設定ダイアログでおこないます。

目次には編集ファイルに適用されている「文書、表示、段落、色分け、印刷」スタイルのそれぞれの名称が表示されます。

使用するスタイルを切り替えるには、目次でスタイルをクリックすると表示される「スタイル」ドロップダウンリストボックスから選択します。

この他、スタイルの追加や削除のメンテナンスがおこなえます。

専用設定へ保存 現在使用しているスタイルをファイル専用の設定として複写して切り替えます。

新規作成 スタイルを追加して切り替えます。スタイルの名称を入力、OK を実行すると、現在の設定をコピー、指定の名前でスタイルが新規登録されます。

名前の変更 現在使用しているスタイルの名称を変更します。

削除 現在のスタイルを削除します。

一覧表示 スタイルの一覧ダイアログを表示します。スタイル一覧の表示順の変更など、詳細のメンテナンスがおこなえます。

直接編集 スタイルの設定ファイルを直接エディタで編集します。
スタイルの初期化 スタイルの設定変更や追加をクリアして、WZ8 の初期状態に戻します。

スタイルの一覧ダイアログ

設定ダイアログで「一覧表示」をクリックすると表示される「スタイルの一覧」ダイアログでは、下記の操作がおこなえます。

編集	選択したスタイルの設定ダイアログを表示します。
名前の変更	選択したスタイルの名前を変更します。
新規作成	選択したスタイルをコピーして新規スタイルを作成します。
削除	選択したスタイルを削除します。
↑↓	選択したスタイルの表示の順を上下へ移動します。
開く	スタイルの設定ファイルを直接エディタで編集します。
初期化	スタイルの設定変更や追加をクリアして、WZ8 の初期状態に戻します。

設定の保存

WZ8 の設定は、WZ 設定フォルダにテキストファイルで保存されます。レジストリへの設定の保存はおこないません。

環境設定	wzcfg://idsystem.sys
文書設定	wzcfg://idtags.cfg
表示設定	wzcfg://idview.cfg
段落設定	wzcfg://idfonhed.cfg
色分け設定	wzcfg://idcolor.cfg
印刷設定	wzcfg://idprint.cfg

設定のテキストファイルを開くには、[ファイル]メニューの[開く]-[オープンボックス]にファイル名を指定します。

使用したファイルや検索文字列の履歴は、WZ 設定フォルダにテキストファイルで保存されます。

開いたファイル	wzcfg://idfhist.hst
プロファイル	wzcfg://idprofil.hst
開いたフォルダ	wzcfg://idfolder.hst
検索文字列	wzcfg://idsearch.hst

プロファイルには、ファイル単位で選択したスタイル名や編集位置を最大 300 ファイルまで記憶します。

ファイル単位の専用設定の内容も、プロファイルに記憶します。

設定のバックアップ

WZ 設定フォルダをフォルダごとバックアップしておくと、下記の操作で WZ8 の設定を復元することができます。

- ・[ウィンドウ]メニューの[バージョン情報]を実行
- ・「WZ 設定フォルダを開く」をクリック。個人専用セットアップでは、「WZ フォルダを開く」をクリック。WZ 設定フォルダがエクスプローラで開きます。
- ・WZ8 を「WZ Icon」も含めてすべて終了。
- ・バックアップから上書きコピーを実行。

設定の移行

他の PC へ WZ の設定を移行するには、下記の操作をおこないます。

- ・[ウィンドウ]メニューの[バージョン情報]を実行
- ・「WZ 設定フォルダを開く」をクリック。個人専用セットアップでは、「WZ フォルダを開く」をクリック。WZ 設定フォルダがエクスプローラで開きます。
- ・USB メモリへフォルダの内容をコピー
- ・他の PC に USB メモリをセット
- ・エクスプローラで WZ 設定フォルダを開く
- ・WZ8 を「WZ Icon」も含めてすべて終了
- ・USB メモリから上書きコピーを実行

環境設定ダイアログ

[ツール]メニューの[環境設定]を実行すると、環境設定を専用におこなう「環境設定ダイアログ」を表示します。



(環境設定画面)

環境設定

環境設定では、キー定義、標準の文書フォルダ、標準の文字コード、ウィンドウサイズ、各種カスタマイズを設定します。

環境設定は、専用のコマンド[ツール]メニューの[環境設定]からの設定も可能です。「環境設定」ダイアログで[OK]すると、一部の項目を除いて設定の変更が反映されます。メニューやツールバーの表示も更新されます。

使用頻度の高いカスタマイズ

SDI 表示のカスタマイズ

WZ8 ではタブ表示 (複数ファイルを 1 ウィンドウに表示) が標準ですが、SDI 表示 (ファイル単位に個別のウィンドウを表示) にカスタマイズ可能です。

- ・[ツール]メニューの[環境設定]を実行
- ・目次から「ウィンドウタブ」を選択
- ・「SDI 表示」を ON にして OK
- ・WZ ウィンドウをすべて閉じる

SDI 表示に設定すると、WZ8 の一部のメニューの動作が変更となります。

終了 WZ8 のすべてのウィンドウを閉じる

比較を開始、比較を続ける

最前面のウィンドウと、2 番目のウィンドウのファイルを比較

(プロセスが異なるウィンドウの比較には不対応)

前回終了時の復元

前回終了時の最前面のファイルを開く

分割ビューの切り替え

最前面と 2 番目のウィンドウを「左右に並べる」「上下に並べる」「元の並びに戻す」で表示を切り替え

表示スタイル

ウィンドウの「幅」と「高さ」を指定可能

ファイル単位でウィンドウの位置とサイズをプロファイルに記憶

キーのカスタマイズ

WZ8 では、下記の設定操作でユーザーキー定義を追加することができます。

- ・[ツール]メニューの[環境設定]を実行
- ・項目に「キー定義」を選択
- ・「ユーザ追加定義を追加」を ON
- ・「ユーザ追加定義を追加」の「参照」をクリック、「定義ファイル編集」を表示
- ・「コマンド一覧」から追加するコマンドを選択*
- ・「キー定義」に追加するキーを指定
- ・「追加」をクリック。「定義内容」に「キー」「タブ」「コマンド」の行が追加されます。
- ・「定義ファイル編集」を上書き保存して閉じる

＊コマンドの他に、「文字列」「コマンドマクロ」「Text-C プログラム」を割り当てられます。割り当てするには、「定義内容」の「コマンド」を直接書き換えます。

文字列	全角文字列は文字列を指定します。 半角文字列は引用符で括って"ABC"と指定します。 指定した文字列がテキストに挿入されます。
コマンドマクロ	「コマンド、文字列、引数付きコマンド」の並びを指定します。 (例)「kbm: right right "文字列" left left」は、 「右 2 回カーソル移動、"文字列"の入力、左 2 回カーソル移動」を指定。 キーボードマクロからコマンドマクロの作成も可能です。
Text-C プログラム	アプリケーションやツールの名前 「¥system¥txgrep.c」 プログラムのファイル名 「c:¥macro¥mymacro.c」 main 関数から実行 プログラムのファイル名+関数名 「func@c:¥macro¥mymacro.c」 search("検索文字列") カーソル位置から文字列を検索します。 file("ファイル名") WZ8 でファイルを開きます。 view("表示スタイル名") 表示スタイルを切り替えます。 tag("文書スタイル名") 文書スタイルを切り替えます。 lpsty("印刷スタイル名") 印刷スタイルを切り替えます。 jmpara(段落番号) 段落ヘジャンプします。 rightb(移動バイト数) 移動バイト数のジャンプをします。 jmpadr(ジャンプ先アドレス/先頭=0) アドレスヘジャンプします。 ly(カーソルジャンプ行) カーソルを画面の指定行数（画面先頭行=1）ヘジャンプします。

メニューのカスタマイズ

WZ8 では、下記の操作でメニューにコマンドを追加することができます。

- ・[ツール]メニューの[カスタマイズ]-[ユーザメニューのカスタマイズ]を実行
- ・「定義ファイル編集」の「コマンド一覧」から追加するコマンドを選択
- ・「追加」をクリック
- 「定義内容」に「コマンド」「タブ」「説明」の行が追加されます
- ・「定義ファイル編集」を上書き保存して閉じる

[ツール]メニューの[ユーザメニュー]を実行すると、カスタマイズしたメニューを表示します。

＊キーのカスタマイズと同様に、「文字列」「コマンドマクロ」「Text-C プログラム」を割り当てできます。

メニューのフルカスタマイズ

メニューバーをフルカスタマイズして不要なコマンドを削除すると、必要なコ

マンドを実行するステップ数が削減できます。メニューバーをフルカスタマイズするには、下記の操作をおこないます。

- ・[ツール]メニューの[環境設定]を実行、目次から「メニューとバー」を選択
- ・「メニューバー」に「ユーザ定義」を選択して、「参照」をクリック
- ・「定義ファイル編集」で定義内容をカスタマイズ
- ・ファイルメニューから「保存して閉じる」を実行
- ・環境設定で OK

ツールバーのカスタマイズ

ツールバーのカスタマイズにより不要なボタンを削除したり、使用頻度の高いコマンドを追加して 1 クリックで実行できます。ツールバーをカスタマイズするには、下記の操作をおこないます。

- ・[ツール]メニューの[環境設定]を実行、目次から「メニューとバー」を選択
- ・「ツールバー」に「ユーザ定義」を選択して、「参照」をクリック
- ・「定義ファイル編集」で定義内容をカスタマイズ
- ・ファイルメニューから「保存して閉じる」を実行
- ・環境設定で OK

行単位のカットアンドペースト

Windows 標準のキー定義をご使用の場合は、下記の設定操作で[Shift+横方向]キーで文字選択、[Shift+縦方向]キーで行選択にカスタマイズすることができます。

- ・[ツール]メニューの[環境設定]を実行、目次から「編集」を選択
- ・「方向キー範囲選択」に「行／文字単位」を指定して OK

行選択でコピーしたテキストの貼り付けは行単位となり、行の途中で貼り付けを実行した場合でも行頭に貼り付けされます。

VZ ライクキー定義では、[Ctrl+B]キーで文字単位／段落単位の選択コマンドを使用できます。

MIFES ライクキー定義では、[Shift+F6]キーで文字単位、[F6]キーで行単位の選択コマンドを使用できます。

ファイル

開く

標準の文字コード デフォルトの文字コードを指定、UTF-8 を推奨、指定の文字コードで新規ファイルを作成

存在しないファイルの確認

ON 存在しないファイルを開く前に確認

青空文庫の自動認識

ON 青空文庫を自動認識して、「青空文庫」文書スタイルで開く

脚本の自動認識

ON 脚本を自動認識して「脚本」文書スタイルで開く

閲覧モードで開く

ON 文書を閲覧モードで開く

履歴の表示

ファイルメニューの「最近使用したファイル」の表示数を指定

ファイルサイズの確認	指定したサイズ以上のファイルを開く前に確認（0 を指定すると常に確認）、ファイルオープンで「ファイルの部分読み込み」ダイアログによる部分読み込みの指定と、「テキスト」「バイナリ」「レコード」表示モードが選択可能
排他制御	しない 他のアプリケーションでファイルのオープンと上書き可能 上書き禁止 ファイルのオープン可能、上書き禁止 読み書き禁止 ファイルのオープン、上書き禁止
スキップするドライブ	テキストオープンダイアログやファイラーで、読み込みをスキップするドライブを、半角英字で空白で区切って「A B」と指定
標準のボードファイル	「WZ Board」で開くボードファイルを指定 [編集]メニューの[WZ Board へ追加]コマンドにも適用 空の指定で標準ファイル「wzcfg://wzmemo.mem」を使用 拡張子の指定は省略可能（拡張子は「.mem」に固定）
イメージファイル	イメージファイルとして認識する拡張子を指定 半角空白で区切って「.bmp .jpg」と指定
バイナリファイル	バイナリファイルとして認識する拡張子を指定 半角空白で区切って「.wav .exe」と指定
ダイアログ	
標準フォルダ	無題文書から「ファイルを開く」で表示するフォルダを指定 空にすると「ドキュメント」（XP ではマイドキュメント）
ファイルダイアログ	ファイルオープンや「名前を付けて保存」ダイアログを指定。「Windows 標準」「テキストオープンダイアログ」「ファイルオープンボックス」「WZ Tab Filer ダイアログ」「WZ Tab Filer」から選択 ファイルオープンボックス ファイル名の入力ダイアログを表示（ファイル名を入力して[Enter]で、「標準フォルダ」や「最近開いたフォルダ」からファイルを検索、空にして[Enter]すると「テキストオープンダイアログ」を開く）
フォルダの色	テキストオープンダイアログのフォルダの表示色を指定
リードオンリーの色	リードオンリーファイルの表示色を指定
バイナリの色	バイナリファイルの表示色を指定
システム・Hidden の色	システムファイル、Hidden 属性のファイルの表示色を指定

保存

自動保存

OFF 編集中の自動保存を実行しない

10 秒.30 秒.1 分.2 分.3 分 最後の編集操作から、指定時間経過後に自動保存を実行、自動保存のファイルは専用のフォルダに作成

バックアップ

バックアップを作成 上書き保存のバックアップを「フォルダ」に作成（フォルダが空の場合は¥bak フォルダに作成、フォルダがドライブ名を含む「c:¥bak」形式の場合は指定のフォルダに作成、フォルダがドライブ名を含まない「¥bak」形式の場合はファイルのドライブの指定のフォルダに作成）

バックアップを複数作成 上書き保存の度にバックアップを複数作成（バックアップのファイル名に日付・時間・通し番号が付き、バックアップフォルダに多数のファイルを作成）

bak ファイルに作成 ファイルと同じフォルダに拡張子を「.bak」に変更してバックアップを作成

参考 バックアップファイルを開くには、[ファイル]メニューの[開く]-[バックアップを開く]を実行
バックアップファイルの作成先のドライブを指定

フォルダ

履歴の削除

WZ の終了時に履歴を削除する／しないを設定

しない 履歴を削除しない

削除する 最近開いたファイル、検索した文字列、開いたフォルダ、使用した Text-C プログラムの履歴を削除

履歴とテキストスタックを削除 テキストスタックもクリア

PDF 出力

PDF 出力モードをデフォルト

ON PDF 出力モードをデフォルトで ON

出力完了後に開く

ON PDF 出力完了後に出力ファイルを開く

出力前に Adobe Reader を閉じる

ON Adobe Reader を閉じる（間接実行のためサポートの対象外）

上書きの確認

標準 出力先が WZ8 の作成した PDF ファイルなら上書きの確認を省略

確認する 出力先の PDF が存在する場合は上書きを確認
確認しない 出力先の PDF が存在しても確認せず上書き

出力表示もしない 出力先を指定するダイアログを表示せずデフォルトの出力を実行、上書き確認もなし

明朝フォント

PDF 出力の明朝フォントを指定（空：デフォルト）

ゴシックフォント	PDF 出力のゴシックフォントを指定（空：デフォルト）
太字フォント	PDF 出力の太字フォントを指定（空：デフォルト）
印刷	
印刷でタグを表示しない	ON 印刷プレビューと印刷実行時にタグの表示を自動で OFF

編集

選択	
選択の削除	マウスや[Shift+方向]キーによる範囲選択の、[Del][BS]キーの押し下げや、「文字入力」「貼り付け」をカスタマイズ 標準 選択文字を削除 削除しない 選択を保つ Del で削除 [Del]で選択文字を削除 入力で削除 「文字入力」で選択文字を削除 Del と入力で削除 [Del]「文字入力」で選択文字を削除
段落カット・コピー	ON 選択を解除して「切り取り」「コピー」コマンドの実行で、カーソル段落の切り取り・コピーを実行 テキストスタックの TSCOPY、TSCUT コマンドは適用外
貼り付けのカーソル	移動しない 貼り付け後のカーソル位置を文字の先頭にセット
OLE ドラッグアンドドロップ	ON 選択文字列のドラッグアンドドロップで、他の箇所、ファイル、アプリケーションへ移動 OFF ドラッグアンドドロップ操作で選択を解除
テキストスタックの独立	ON テキストスタックとクリップボードを独立 OFF 連動
テキストスタック貼付	移動する テキストスタックの貼り付けでカーソルを文字の末尾へ移動 移動しない 貼り付け後のカーソル位置を文字の先頭にセット
整形	
自動整形	自動整形の動作モードを指定 行末余白 段落を「行末の半角空白」で認識 段落認識 段落を「行末の。」「短い行」の条件で認識
整形の折り返し	自動整形の折り返し幅を指定 [挿入]メニューの[水平線]コマンドの水平線の桁数にも

適用

キー

キー定義

規定の「Windows 標準」「VZ ライク」「MIFES ライク」「Emacs ライク」または「ユーザ定義」から選択
「ユーザ定義」を選択、「参照」クリックで規定のキー定義を元にカスタマイズ可能

ユーザ追加定義

ON 「参照」クリックでキー定義をユーザ追加、「キー定義」で選択したキー定義に上書き追加
「ユーザ追加定義」は「wzcfg://addkey.key」に保存
[(Shift+)Ctrl+Tab]と[(Ctrl+)Alt+Tab]のキー割り当てのカスタマイズには対応していません。

Alt キー定義をメニューより優先

ON メニューバーのアクセスキー[Alt+F][Alt+E][Alt+S][Alt+V][Alt+I][Alt+O][Alt+T][Alt+M][Alt+W]と重なるキー定義を、メニューバーより優先

縦書きでダイヤモンドキーを入れ替え

ON 縦書きの[Ctrl+S][Ctrl+D][Ctrl+E][Ctrl+X]キーの上下左右の移動方向を入れ替え

プロパティシートの[↓]でドロップダウン

ON 設定ダイアログの[↓]キーにドロップダウンボックスのオープン機能を割り当て
OFF [↓]キーに次項目への移動を割り当て、ドロップダウンボックスを開くには[Alt+↓]キーを押す

[PgUp]/[PgDn]キーで半画面移動

ON [PgUp][PgDn]キーで半画面移動
OFF 一画面移動

スクロールの加速開始

スクロールの加速行数

方向キーの加速

スクロールの加速を開始する[方向]キーの行数を指定
スクロール加速の行数を2以上で指定
高～低 [方向] [PgUp] [PgDn]キーのリピート速度を加速してカーソル移動速度を高速化、加速速度を「高」「中」「低」の3段階、リピート開始までの間隔を「普通」「小」「なし」から選択

方向キーの範囲選択

[Shift+方向]キーの選択単位を指定
Windows 標準 文字単位で選択
行／文字単位 上下キーで行単位、左右キーで文字単位で選択
段落／文字単位 上下キーで段落単位、左右キーで文字単位で選択

マウス

マウスカーソルを消す

ON キー入力でマウスカーソルを消す、マウス移動で表示を再開

マウスクリックでカーソル移動

マウスの範囲選択	ON マウスクリックによる WZ8 ウィンドウのアクティブで、クリックした位置へカーソルをジャンプ
	OFF カーソル位置を保存してアクティブ
マウスクリック	Windows 標準 標準の選択
	行／文字単位 マウスを上下に動かすと行単位、左右に動かすと文字単位の選択
マウスクリック	段落／文字単位 マウスを上下に動かすと段落単位、左右に動かすと文字単位の選択に切り替え
	標準 テキストの 3 回クリックに「段落選択」、4 回クリックに「すべて選択」を割り当て
ガイドヘルプの表示	2 回まで 3 回・4 回の割り当てを無効
	3 回まで 4 回の割り当てを無効
スクロールバーでカーソル移動	ON マウスでポイントした設定項目の説明を表示
	OFF スクロールバーの操作でカーソルを移動
スクロール速度	OFF カーソル位置を保存してスクロール
	文書表示領域内をドラッグして、ウィンドウの外部へマウスカーソルを移動すると自動スクロールする速度を 10 段階で指定
ホイールでカーソル移動	「0」最も低速～「9」最も高速
	ON ホイールのスクロール操作でカーソルを移動
Ctrl+ホイールでページ移動	OFF カーソル位置を保存してスクロール
	ON Ctrl+ホイールのスクロール操作でページ単位に移動
スクロール行数	OFF 表示のズームを実行
	0 または 標準 Windows の規定値でホイールスクロール
Shift+ホイール	1 以上 指定行数でホイールスクロール
	標準 Shift+ホイールで横方向にスクロール
	ページアップダウン Shift+ホイールで上下のページスクロール
検索	

検索文字の取得	取得しない 「検索ダイアログ」と「前を検索・次を検索」コマンドでの検索文字列の取得をしない
	単語と選択文字 「検索ダイアログ」でテキストの単語か選択文字を検索文字列として取得
	再検索で選択文字 「前を検索・次を検索」で選択文字を検索文字列として取得

対括弧の強調表示	単語／選択・再検索選択 「検索ダイアログ」と「前を検索・次を検索」コマンドで検索文字列を取得
	ON 対になる()<>[]{}<>を強調表示
検索マッチ文字列の表示	「開き括弧」に移動すると「閉じ括弧」、「閉じ括弧」に移動すると「開き括弧」を強調表示
	複数行 複数行にまたがる()も強調表示（離れた括弧やテキストの色分けて強調表示されない場合あり）
検索個数表示	標準 Windows 準拠キー定義の場合は選択
	VZ、MIFES、Emacs ライクキー定義の場合は通常表示
検索と絞込アウトラインの連動	反転表示 反転して表示
	選択 マッチした文字を選択
表示	ON 検索ダイアログの検索文字列の個数をリアルタイム表示。「文書のマッチ数（カーソル位置より前方のマッチ数/後方のマッチ数）」を「12 (5/7)」と表示
	選択中は、範囲内のマッチ数を「12」と表示
表示	ON 検索実行で絞込アウトラインも同時実行

色分け	
	色分け
スクロール	色分けスタイルの検索文字列、URL、コメント、引用、文字列、数値、変数名、演算子、予約語、予約語 2、タグ、属性の色を指定
	検索文字列、URL、引用、予約語、予約語 2、タグは装飾に太字と下線の組み合わせを指定可能
上スクロールマージン	上スクロールマージンの行数を指定
	カーソル位置が指定より上がるとスクロールして調整
下スクロールマージン	下スクロールマージンの行数を指定
	カーソル位置が指定より下がるとスクロールして調整
下スクロールの移動	「文字入力」と[方向]キーのカーソル移動のスクロールを指定
	通常 一行ずつスクロール
スクロールで全表示	半画面 画面の中央へカーソルを移動
	全画面 画面の上方（上マージン）へカーソルを移動
半端行は表示しない	ON 画面表示のスクロールで全表示を更新、表示速度が多少低下、スクロールの画面表示を改善する場合に使用
	OFF 推奨
	ON 画面下の半端行の表示を OFF、表示スタイルの

	「1 ページの行数」を指定した場合は半端行も表示
カーソルを画面中央に固定	
ジャンプ後カーソル	ON カーソル行が画面中央になるよう表示を調整 画面中央 検索やジャンプ後にカーソルを画面中央へ移動 画面 1/3～1/5 検索やジャンプ後にカーソルを画面 1/3～1/5 へ移動 通常 カーソルの移動を最小にして検索やジャンプ アウトラインジャンプ 先頭行 アウトラインのカーソル移動で本文を画面先頭から表示 画面中央 画面中央から表示します。 ピクセル単位の指定で、[Up][Down]キーとスクロールバーで、スムーズスクロール表示 「ページめくり OFF」の 1 段組の横書きと縦書きの文書に対応
スムーズスクロール	
PgUp/PgDn をスムーズ 行挿入/削除をスムーズ	ON [PgUp] [PgDn]キーでスムーズスクロール ON 編集による行の増減をスムーズに表示
ユーザフォント	
全角フォント	全角文字のフォントを指定 表示スタイルのフォントに「ユーザ 1～3」を指定すると、全角文字と半角英数字のフォントを個別に指定したユーザフォントで表示
半角フォント	半角英数字のフォントを指定（アクセント付きの半角英字も対象）
半角のサイズ	半角フォントのサイズを%指定 100%を指定すると全角フォントと同じサイズ 100%以上を指定すると全角フォントより大きく 100%以下を指定すると小さく表示
¥の表示	¥文字の表示を、全角／半角フォントから指定
挿入	

リサーチのキー

[↓]～[Alt+無変換]	なし 割り当てを OFF ↑ ↓ カーソルを上下に移動 カテゴリ ↑ ↓ カーソルを種類別に上下に移動 確定 本文に入力 閉じる 補完候補一覧を閉じる フォーカス 本文から補完候補へフォーカスを移動
[Enter][Shift+Enter]	なし 割り当てを OFF ルビ付きの確定 本文にルビ付きで入力 確定 本文に入力

先頭確定／ルビ付きの確定 本文から補完候補の先頭を入力／補完候補から本文にルビ付きで入力
先頭確定／確定 本文から補完候補の先頭を入力／補完候補から本文に入力

リサーチの選択

[F1]～[F12]	ON 本文から[F1]～[F12]キーで、補完候補の先頭から 12 番目の語句を入力
[数字]キー	ON 本文から[1]～[0]キーで、補完候補の先頭から 10 番目の語句を入力
[Ctrl+F1～F12 数字]キー	ON 本文から[Ctrl+F1]～[Ctrl+F12]キーまたは[Ctrl+1]～[Ctrl+0]キーで、補完候補の先頭から 12 番目または 10 番目の語句を入力
[Ctrl+P/Ctrl+N]	ON [Ctrl+N][Ctrl+P]キーで本文から補完候補一覧へ移動
[Alt]	ON [Alt]キーで本文から補完候補一覧へ移動
[Shift]	ON [Shift]キーで本文から補完候補一覧へ移動
IME が ON の文字入力で確定	ON IME が ON で候補一覧に文字入力すると、補完入力を確定 OFF 絞り込み
IME が OFF の文字入力で確定	ON IME が OFF で候補一覧に文字入力すると、補完入力を確定 OFF 絞り込み

リサーチの自動表示

リサーチ入力の自動表示	ON 起動時にリサーチ入力モードを ON リサーチ入力の ON/OFF の[半角/全角]キーへの割り当てを指定 なし 割り当てを OFF [半角/全角] このキーに割り当て Shift+[半角/全角] このキーに割り当て Ctrl+[半角/全角] このキーに割り当て
かな入力	指定文字数を超えるかな入力で、補完候補一覧の表示を OFF
英字入力	指定文字数を超える英字入力まで、補完候補一覧の表示を OFF
英字入力	指定文字数を超える英字入力で、補完候補一覧の表示を OFF
待ち時間後に自動表示	0 自動の補完候補の一覧表示を OFF 数値 リサーチ入力モード OFF でキーボードから文字入力後、指定のミリ秒（1000 ミリ秒=1 秒）後に自動

で補完候補一覧を表示	
リサーチの表示	
候補一覧の常時表示	ON 補完入力確定後も補完候補一覧を表示
元の文字列を先頭に表示	ON 補完候補一覧の先頭に入力した文字列を表示 OFF 末尾に表示
幅	補完候補一覧の表示の幅を文字数で指定
高さ	補完候補一覧の表示の高さを行数で指定
余白	補完候補一覧とカーソル行の余白を指定
フォントの指定	ON 補完候補一覧のフォントとサイズを指定
フォント	補完変換候補一覧のフォントを指定
フォントサイズ	補完変換候補一覧のフォントサイズを指定
リサーチの色分け	
文字の色分け	ON 補完候補一覧の文字列を色分け表示 予約語、"文字列"、数値、HTML タグと属性、TeX コマンド
背景の色分け	ON 補完候補一覧の種類別に背景色を色分け表示 英語、日本語、全角カタカナ、プログラムスタイル、タグスタイル
英語	英単語、空白とハイフン区切りの英単語の背景色を指定
日本語	漢字、ひらがなの日本語単語の背景色を指定
カタカナ	全角カタカナの語句の背景色を指定
プログラム	英単語+()の構文、case+::の構文の背景色を指定
タグ	HTML タグ、CSS アトリビュート、TeX コマンドの背景色を指定
ファイル名	ファイル名の補完候補の背景色を指定
IME	
[Shift+Enter]のフック	ON IME が ON の[Shift+Enter]で、確定前のローマ字入力の英数字記号を確定入力
[Ctrl+Enter]のフック	ON IME が ON の[Ctrl+Enter]で、確定前のローマ字入力でタグと HTML のオートフォーマットを実行
[Ctrl+Space]のフック	ON IME が ON の[Ctrl+Space]でリサーチ入力を実行
WZ ime のキー	
[半角/全角]で ON/OFF	WZ ime の[半角/全角]キーへの割り当てを指定 なし 割り当てを OFF [半角/全角] このキーに割り当て Shift+[半角/全角] このキーに割り当て Ctrl+[半角/全角] このキーに割り当て
[変換]で再変換	ON IME が OFF の[変換]キーに WZ8 の再変換機能を割り当て OFF IME の[変換]キーの割り当てを有効

ユーザキー定義

[x]の入力

[l]の入力

ユーザ定義

入力規則

大文字と小文字を区別

かな入力

ON WZ ime の変換のキーを「ユーザキー定義」で割り当て。キー割り当ての指定は「参照」で実行
「ユーザキー定義」は「wzcfg://wzime.key」に保存
[カタカナ ひらがな]キーのカスタマイズには不対応

小文字 ローマ字[x][a]の入力で小文字の「あ」を入力
ん ローマ字[x]の入力で「ん」を入力
ー ローマ字[x]の入力で「ー」（長音）を入力
「ユーザ定義」を ON にするとこの指定は無効

小文字 ローマ字[l][a]の入力で小文字の「あ」を入力
ラ行 ローマ字[l][x]の入力で「ラ」を入力
なし 入力規則のユーザ定義を無効、WZ ime 規定のローマ字入力を有効
追加 入力規則で指定したローマ字入力を追加、「[x]の入力」の指定は無効

フルカスタマイズ WZ ime 規定のローマ字入力を無効、入力規則の指定に置き換え、「[x]の入力」「[l]の入力」の指定は無効
ユーザ定義のローマ字入力を指定
「ローマ字=かな」の書式を空白で区切って複数指定可能
「ローマ字」には、任意の英字と記号を指定
「かな」には、任意のかな・漢字・記号・英字を指定
「;=ん」「q=ー」「ti=てい」「tu=とう」「>a=入力文の指定」

●テキストファイルで指定するには、入力規則に「file://」に続けてファイル名をフルパスまたは標準フォルダ基準の相対パスで指定
(例)「file://c:\¥roma.txt」「file://roma.txt」
「ローマ字=かな<空白>」「ローマ字<タブ>かな<改行>」の指定に対応、行頭のタブ入力でコメントアウト

●テキストファイルのサンプル「wz://roma.tsv」
サンプルを開くには、[ファイル]メニューの[開く]-[オープンボックス]を実行、「wz://roma.tsv」を入力、OK
●テキストファイルの変更をローマ字入力に反映するには、[ツール]メニューの[環境設定]を実行、OK
ユーザ定義を ON にしたときの英字入力の大文字と小文字を区別する／しないを指定

ON WZ ime の[Shift+英字]キーによる英字入力の機能も OFF
ON かなキーによる入力
OFF ローマ字かな入力

WZ ime の表示	
高さ	変換候補一覧の表示高さを行数で指定
余白	変換候補一覧とカーソル行の余白を指定
フォントの指定	ON 変換候補一覧のフォントを指定
フォント	変換候補一覧のフォントを指定
フォントサイズ	変換候補一覧のフォントサイズを指定
テキストの語句の取得	ON テキストから同音異義語の順位を取得 OFF テキストに関わらず同一の変換候補一覧を表示

アウトライン

見出しのプレビュー	ON アウトラインのマウスフォーカスで本文先頭部を表示
アウトライン編集の連番	ON アウトライン編集の[Enter]の見出しを連番で作成

ツール

VZ ライク	
高速スクロール	VZ98 VZ98 ライクの高速スクロールを実行 [PgUp][PgDn]キーでスクロールを開始 [Esc]が開始したキーを押すまでスクロールを続行 [Shift]キーで最高速度スクロール [Space]キーで一時停止、再度[Space]キーで再開 [0]～[9]キーでスクロール速度を変更 [0]が最速、[1]が最遅、[2]～[9]の順で早くなる
自動スクロール	ON 「LYTOP」「LYEND」コマンドの連続実行で自動スクロール
タイトルサーチ	ON 「ページングモード」で見出し検索

ウィンドウ

位置	
前回終了時の復元	復元する 「終了」で閉じたファイルやツールを開く (ファイルを2つ以上開いていた場合に復元) 復元しない 「無題」を開く ツールのみ復元 ツールのみを復元
ウィンドウサイズの記憶	ON WZ8 のウィンドウサイズの変更を記憶 OFF 次回起動時に標準サイズに戻す

ウィンドウの幅	WZ8 や Text-C アプリケーションのウィンドウの幅を指定 ディスプレイの幅の%指定や末尾に C を付けた文字単位で指定
ウィンドウの高さ	アプリケーションのウィンドウの高さを指定。ディスプレイの高さの%指定や、末尾に L を付けた行単位で指定
最前面に表示	ON WZ8 を最前面に表示。設定は次の起動から有効

表示

WZ の常駐	ON タスクトレイに WZ のアイコンを常駐、WZ アイコンのダブルクリックや右クリックでメニューを表示 OFF WZ の常駐を解除します。
WZ 終了前の確認	ON すべてのタブのクローズで終了の問い合わせ OFF 問い合わせをしないで終了

メッセージボックスのビープ音	ON 問い合わせや情報ボックスの表示で Windows のコントロールパネルで設定したビープ音を発生 OFF ビープ音を発生しない
-----------------------	--

Windows テーマを OFF	ON Windows のビジュアルスタイルの表示を OFF、クラシックスタイルで表示、Windows XP で WZ8 のチェックボックスが表示されない場合に使用 OFF 推奨
-------------------------	---

アンフォーカスのカーソル表示	ON フォーカスのないテキストのカーソル位置を表示
-----------------------	---------------------------

ウィンドウ一覧のファイルプレビュー	ON 「ウィンドウ一覧」にテキスト先頭部をプレビュー表示
--------------------------	------------------------------

アウトラインを追加して表示	ON アウトライン表示でウィンドウを拡張本文の表示領域を保つ
----------------------	--------------------------------

ワイドアウトラインを追加して表示	ON ワイドアウトラインでウィンドウ拡張本文の表示領域を保つ
-------------------------	--------------------------------

例外発生フック	ON アプリエラーをフックして WZ8 を終了せず続行 OFF アプリエラーで終了 (設定変更は次の起動から有効)
----------------	---

タブ

タブの配置	タブの表示位置を「上下左右」から指定
SDI 表示	OFF ファイルをタブで開く

	ON ファイルを新しいウィンドウで開く (WZ8 の一部の動作を変更、「SDI 表示のカスタマイズ」を参照) エクスプローラ で ON 関連付けの起動で新しいウィンドウを開く
保存前の太字表示 縦 1 段組の表示	ON 書き換えた保存前の文書のタブを太字で表示 ON タブを 1 行で表示 OFF タブを折り返して複数行で表示 表示する タブを表示 隠す タブの一部を表示 表示しない タブの表示を OFF ([ウィンドウ]メニューの[ウィンドウ一覧]で文書を切替)
タブの表示	標準 アクティブなタブに[X]を表示 なし タブの[X]の表示を OFF すべてのタブ すべてのタブに[X]を表示 右端 タブバーの右端にアクティブタブを閉じる[X]を表示
ツールビュー	ツールビューの表示を下側に横長で表示する「横分割」、左側に縦長で表示する「縦分割」を指定
ツールタブの配置	ツールビューのタブの表示位置を、「上下左右」から指定
メニュー	
アクセスキーの表示	WZ8 標準 メニューとダイアログのアクセスキーを色分けの「F」と表示 Windows 標準 アクセスキーを下線付きの「(F)」と表示 表示しない アクセスキーの表示を OFF
メニューバー	表示しない WZ EDITOR のメニューバーを消す 英語で表示 メニューバーを英語表記で表示 ユーザ定義 ユーザ定義のメニューを表示 メニューを編集するには、「参照」をクリック メニュー定義は「wzcfg://mymnu.mnu」ファイルを作成
追加表示	メニューバーに追加表示するステータスツールを指定 指定するには「参照」をクリック、一覧からツールをチェック (文字数カウント、文書のステータス、タイマなどを提供)
右クリックにメニューバーの追加	ON 右クリックメニューに標準のメニューバーのコマンドを追加
ツールバー	表示しない WZ EDITOR のツールバーを消します。 ユーザ定義 ユーザ定義のツールバーを表示

追加表示	ツールバーを編集するには、「参照」をクリック ツールバーの定義は「wzcfg://mybtn.btn」ファイルで作成。 ツールバーに追加表示するステータスツールを指定。 指定するには「参照」をクリック、一覧からツールをチェック
右クリックにツールバーの追加	ON 右クリックメニューに標準のツールバーのコマンドを追加
ステータスバー 表示内容	表示しない WZ8 のステータスバーを消す ステータスバーに表示するステータスツールを指定 指定するには「参照」をクリック、一覧からツールをチェック (文字数カウント、文書のステータス、タイマなどを提供)
ファンクションキー	ON ファンクションキーのコマンド割り当てをステータスバーの上に表示 (キー定義に文字列指定が必要)
タイトルバー	表示しない WZ EDITOR のタイトルバーを消す 普通 「c:\doc¥text.txt - WZ8」形式で表示 標準 「text.txt - WZ8 / c:\doc」形式で表示
エディタの名前	タイトルバーの「WZ8」に付加する任意の名前を指定 複数セットアップの WZ 環境に個別の名前を指定可能
メニューのフォントを指定	ON メニューとダイアログを指定フォントで表示 メニューとダイアログのフォント名を指定
メニューフォント メニューフォントサイズ	メニューとダイアログのフォントサイズを指定
リストボックスのフォントを指定	ON リストボックスを指定フォントで表示
リストボックスフォント	リストボックスのフォント名を指定
リストボックスフォントサイズ	リストボックスのフォントサイズを指定

ダイヤルアップ接続

接続先	「インターネット検索」や「Textc Mail」の、ダイヤルアップによるインターネット接続先を指定
送受信完了	ダイヤルアップ接続の通信終了の動作を「接続を続ける」「切断する」「問い合わせる」から指定

音声化

音声化

「XP Reader」（株式会社システムソリューションセンターとちぎ）による、音声化の ON/OFF を指定。設定変更後に WZ8 の再起動が必要

WZ8 の音声化

WZ8 を「XP Reader」で音声化すると、下記のキー操作が追加されます。	
↑・↓	行を移動して移動先の行を読み上げ
←・→	一文字移動して移動先の文字を読み上げ
Shift+Down, Up, Left, Right	選択する
Ctrl+Left	一語左へ移動して移動した語句を読み上げ
Ctrl+Right	一語右へ移動して移動した語句を読み上げ
Insert	挿入／上書きモードを切り替え、モードを読み上げ
Delete	「削除」と「カーソル文字」を読み上げて、削除 選択時は「削除」と「範囲内」を読み上げて、範囲内を削除
Backspace	「後退」と「削除する文字」を読み上げて、削除 選択時は「削除」と「範囲内」を読み上げて、範囲内を削除
Ctrl+F	音声付きの検索
Ctrl+Alt+H	カーソルの文字を読み上げ
Ctrl+Alt+L	カーソル行と桁数を読み上げ
Shift+Ctrl+Alt+K	前の句点へ移動して次の句点まで読み上げ
Ctrl+Alt+K	次の句点へ移動して次の句点まで読み上げ
Shift+Ctrl+Alt+D	前の読点へ移動して次の読点まで読み上げ
Ctrl+Alt+D	次の読点へ移動して次の読点まで読み上げ
Shift+Ctrl+J	行頭からカーソル位置まで読み上げ
Shift+Ctrl+L	カーソル位置から行末まで読み上げ
Shift+Ctrl+I	一行上の行を読み上げ
Shift+Ctrl+P	一行下の行を読み上げ
Shift+Ctrl+B	一行上の段落先頭へ移動して段落を読み上げ
Shift+Ctrl+M	一行下の段落先頭へ移動して段落を読み上げ
Ctrl+Alt+F	音声付きの文字種類「全角カタカナ」「半角カタカナ」「全角英文字」「半角英文字」「漢字」の検索 指定の文字種へジャンプして行を読み上げ
Shift+Ctrl+K	現在行の読み上げ
Shift+Ctrl+U	現在段落の読み上げ
Ctrl+Up	現在段落を読み上げて段落の先頭に移動 段落の先頭の場合は、前の段落へ移動
Ctrl+Down	現在段落を読み上げて次の段落の先頭に移動

文書設定

文書設定は、「日本語文書」「プログラム」「HTML」などのテキストファイルに合わせて設定します。

ファイル拡張子単位で、「txt=日本語文書」「c=プログラム」「htm=HTML」のようにデフォルトの文書設定を割り当てることができます。

デフォルトの文書設定

WZ8 では、下記の文書スタイルが標準で登録されています。

テキスト	txt ファイル（WZ8 標準のテキスト形式） 下記に記述のないファイル拡張子にも適用 《》のルビ、青空文庫の装飾と体裁（関連付け拡張子なし）
青空文庫テキスト	— ^ 親文字（ルビ） ^ —、JIS 形式に対応（関連付け拡張子なし）
JIS テキスト	— ^ 親文字（ルビ） ^ —、JIS 形式に対応（関連付け拡張子なし）
PDF Book	PDF Book は WZ8 で編集、Reader で閲覧が可能
脚本	scr ファイル
HTML テキスト	htm・html・shtml・xml ファイル
タブ区切りテキスト	tsv ファイル（表計算データファイル）
CSV テキスト	csv ファイル（表計算データファイル）
TeX テキスト	tex ファイル（TeX 用のファイル）
C プログラム	c・h・cpp・cs・txc ファイル
JAVA プログラム	java・js ファイル
PHP プログラム	php ファイル
Python プログラム	py ファイル
その他のプログラム	asm・bas・css・for・hsp・ini・lisp・mscr・pas・pl・ruby・sql・vhdl ファイル
メールテキスト	mail ファイル（自動整形が ON のメール編集用）
Word テキスト	Microsoft Word で作成してテキスト形式で保存した文書 ルビを（）で表記（関連付け拡張子なし）
ボード文書	mem ファイル（WZ Board 専用）
日本語辞書	ime ファイル（WZ ime のユーザ定義辞書ファイル）
体裁文書	txz ファイル（WZ6 の体裁文書）
TML 文書	tml ファイル（WZ5/WZ4 の TML ファイル）

文書スタイルの切り換え

ファイル単位で文書スタイルを切り替えるには、
・[ファイル]メニューの[文書設定の一覧]を実行
・一覧でスタイルを選択して OK

切り替えたスタイルは、ファイルのプロファイルに記憶されます。
ファイル単位で専用の文書スタイルを使用するには、
・[ファイル]メニューの[文書設定の一覧]を実行

- ・一覧から、先頭の「専用設定」を選択して OK
- 専用設定の設定内容はファイルのプロファイルに記憶され、他の文書スタイルと混ざることなくファイル専用の設定として使用できます。

拡張子と文書スタイルの関連付け

- 拡張子の文書スタイルの割り当てを変更するには、下記の操作をおこないます。
- ・拡張子のファイルを開く
 - ・[ファイル]メニューの[文書設定の一覧]を実行
 - ・一覧から、関連付ける文書スタイルを選択
 - ・「XXX を登録」をクリックして OK
- 割り当てを解除するには、下記の操作をおこないます。
- ・[ファイル]メニューの[文書設定の一覧]を実行
 - ・一覧から、解除する拡張子を選択
 - ・「登録解除」をクリックして OK

専用設定

[ファイル]メニューの[専用設定]メニューから「箇条書き認識」「桁揃え認識」などを実行すると、現在の設定をファイル専用の設定として、指定の設定を実行します。

ファイル

開く

- | | |
|-----------------|--|
| カーソルの復帰 | なし（先頭を表示） ファイルを開くと先頭を表示
あり ファイルを閉じたカーソル位置を復帰
10MB を超えるファイルは先頭を表示
あり（強制） ファイルを閉じたカーソル位置を復帰 |
| 折りたたみ表示 | C 言語ブロック { } と #if-#else-#endif で折りたたむ
#if 0 をたたんで開く 「#if 0」「if FALSE」のブロックを折りたたんで開く
見出し 見出し単位で折りたたむ |
| 標準の表示設定 | デフォルトの表示スタイルを指定 |
| 標準の段落設定 | デフォルトの段落スタイルを指定 |
| 標準の色分け設定 | デフォルトの色分けスタイルを指定 |
| 標準の印刷設定 | デフォルトの印刷スタイルを指定 |

保存

- | | |
|----------------|---|
| 自動ファイル名 | 無題のテキストの「上書き保存」のファイル名の自動作成の書式を指定。▼のクリックで表示される「ファイル名の自動決定」ダイアログから書式を選択
ファイル名は「原稿 100901.txt」のように文字列と日付の組み合わせで作成
名前の重複は「原稿 100901~1.txt」のように連番で回避
書式のカスタマイズは、「ファイル名の自動決定」ダ |
|----------------|---|

- イアログの「編集」「追加」「削除」で操作
%text1,%title を含まない場合は、「名前を付けて保存」もファイル名を自動作成

上書き保存前にさかのぼる

- ON アンドゥで上書き保存前にさかのぼる、世代履歴は無効
OFF アンドゥで上書き保存前にさかのぼらない、世代履歴が有効

カタカナの変換

- 上書き保存のカタカナの変換を指定、文書サイズ 2MB 以上は速度確保のため変換処理をスキップ
変換しない 変換しないで保存
半角を全角に変換 半角を全角に変換して保存
全角を半角に変換 全角を半角に変換して保存

行末の空白を除去

- ON 行末の半角空白、全角空白、タブを削除して保存、文書サイズ 2MB 以上は速度確保のため変換処理をスキップ

タブをスペースに変換

- ON タブを空白文字に変換して保存、文書サイズ 2MB 以上は速度確保のため変換処理をスキップ

文字コードと改行コード

- EUC/LF 文字コード EUC、改行コード LF で保存
SJIS/CRLF 文字コード シフト JIS、改行コード CR+LF で保存

段落認識

タグの認識

- 文字装飾やルビのテキストタグを指定
なし 文字装飾なしのプレーンテキスト
青空文庫 青空文庫
JIS WZ 標準の JIS 規定のルビや文字装飾
TeX TeX のコマンド
Word Word の () によるルビ
WZ ime 辞書 WZ ime のユーザ辞書
体裁文書 (WZ6) WZ6 の体裁文書
TML 文書 (WZ5) WZ5/WZ4 の TML 文書
任意に指定 テキストタグの記号を任意に指定

字下げ認識

- 行頭タブ 段落先頭のタブ文字で字下げ表示（折り返しの 2 行目以降も字下げ表示）
行頭タブか空白 タブと半角空白で字下げ表示
なし 字下げ表示しない

桁揃え認識

- 文中タブ 段落内のタブで前後の行と桁位置を揃えて表示
タブが 1 個の段落は、タブまでを小見出しとして表示（折り返しは字下げ表示）
タブが 3 つ以上の段落は、1 行で表形式で表示

	表示スタイルの「タブの文字数」は段落先頭のタブのみに適用
	文中タブ（強制） 3MB を超えるファイルも桁揃え表示
	カンマ 段落内のカンマで前後の行と桁位置を揃えて表示
	カンマ（強制） 3MB を超えるファイルも桁揃え表示
	なし 桁揃え表示なし
	TSV すべての段落をタブで桁揃え表示
	CSV すべての段落をカンマで桁揃え表示
箇条書き認識	段落先頭の「・」や「1. 1. (1) [1] (1) ①」を箇条書き認識表示（折り返しの2行目以降を字下げ表示）
箇条書き文字	[Enter]で新規の箇条書き段落を作成 箇条書き認識する記号を指定 空はデフォルト「・◇◆□■●○○☆★※\$」
会話文認識	「」 人物名「せりふ」の段落を会話文として認識 全角空白 全角空白を含む段落を会話文として認識、空白までを「人物名」、空白以降を「せりふ」と認識
図の認識	テキストの"ファイル名"指定による図の認識を指定 「テキスト」は、図の認識は ON 「HTML テキスト」「TeX テキスト」では、図の認識は OFF
段落スタイル認識 1～6	指定文字列で始まる段落を、段落スタイルとして認識 正規表現は先頭に^を付けて指定
テキストタグ（WZ6）	
配置認識	段落先頭の記号の文字列を認識して段落を中央揃えや右揃え表示
中央揃え	配置認識で中央揃えする記号を指定（¥t でタブを指定可能）
右揃え	配置認識で右揃えする記号を指定（¥t でタブを指定可能）
太字／下線／斜体始め～	文字装飾を開始するタグを指定
～太字／下線／斜体終り	文字装飾を終了するタグを指定
改段	改段に用いるテキストタグを指定
文字属性 1～6 始め～	文字属性 1～6 を開始するタグを指定
～文字属性 1～6 終り	文字属性 1～6 を終了するタグを指定
編集	

カーソル	
オートインデント	段落先頭のタブや半角空白の字下げを、[Enter]の新規段落に引き継ぐ／引き継がないを指定 C インデント タブの字下げと、{ } で自動字下げ 全角空白も 全角空白も引き継ぐ 全角空白 1 文字 全角空白 1 文字で新しい段落を開始 あり カーソルを改行の後方へ移動可能 文字入力すると、カーソル位置まで空白を挿入して入力 なし カーソルを改行で停止 あり（疑似） カーソルを改行の後方へ移動可能 文字入力すると、改行位置に入力
フリーカーソル	
←[→]キーで行移動しない	ON ←[→]キーで行端まで移動すると停止 OFF 前後の行へ移動
[Tab]キーでスペースを入力	ON [Tab]キーでタブ文字数分の半角スペースを挿入 「字下げ」設定が「行頭タブ」の場合は、行頭ではタブを入力
挿入	
補完候補の取得	
見本テキスト 1	WZ ime の変換とリサーチ入力 of 補完 of、見本文書ファイル 1 を指定 通常の文書ファイルを指定（WZ が単語を自動解析）
見本テキスト 2	WZ ime の変換とリサーチ入力 of 補完 of、見本文書ファイル 2 を指定 通常の文書ファイルを指定（WZ が単語を自動解析）
単語補完辞書 1	補完候補を文書スタイルの「単語補完辞書 1」から検索
単語補完辞書 1	リサーチ入力 of ユーザ定義 of 補完辞書を指定 通常の文書 or プログラムファイル of 指定に対応 「補完候補 of 取得」 of 「単語補完辞書 1」 of ON も必要
単語補完辞書 2	補完候補を文書スタイル of 「単語補完辞書 2」から検索
単語補完辞書 2	リサーチ入力 of ユーザ定義 of 補完辞書を指定 通常の文書 or プログラムファイル of 指定に対応 「補完候補 of 取得」 of 「単語補完辞書 2」 of ON も必要
編集 of 中のテキスト	補完候補を編集 of 中の文書から検索

サンプル辞書	HTML ファイルと TeX ファイルの補完候補を、WZ8 規定のサンプル辞書から検索
Text-C API	補完候補を Text-C のヘッダファイルから検索して、Text-C の API 名を補完入力 「ブロック内容の表示」で、API のドキュメントを表示 「sam」から補完を実行するとサンプルプログラムを構文入力 「if」「for」「macro」「func」を構文入力
Windows API	補完候補を WindowsAPI 名と定数の定義ファイルから検索
最近補完入力した文字列	補完候補を「最近補完入力した文字列」から検索
最近使用した文字列	補完候補を「最近使用した文字列」から検索
スペルチェック辞書	補完候補を英単語のスペルチェック辞書から検索
補完候補の表示	
スタイル入力	プログラムブロック・HTML タグ・TeX コマンドのリサーチ入力
ローマ字入力の日本語	ローマ字表記の英語入力から日本語語句の補完入力
ローマ字入力の WZ ime	ローマ字表記の英語入力から WZ ime の変換候補表示
大文字と小文字を区別	英字の大小文字を区別して検索
単語の途中にマッチ	ON 入力文字が途中に含まれる単語を検索（スタイル入力は未対応） OFF 入力文字から始まる単語を検索
WZ ime の辞書	
国語辞書 1	WZ ime に追加する、ユーザ定義の日本語辞書ファイル 1 を指定
国語辞書 2	WZ ime に追加する、ユーザ定義の日本語辞書ファイル 2 を指定
脚注	
脚注	なし 脚注なし 章末脚注 見出しの末尾に脚注を入力 文書末脚注 文書の末尾に脚注を入力 見出し 1 末脚注～見出し 5 末脚注 「見出し 1」～「見出し 6」の末尾に脚注を入力
文中の記号	本文に入力する脚注番号の記号を指定 任意の記号列と半角か全角数字の 1 を指定 (数字は通し番号に置き換え、0 1 の指定で 10 未満の番号は 0 を補完して 2 桁)
注の見出し	章末や文書末に入力する脚注先頭の記号を「文中の記号」と同様に指定

アウトライン

見出しの認識

見出し認識

WZ 標準 行頭の半角ピリオドを見出し認識

HTML HTML の<h1>～<h6>を見出し認識

指定 見出し 1～6 を任意に指定

「テキスト」文書は、「WZ 標準」で固定

見出し 1～6 の見出し文字列を指定

指定した文字列で始まる段落を見出しと認識

C 言語・C++・Java の関数定義の認識は「^C 関数定義」を指定（未対応の関数の表記あり）

シナリオの「柱」の認識は「^シナリオ」を指定（行頭の○●◎□■△▲を認識）

正規表現による見出し認識は「^正規表現」を指定（() でタグを記憶すると、アウトラインにタグを表示）

Text-C プログラムによる認識は後述

行頭がタブで始まり半角ピリオドが続く段落を見出しとして認識

作成日・更新日を見出しの末尾に付加

「アウトライン」「WZ Board」で、「未整理」「ごみ箱」フォルダを作成する見出し番号を指定

タブ付きの見出し認識

日付の追加

未整理の見出し

目次の自動作成

序文

目次に出力するタイトルや説明文を指定（¥n で改行 ¥t でタブを指定可能）

目次に出力する見出し

目次に出力する見出しレベルを指定（すべて、見出し 1 まで～見出し 5 まで）

見出し 1～6 前置文字列

見出し 1～6 の見出し名の前に目次に出力する文字列を指定（¥n で改行 ¥t でタブを指定可能）

見出し 1～6 後置文字列

見出し 1～6 の見出し名の後に目次に出力する文字列を指定（¥n で改行 ¥t でタブを指定可能）

ページ数を出力

ページ数増減

ON 見出し名と、タブと見出しのページ番号を出力
出力するページ番号の増減値を指定

ウィンドウ

外部ヘルプ 1～4

「ウィンドウ」メニューの「外部ヘルプ 1～4」で参照する hlp ファイルやテキストファイルを指定

http://の URL の指定で、ブラウザを起動し WEB で検索実行（URL には検索語を含める箇所をシフト JIS

<find sjis>、EUC<find euc>、UTF-8<find utf>で指定）

例 http://www.url.jp?q=<find sjis>

表示設定

表示設定では、一行の折り返し文字数、表示フォント、各種表示オプションを指定します。

スタイルの選択

WZ8では「標準」「縦書き」「原稿用紙」「見開き」「雑誌原稿」などの用途に応じた表示スタイルがデフォルトで登録されています。デフォルトのスタイルから選択するには、[表示]メニューの[表示設定の一覧]を実行、一覧から選択、表示を確認、OKを実行します。

下記の表示スタイルが標準で登録されています。

標準	横書きの表示スタイル
縦書き	縦書きの表示スタイル
縦書き 20*20 (原稿用紙)	原稿用紙の表示スタイル
縦書き 40*40 (見開き)	本の見開きの表示スタイル
縦書き 40*40	40 文字×40 行の縦書きの表示スタイル
横書き 2 段	横書き 2 段組の表示スタイル
雑誌原稿	一行文字数が少ない 3 段組の表示スタイル
プログラム	プログラムファイルや HTML ファイルの表示スタイル
タブ区切りテキスト	表形式データの表示スタイル
メール	折り返しごとに改行されたメールの表示スタイル
レター	手紙の表示スタイル
俳句帳	俳句を数首並べる表示スタイル
ヘルプ	WZ8 ヘルプの表示用のスタイル
コントロール	WZ8 のリストボックスなどの表示用のスタイル

専用設定メニュー

[表示]メニューの[専用設定]メニューから「縦書き」「文字組版」などを実行すると、現在の設定をファイル専用の設定として、指定の設定を実行します。

横書きと縦書きの同時表示

WZ8 では、縦書きと横書きを同時に表示した編集に対応しています。下記の操作をおこないます。

- ・[ウィンドウ]メニューの[多重化 別ウィンドウ]を実行。文書が 2 つのタブで表示されます
- ・それぞれのタブで表示スタイルを切り換えます

編集

カーソル

挿入の形状	挿入モードのカーソルの形状を指定 「標準」を指定すると「キー定義」の規定値で表示
-------	---

上書きの形状

カーソルの表示

上書きモードのカーソルの形状を指定
「標準」を指定すると「キー定義」の規定値で表示
カーソルを「点滅する／しない」と、IME の ON/OFF によるカーソル形状の変更を指定

標準 カーソルを点滅、カーソル形状の変更なし
点滅なし カーソルの点滅なし、カーソル形状の変更なし

IME に連動 カーソルを点滅、カーソル形状を変更
IME に連動 2 カーソルを点滅、カーソル形状を変更 (パターン 2)

IME 連動+点滅なし カーソルの点滅なし、カーソル形状を変更

IME 連動 2+点滅なし カーソルの点滅なし、カーソル形状を変更 (パターン 2)

マウスカーソルの形状

テキスト表示領域のマウスカーソルの形状を、「I ビーム」「矢印」から指定

表示

文字数

1 行の文字数 一行に表示する文字数を指定 (半角文字単位)
プロポーションナルフォントは、「半角文字の平均幅」の単位で指定

折り返し 一行の折り返し表示を指定
指定文字数 「1 行の文字数」の指定位置で折り返し
画面右端 ウィンドウの横幅で折り返し

なし 一段落を一行として表示
字間 文字間の余白をピクセル単位や「0.2c」の文字単位で指定
負の値を指定すると文字間隔を詰める

右マージンを表示 ON 折り返し位置に縦線を表示
バーチカルラインを表示

ON カーソル桁に縦線を表示。カーソル移動の都度に表示更新するため、表示速度がやや低下
タブの文字数 タブの文字数を指定

文字罫線を表示 ON 原稿用紙や指定位置に文字罫線を表示
「MS 明朝」「MS ゴシック」「MS UI Gothic」「FixedSys」などの固定ピッチフォントのみに対応

文字罫線の位置指定 ON 「文字罫線の位置」の指定箇所に罫線を表示
OFF 原稿用紙用の罫線を表示

文字罫線の位置 文字罫線の表示位置を「0 16 32」のように半角文字単位で指定

段組 段間 先割り	段組数を指定（「2」を指定すると横2段組で表示） 段組間の余白を設定 文書先頭部分の折り返しを「任意の幅×行数」の組み合わせで指定。「1行の文字数（半角）×行数」をカンマ区切りで複数指定。（例）70*6,36*16,44*20,30*12	和文と欧文の余白調整 約物の余白調整	ON 和文と欧文の間に四分の自動余白表示 ON 連続する全角括弧・句読点・中黒・中点の余白を自動調整 行の先頭の「の余白表示を指定
縦書き 縦書き 縦中横	ON 縦書き表示 OFF 横書き表示 なし 半角文字も縦組み表示 2桁 「2桁の半角数字」と感嘆符「!!」「!?!」「?!」「??」を横組み表示 全角内の2桁 全角文字には含まれた「2桁の半角数字」と感嘆符「!!」「!?!」「?!」「??」を横組み表示 1桁と2桁 「1桁と2桁の半角数字」と感嘆符「!!」「!?!」「?!」「??」を横組み表示	行頭の括弧	二分アキ/アキなし 段落先頭は1/2余白、折り返し先頭は余白 全角アキ/アキなし 段落先頭は1字余白、折り返し先頭は余白 全角半アキ/二分アキ 段落先頭は1字半余白、折り返し先頭は1/2余白 アキなし 段落先頭・折り返し行頭ともに余白なし 禁則処理を指定（文字組版 OFF に適用） あり 追い出し、句読点をぶら下げ 句読点も追い出す 追い出し、句読点も追い出し できるだけ文字数を増やす 追い込み、句読点も追い込み
全角記号の回転	縦書き表示で90度回転する全角の記号を指定 （例）「<>《》—；” ’」	禁則	
フォント フォント	テキストを表示するフォントを指定 プロポーショナルは、「MS P ゴシック」「MS P 明朝」「メイリオ」を指定 固定ピッチは、「MS ゴシック」「MS 明朝」「FixedSys」を指定 WindowsXPでハングル文字を表示するには、「MS UI Gothic」を指定（「MS ゴシック」では表示されない） フォントサイズを指定	英字禁則	ON 英単語（半角）が途中で折り返される場合は、次行へ追い出し
フォントサイズ 太字表示	ON 文字を二重に描画して太字表示 行頭の文字が欠ける場合に改善するには、「太字フォント」を ON、または環境設定の「スクロールで全表示する」を ON 隣接文字と重なる場合に改善するには、「余白」の「字間」を1以上に設定	行頭禁則	ON 行の先頭に配置しない文字を禁則処理（文字組版 ON に適用）
太字フォント イタリック 音引記号の連結表示	ON 英字をイタリック体で表示 ON 連続する音引記号—（シフト JIS 0x815c）を連結表示	行末禁則	ON 行の末尾に配置しない文字を禁則処理（文字組版 ON に適用）
ダイレクト描画	OFF 推奨 ON メモリ DC を経由せず画面 DC に直接描画 「プロポーショナルフォントの重なり」「画面表示のちらつき」が発生する場合あり	分割禁止禁則	ON 折り返しを調整して、連続する下記のハイフン記号を一行内で表示（組版 ON に適用） — — …… 数字と%の連続（100%）も一行内で表示（文字組版 ON に適用） なし 句読点の禁則処理をしない ぶら下げ 行末の句読点をぶら下げ 追い出し 行末の句読点が行内に納まらない場合は次行に追い出し、句読点のぶら下げはしない
組版 文字組版	ON 余白調整の文字組版表示を実行	句読点の禁則	
		行頭禁則文字	行の先頭に配置しない文字を指定 （文字組版 ON では規定の行頭禁則文字に追加）
		行末禁則文字	行の最後に配置しない文字を指定 （文字組版 ON では規定の行末禁則文字に追加）
		句読点	禁則処理の句読点を指定（文字組版 OFF に適用）
		行数	
		1ページの行数	一ページの行数を表示行単位で指定 空欄か0を入力すると指定を解除 「行番号を表示」を ON、「行番号の種類」を「表示行」に設定すると、画面の左側にページ数と行数を表示 行間の余白をピクセル単位や「0.2L」の行単位で指定
		行間	

行番号の色	行番号の表示色を指定
アンダーラインの色	アンダーラインとバーチカルラインの表示色を指定
枠と罫線の色	文書枠・行罫線・文字罫線の色を指定
IME	
IME の初期化	ON にする 文書を開くと、IME を ON WZ ime を ON にする 文書を開くと、WZ ime を ON OFF にする 文書を開くと、IME を OFF
IME 変換文字の表示	IME の表示 IME 入力中の文字を、IME の機能で表示、リサーチ入力機能は無効 WZ のインライン表示 入力中の文字を、WZ の機能で本文に挿入表示、リサーチ入力機能が有効 WZ ime は常時「インライン表示」 インライン表示は「MS-IME」「ATOK」以外の IME には未対応
IME 変換文字の色	IME 変換文字の色を指定（「インライン表示」に適用）
IME 変換背景の色	IME 変換文字の背景色を指定（「インライン表示」に適用）
IME 注目文字の色	IME 変換の注目文字の色を指定（「インライン表示」に適用）
IME 注目背景の色	IME 変換の注目文字の背景色を指定（「インライン表示」に適用）
IME 入力下線の色	IME 入力文字の下線の色を指定（「インライン表示」に適用）
IME 入力下線の装飾	IME 入力文字の下線表示を指定（「インライン表示」に適用） 標準 文字の下側（縦書きは左側）に点線を表示 縦書き右側 縦書きの下線を文字の右側に表示 表示しない 下線表示を OFF 実線 下線を実線で表示 実線＋縦右 縦書きの下線を文字の右側に実線で表示
段落	
タグの表示	表示する タグと HTML タグをテキストとして表示 記号で表示する タグと HTML タグを一文字の記号で表示 表示しない タグと HTML タグの表示を消す
ルビの表示	標準 ルビを本文の 50%のサイズで表示 大きく表示 ルビを本文の 70%のサイズで表示 小さく表示 ルビを本文の 30%のサイズで表示 表示しない ルビの表示を消す
図の表示	標準 図を標準サイズで表示 縮小表示 50,33,25% 図を標準の 50,33,25%のサイズで表示

表示しない 図の表示を消す
図の表示には「テキスト」「PDF Book」「青空文庫」形式の使用か、文書スタイルの「図の認識」の設定が必要

HTML の文字参照を文字で表示

ON HTML テキストの文字参照「<」「>」「&」「"」を、通常文字「<」「>」「&」「"」として表示
キーボードから「<」「>」「&」「"」を入力すると、文字参照「>」「<」「&」「"」をテキストに入力

挿入

リサーチ

文節区切りの色	WZ ime で入力中の文章の文節区切り表示線の色を指定
文節区切の表示	文節区切りの表示方法を指定
リサーチ入力変換文字の色	リサーチ入力対象の文字の色を指定（IME が OFF に適用） 背景色と同色にすると、テキストの文字色で表示
リサーチ入力変換背景の色	リサーチ入力対象文字の背景色を指定（IME が OFF に適用）
リサーチ入力下線の色	リサーチ入力対象の文字の下線の色を指定（IME が OFF に適用）
リサーチ入力下線の装飾	リサーチ入力対象文字の下線表示を指定（IME が OFF に適用） 標準 文字の下側（縦書きは左側）に点線を表示 縦書き右側 縦書きの下線を、文字の右側に表示 表示しない 下線表示を OFF 実線 下線を実線で表示 実線＋縦右 縦書きの下線を文字の右側に実線で表示

アウトライン

見出しの表示

見出しの色分け	見出し行の「色分け」「太字表示」を指定
見出しの色	見出しの文字色を指定
見出しを表示しない	ON テキストの見出し行の表示を OFF

見出しページング

認識文字列の表示

ON スクロールを調整して見出し行を画面の先頭に表示
見出し認識の文字列の表示を指定（正規表現指定は適用外）
標準 本文に表示する、アウトラインに表示しない
本文に表示しない 本文にもアウトラインにも表示しない
アウトラインに表示 本文とアウトラインの両方に表示

ウィンドウ

配置

アウトラインの表示位置を、右・左・上・下から指定
「自動（右/上）」「（左/上）」「自動（右/下）」「自動（左/下）」の指定でアウトラインの横書き／縦書きに
応じて表示位置を切り替え

表示幅 縦書き

アウトラインウィンドウの初期幅を文字数単位で指定
アウトラインウィンドウの縦書き／横書き表示を指定
本文に合わせる 本文の縦書き／横書きに合わせて表示

フォント フォントサイズ 行間 日付の表示

アウトラインウィンドウの表示フォントを指定
アウトラインウィンドウの表示フォントサイズを指定
アウトラインウィンドウの行間を指定
アウトラインウィンドウに日付を表示する／表示しないを指定。文書スタイルの「日付の付加」ON の設定も必要

ツール

索引

個数の表示

ON テキスト中の語句の出現個数を表示

文字種の表示

ON 索引ウィンドウに「数字」「A,B,C」「かな」の見出しを表示

見出し区切りの表示

ON 索引ウィンドウの語句の一覧を、本文の見出しで区切って表示

英字で日本語の絞り込み

ON 英字のローマ字入力で日本語語句の絞り込みにマッチ

すべて表示

ON 索引語句を含むテキスト箇所の一覧をすべて表示
テキストの表示や編集に時間がかかる場合あり
OFF 100 個まで表示

段落設定

段落設定では、段落の字下げ、見出しの装飾や行取り、小見出しの幅など段落の種別に応じた体裁表示を指定します。



（設定／カテゴリ順／段落設定画面）

スタイルの選択

段落設定には、「標準」と「ドキュメント」がデフォルトで登録されています。「標準」では段落の体裁表示はOFF、「ドキュメント」ではWZ8のヘルプ表示用の体裁が設定されています。

「ドキュメント」の段落設定を選択するには、[表示]メニューの[設定]を実行、「表示切替」をクリック、目次から「段落」を選択、スタイルから「ドキュメント」を選択してOKします。

表示	
見出し 1～6 の表示 フォント サイズ 行取り表示 配置とキャッチ 文字の色 背景の色 枠の色 上余白と枠 下余白と枠 左余白と枠 右余白と枠	見出しの書体を指定（空の指定は本文と同じ） 見出し 7 以上の見出しは、見出し 6 のフォントで表示 「3 ペインアウトライン」はフォント指定に未対応 見出しのサイズを指定します（0 の指定は自動サイズ） ポイント数で指定するには、数値を入力 本文基準の%サイズで指定するには、数値と%を入力 「3 ペインアウトライン」はサイズ指定に未対応 見出しの段落の高さを「本文フォントの高さ*指定行数」で指定 （見出のフォントサイズで表示するには空か 0 を指定） 「なし」「中央揃え」「右揃え」「■1」「■2」「■3」「■4」から指定（「なし」は左揃えで表示） 「■1～4」は見出しの先頭に四角をつけて強調表示、四角の色は本文の「文字色」またはオプションで指定 「3 ペインアウトライン」は中央／右揃えに未対応 見出しの文字色を指定 （「背景色」と同色指定で、本文の文字色で表示） 見出しの背景色を指定 （「文字色」と同色指定で、本文の背景色で表示） 「上下左右の余白と枠」で指定する「枠」の色を指定 上側の「外余白」の太さをピクセル数「5」、文字数「0.5c」「2c」、行数「0.2L」「2L」で指定（0.01 単位まで指定可能） 空白に続けて「frame=数値」の入力で、上側の「枠」の太さを指定 空白に続けて「int = 数値」の入力で、上側の「内余白」の太さを指定 「外余白」は「本文の背景色」、「枠」は「枠の色」、「内余白」は「見出しの背景色」で表示 上下左右の指定で、「見出しを枠で囲う」「見出しに下線を付ける」「見出しの前後と左側に余白を空ける」が可能 「3 ペインアウトライン」は未対応 下側の「外余白」「枠」「内余白」を、「上余白と枠」と同様に指定 左側の「外余白」「枠」「内余白」を、「上余白と枠」と同様に指定 右側の「外余白」「枠」「内余白」を、「上余白と枠」と同様に指定 と同様に指定 キャッチの色を RGB 値「colcat=#808080」で指定 背景色のグラデーション表示を「grad」で指定 下線表示を「shadow=#808080」と RGB 値で指定
	枠のオプション 本文の表示 字下げ 先頭行の字下げ 字上げ 配置 簡条書きの表示 字下げ 字上げ フォント 小見出の表示 字下げ 字上げ 小見出しの幅 小見出しの区切り 小見出の幅で折り返す 小見出のフォント 小見出し行のフォント 桁揃えの表示 字下げ フォント サイズ 文字色 背景色 会話文の表示 字下げ 先頭行の字下げ 字上げ 本文段落の字下げを全角文字数単位で指定（0.1 文字単位で指定可能） 本文の段落先頭行の字下げを指定（負の指定も可能） 本文段落の折り返し幅からの字上げを指定 本文段落の配置を行頭／中央／行末から指定 簡条書き段落の字下げを全角文字数単位で指定（0.1 文字単位で指定可能） 簡条書き段落の折り返し幅からの字上げを指定 簡条書き段落のフォントを指定（空：本文と同じフォント） 小見出段落の字下げ表示を全角文字数単位で指定（0.1 文字単位で指定可能） 小見出段落の折り返し幅からの字上げを指定 見出し桁の幅を指定（自動桁揃えは 0 を指定） 小見出の区切りの文字列を指定（「小見出の幅」に 0 の指定が必要、桁揃えは OFF） 小見出が幅を越える場合の折り返しを指定 小見出のフォントを指定（空：本文と同じフォント） 小見出に続く文のフォントを指定（空：本文フォント） 桁揃え段落の字下げを全角文字数単位で指定（0.1 文字単位で指定可能） 桁揃え段落のフォントを指定（空：本文と同じフォント） 桁揃え段落のフォントサイズを指定（空：本文と同じサイズ） 桁揃えと小見出段落の文字色を指定します。 「背景色」と同色にすると、本文の文字色で表示します。 桁揃えと小見出段落の背景色を指定します。 会話文段落の字下げを全角文字数単位で指定（0.1 文字単位で指定可能） 会話文段落の先頭行の字下げを指定（負の指定も可能） 会話文段落の折り返し幅からの字上げを指定

人物名の桁数

人物名を指定の文字数で桁揃え表示（全角 20 文字まで指定可能）

人物名のフォント サイズ

人物名のフォントを指定（空：本文と同フォント）
人物名のフォントサイズを指定（空：本文と同サイズ）

装飾

人物名の装飾を太字・下線・斜体から指定

せりふのフォント サイズ

せりふのフォントを指定（空：本文と同フォント）
せりふのフォントサイズを指定（空：本文と同サイズ）

装飾

せりふの装飾を太字・下線・斜体から指定

段落スタイル 1～6 の表示

字下げ

段落の字下げ表示を全角文字数単位で指定（0.1 文字単位で指定可能）

先頭行の字下げ

段落の先頭行の字下げを指定（負の指定も可能）

字上げ

段落の折り返し幅からの字上げを指定

配置

段落の配置を行頭／中央／行末から指定

フォント

段落のフォントを指定（空：本文と同じフォント）

サイズ

段落のフォントサイズを指定（空：本文と同じサイズ）

見出しフォント

段落スタイルの認識文字列（正規表現はタブ記憶）のフォントを指定（空：本文と同じフォント）

見出しサイズ

段落スタイルの認識文字列（正規表現はタブ記憶）のフォントサイズを指定（空：本文と同じサイズ）

字下げ段落 1～6 の表示

字下げ

字下げ段落の字下げ表示を全角文字数単位で指定（0.1 文字単位で指定可能）

先頭行の字下げ

字下げ段落の先頭行の字下げを指定（負の指定も可能）

字上げ

字下げ段落の折り返し幅からの字上げを指定

配置

字下げ段落の配置を行頭／中央／行末から指定

フォント

字下げ段落のフォントを指定（空：本文と同フォント）

サイズ

字下げ段落のサイズを指定（空：本文と同サイズ）

文字装飾 1～6 の表示

フォント

文字属性のフォントを指定（空：本文と同フォント）

サイズ

文字属性のサイズを指定（空：本文と同サイズ）

装飾

文字属性の文字装飾を太字・下線・斜体から指定

アウトライン

アウトラインの色分け

アウトラインウィンドウの見出し名の太字と色分け表示を「しない」「太字」「色分け」「色分け+太字」から指定、色は「アウトラインの文字色」で指定

アウトラインの文字色

アウトラインウィンドウの見出し名の表示色を指定
「アウトラインの色分け」に「色分け」「色分け+太字」の指定が必要

印刷設定

印刷設定では、印刷の文字数、フォント、用紙、ヘッダフッタを設定します。

印刷設定は、専用のコマンド[ファイル]メニューの[印刷設定]からの設定も可能です。設定を変更するとリアルタイムで印刷の折り返し文字数、行数、行間、余白を計算して表示します。

印刷設定には「A4 横書き」「A4 縦書き」などのスタイル設定がデフォルトで登録されています。スタイルを切り替えるには、下記の方法があります。

- ・印刷プレビューのツールバーのドロップダウンリストボックスから選択
- ・[ファイル]メニューの[印刷設定]を実行、「設定の一覧へ」をクリック
- ・[表示]メニューの[設定]を実行、「表示切替」をクリック、目次の「印刷」をクリック、「スタイル」から選択



(印刷設定画面)

ファイル

文字数・行数

文字数・行数

表示スタイルに従う 「表示スタイル」で指定した文字数・行数で印刷

「右端で折り返す」場合は、用紙サイズから文字数を計算

「1 ページの行数」が 0 の場合は、用紙サイズから行数を計算

指定 文字数・行数の目安を指定

用紙サイズから計算 用紙サイズから文字数・行数を計算

文字数

字間

1 行の文字数を半角文字単位で指定

文字間の余白を mm 単位で指定（0.1mm 単位まで指定可能）

字間を詰めるには、負の値「例 -0.1」を指定

行数

行間を指定

1 ページの行数を指定

ON 行間を指定

OFF 行間を自動計算

行間

行間を mm 単位で指定（0.1mm 単位まで指定可能）

段組

段組数を指定

段間

段と段の間を mm 単位で指定（0.1mm 単位まで指定可能）

縦書き

縦書きの印刷を指定

フォント

印刷するフォントを指定

フォントサイズ

印刷するフォントサイズを指定

行番号を印刷

行番号の印刷を指定

カラーで印刷

ON 画面と同色のカラーで印刷

OFF モノクロで印刷

図の PDF 出力倍率

図版の印刷倍率を指定

用紙

用紙

用紙サイズをリストから選択

用紙サイズをユーザ定義するには、リストの最後の「サイズを指定」を選択

幅

用紙の幅を表示

「用紙」が「サイズを指定」の場合は、用紙サイズを mm 単位で指定（0.1mm 単位まで指定可能）

高さ

用紙の高さを表示

「用紙」が「サイズを指定」の場合は、用紙サイズを mm 単位で指定（0.1mm 単位まで指定可能）

方向

縦方向 用紙を縦に印刷

横方向 用紙を横に印刷

見開き印刷

上、下、左、右余白

「袋とじ」の印刷を指定

上、下、左、右の余白を mm 単位で指定（0.1mm 単位まで指定可能）

プリンタの余白の限界値内での指定が必要

ルビと本文の余白

本文とルビの余白を mm 単位で指定します。（0.1mm 単位まで指定可能）

間隔を詰めるには、負の値「例 -0.1」を指定

偶数ページの余白を左右対称

偶数ページの左余白を奇数ページと対称に印刷

（印刷プレビューは未対応）

印刷入稿用の PDF 出力

ON 印刷所に提出用の見開き単位で 1 ファイルの PDF を出力

（文書ファイル名のサブフォルダを作成して出力）

トンボ

トンボ出力

トンボ 1 トンボ 2 トンボを印刷、文書の印刷範囲を用紙サイズからトンボサイズに変更

仕上がり罫

ON トンボサイズで仕上りの囲み罫を印刷

トンボにページ番号を出力

ON トンボの外側にページ番号を印刷

トンボの先頭ページ番号

先頭ページ番号を指定

トンボサイズ

トンボのサイズを指定、サイズをユーザ定義するには、リストの最後の「サイズを指定」を選択

幅

トンボの幅を表示、トンボが「サイズを指定」の場合は、サイズを mm 単位で指定（0.1mm 単位まで指定可能）

高さ

トンボの高さを表示、トンボが「サイズを指定」の場合は、サイズを mm 単位で指定（0.1mm 単位まで指定可能）

ヘッダ・フッタ

先頭ページ番号

1 ページ目のページ番号を指定します。

例「100」の指定で先頭を「100 ページ」で印刷

ヘッダを印刷

ヘッダの印刷を指定

ヘッダ

ヘッダを指定（▼クリックでマクロ記号の入力）

（例 1）「ファイル名」

<filename>

（例 2）「ファイル名」の中央揃え

|<filename>

（例 3）「ファイル名」の右揃え

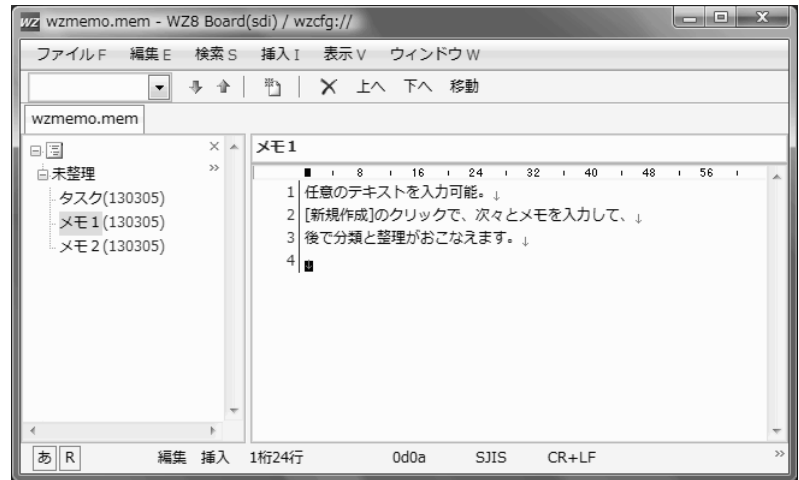
||<filename>

（例 4）「ファイル」名＋「印刷日」中央揃え

	<filename> <date> (例 5)「ファイル」名+「印刷日」中央揃え+「文字列」右揃え <filename> <date> 文字列
ページ (偶数ページ) 上余白	偶数ページのヘッダを指定 ヘッダの印刷位置を mm 単位で指定 (0.1mm 単位まで指定可能) 用紙の上端から上余白の位置にヘッダを印刷 プリンタの余白の限界値内での指定が必要 フッタの印刷を指定 フッタを指定 (▼クリックでマクロ記号の入力) (例 1)「ページ番号」 <page> (例 2) - 「ページ番号」 - の中央揃え (印刷例)「-5-」 <page>~ (例 3) 「ページ番号」 / 「全ページ数」 の中央揃え (印刷例)「1/5」 <page>/<allpages>
フッタを印刷 フッタ	偶数ページのフッタを指定 フッタの印刷位置を mm 単位で指定 (0.1mm 単位まで指定可能) 用紙の下端から下余白の位置にフッタを印刷 プリンタの余白の限界値内での指定が必要
偶数ページを指定 左余白	偶数ページのヘッダ・フッタを指定 ヘッダとフッタの印刷位置を mm 単位で指定 (0.1mm 単位まで指定可能) 用紙の左端から左余白の位置に印刷 プリンタの余白の限界値内での指定が必要
右余白	ヘッダとフッタの印刷位置を mm 単位で指定 (0.1mm 単位まで指定可能) 用紙の右端から右余白の位置に印刷 プリンタの余白の限界値内での指定が必要
ページ間を印刷 ページ間	ページ開 (見開の中央に縦書き) の印刷を指定 ページ開の印刷文字列を指定 (▼クリックでマクロ記号の入力)
フォント フォントサイズ 装飾	ヘッダ・フッタのフォントを指定 ヘッダ・フッタのフォントサイズを指定 ヘッダ・フッタの装飾 (太字、下線、斜体) を指定

WZ Board

「WZ Board」は、多数のメモの作成、貼り付け、並べ替え、階層を整理するアプリケーションです。



(WZ Board 画面)

WZ8 で開いたファイルから、WZ Board ヘメモを追加できます。

- ・[編集]メニューの[WZ Board へ追加]を実行すると、カーソル位置の段落を WZ Board へ追加します。
- ・選択して[編集]メニューの[WZ Board へ追加]を実行すると、選択した部分を追加します。

WZ Board を起動するには、WZ8 から[ツール]メニューの[WZ Board]を実行します。

- ・「メモ一覧」(画面左側部分)には、WZ Board に記録したメモの一覧が表示されます。
- ・フォルダは「メモ一覧」に、[+]付きで表示します。
- ・フォルダでメモを分類します。フォルダにサブフォルダも作成できます。
- ・フォルダを開くには、ダブルクリックまたは[→]キーを押します。
- ・フォルダを閉じるには、ダブルクリックまたは[←]キーを押します。

メモ一覧から選択すると、名前を「タイトル」ウィンドウに、メモを「メモ」ウィンドウに表示します。

- ・メモを追加するには、[新規]をクリックします。「未整理」フォルダに「新規」タイトルのメモが追加されます。「タイトル」ウィンドウに名前、「メモ」ウィンドウにメモを入力します。

- ・WZ Board を閉じるには、[X]をクリックします。終了すると自動的に保存されます。

他のアプリケーションから WZ Board へメモを追加するには、下記の操作をおこないます。

- ・アプリケーションから、追加する文章を選択してコピーを実行
- ・WZ8 から[ツール]メニューの[WZ Board]を実行して WZ Board を起動
- ・[編集]メニューの[クリップボードから未整理へ貼り付け]を実行

記録したメモを開いて、閲覧と並べ替えができます。

- ・WZ Board を起動
- ・「メモ一覧」からメモを選択して表示
- ・メモを削除するには、[X]をクリック
- ・メモの順序を入れ替えるには、[上へ][下へ]をクリック

メモを分類するには、下記の操作をおこないます。

- ・「メモ一覧」で「未整理」を選択
- ・[ファイル]メニューから[見出しの追加]を実行
- ・見出し名を指定して OK。新しい見出しが作成されます
- ・分類するメモを選択して、[編集]メニューから[移動]を実行
- ・「移動先」に作成した見出しを指定して OK。分類が実行されます

WZ Board に記録したメモは、WZ 設定フォルダの「wzmemo.mem」にテキストファイルで保存されます。

- ・WZ Board の「表示」メニューの「環境設定」から、メモのファイル名を任意に変更できます。
- ・WZ Board のフォルダの階層構造は、WZ のアウトライン機能で作成されています。
- 見出し文字列は"."から"....."の固定となります。
- ・本文の行頭のピリオドには、余白が追加されます。

ファイルメニュー

未整理に追加 見出しを追加

「未整理」フォルダに、新規にメモを追加します。
メモ一覧のフォルダに、新規のフォルダやメモを追加します。

子見出しを追加 上書き保存 再読み込み 文書の情報

メモ一覧のフォルダに、新規にメモを追加します。
WZ Board のメモをファイルに保存します。
編集を破棄します。

WZ Board のファイルの情報を表示します。
文字コードの変更や暗号化にも対応しています。

開く 名前を付けて保存

別のファイルの WZ Board を開きます。
「名前を付けて保存」ダイアログを表示します。
ファイル名を指定して OK すると、指定したファイルにメモを保存して、そのファイルに切り替えます。

WZ EDITOR に切り替え

WZ Board の編集を WZ Editor に切り替えます。
エディタに切り替えると、終了時の自動保存は OFF となります。

WZ Board ファイルの新規作成

WZ Board のファイルを新規作成して新しいファイルに切り替えます。

終了

WZ ボードを終了します。

編集メニュー

元に戻す

文字の削除や文字の入力を取り消します。
繰り返し実行すると、前回の文字の削除や文字の入力を取り消します。

やり直し

「元に戻す」で取り消した文字の削除や文字の入力を復活します。

移動

移動先ダイアログで移動先を選択して OK すると、メモを移動します。

前回移動先に移動

「移動」コマンドで選択したフォルダにメモを移動します。

切り取り

「メモ一覧」から実行するとメモやフォルダをクリップボードにコピーして切り取ります。
「メモ」から実行すると、選択した文字をクリップボードにコピーして切り取ります。

コピー

「メモ一覧」から実行するとメモやフォルダをクリップボードにコピーします。
「メモ」から実行すると選択の文字をクリップボードにコピーします。

貼り付け

「メモ一覧」から実行するとクリップボードからメモを貼り付けます。
「メモ」から実行するとクリップボードから「メモ」に文字を貼り付けます。

ごみ箱へ

メモをごみ箱に移動します。

メモのコピー

メモをクリップボードにコピーします。

メモに貼り付け

クリップボードから「メモ」に文章を貼り付けます。

メモの1行目をタイトルへ

メモの一行目をタイトルにします。

クリップボードから未整理へ貼り付け

「未整理」に新しくメモを追加してクリップボードから貼り付けます。

検索メニュー

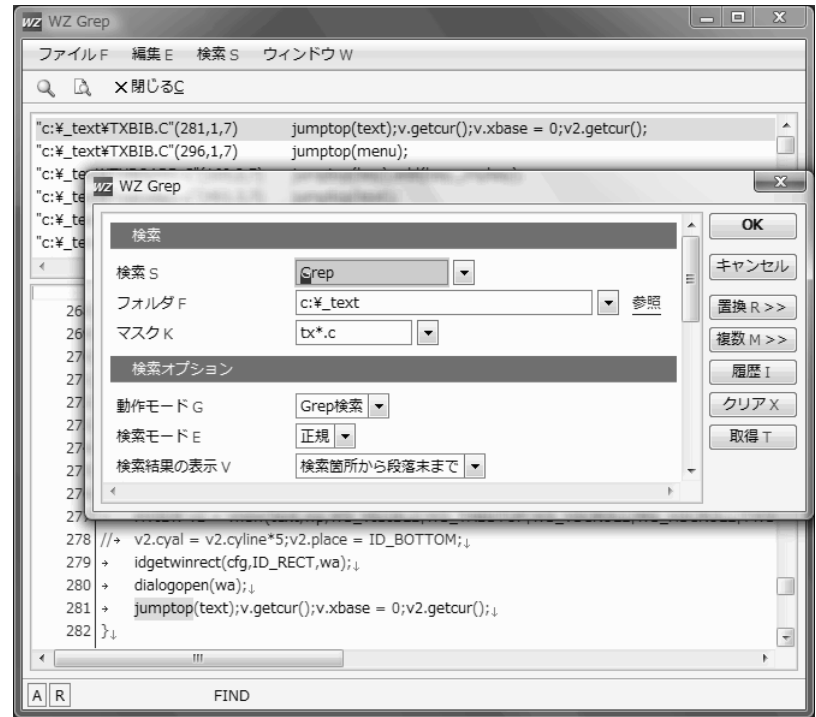
検索 置換	WZ Board の先頭から語句を検索します。 置換ダイアログを開きます。 検索語句と置換文字列を指定して OK すると置換をおこないます。
前を検索	前回検索した文字列を、カーソル位置から前方向へ検索します。
次を検索	前回検索した文字列を、カーソル位置から次方向へ検索します。
先頭へ 末尾へ 見出しの絞り込み	WZ Board の先頭のメモにジャンプします。 WZ Board の末尾のメモにジャンプします。 検索語句を指定すると、タイトルに語句を含むメモを絞り込みます。
絞り込みの解除 絞込アウトライン	メモ一覧の絞り込みを解除します。 指定語句を含むメモの一覧を表示します。

キー

WZ Board は、キー操作によるフォーカス移動に対応しています。	
Alt+L	「メモ一覧」にカーソルを移動
Alt+T	「タイトル」にカーソルを移動
Alt+C	「メモ」にカーソルを移動
「メモ」ウィンドウは、下記のキー操作に対応しています。	
Ctrl+Tab	「メモ一覧」ウィンドウへフォーカスを移動
Shift+Ctrl+Tab	「タイトル」ウィンドウへフォーカスを移動
「メモ一覧」ウィンドウは、下記のキー操作に対応しています。	
Ctrl+Up	上へ移動
Ctrl+Down	下へ移動
Ctrl+F	検索
F3	次検索
Shift+F3	前検索
Ctrl+C	コピー
Ctrl+S	保存
Ctrl+V	貼り付け
Ctrl+W	閉じる
Ctrl+X	カット

WZ Grep

「WZ Grep」は、ディスク上の多数のファイルから、キーワードを含むファイルをグローバルに検索するアプリケーションです。



(WZ Grep 画面)

Grep を起動するには、WZ8 から[検索]メニューの[グローバル検索]-[WZ Grep]を実行します。

Grep を起動すると「WZ Grep」ダイアログが表示されます。

検索をするには、下記の操作をおこないます。

- ・ダイアログで検索語と対象フォルダを指定して OK

検索を開始して、Grep 画面に結果を出力します。

グローバル検索中は、「検索中」と表示して検索中のファイル名を順次、表示します。

グローバル検索を中止するには、[Esc]キーを押し続けます。

Grep の結果は、一覧に「ファイル名」と「行番号」で表示されます。

一覧から選択をすると、プレビューに検索箇所のテキストを表示します。
[Enter]キーを押すと、検索箇所を開いて編集できます。

Grep 置換

「WZ Grep」置換は、キーワードを含むファイルを検索して、置換語句に一括置換する機能です。置換前に一覧を表示して確認してから置換実行します。

Grep 置換するには、下記の操作をおこないます。

- ・Grep ダイアログで、「置換」をクリック
- ・「WZ Grep Replace」ダイアログが表示されます
- ・検索キーワードとオプションを指定
- ・「置換」テキストボックスに、置換語句を指定して OK

グローバル検索中は「検索中」と表示し、検索中のファイル名を順次、表示します。

グローバル検索を中止するには、[Esc]キーを押し続けます。

Grep の結果は、一覧に「ファイル名」と「行番号」で表示されます。

- ・プレビューを参照して、一覧の置換を確認します
- ・置換しない行は、[Delete]キーを押して削除します
- ・一覧のすべてを確認したら、[編集]メニューの[すべて選択]を実行します
- ・[編集]メニューの[置換を実行]を実行すると一括置換します

一覧から個別に置換するには、下記の操作をおこないます。

- ・置換する行にカーソルを移動
- ・[Shift+Enter]キーを押すか、[編集]メニューから[置換を実行]を実行。検索箇所の置換が実行されます
- ・置換を実行した行は「済」と表示します

Grep ダイアログ

検索	検索キーワードを指定します。
置換	WZ8 の検索ダイアログと同様に指定します。 Grep 置換の置換語句を指定します。
フォルダ	WZ8 の置換ダイアログと同様に指定します。 検索するフォルダ名を指定します。 空にすると、標準フォルダを検索します。 ¥を指定すると、カレントディレクトリを検索します。 「参照」または[Alt+Right]キーを押すと、フォルダの選択ダイアログを表示します。 WZ8 では「フォルダ」項目は、フォルダ名の指定のみとなりました。 ファイルマスクを指定するには、「マスク」項目にて設定します。
マスク	検索するファイルマスクを指定します。

空にすると、フォルダのすべてのファイルを検索します。

「*.txt;*.tml」と指定すると、フォルダの TXT ファイルと TML ファイルを検索します。
ファイル名を「filename.txt」と指定すると、指定したファイルを検索します。

Grep 検索 Grep 検索をおこないます。

ファイル名を検索 検索条件に一致するファイル名を検索します。

検索モードを、基本・曖昧・単語・正規から選択します。

Grep 結果の一覧の表示を「検索箇所から段落末まで」「段落すべて」「検索箇所の文字列」から選択します。

ON にすると、半角英文字の大・小を区別します。

OFF にすると、区別しないで検索します。

「曖昧」モードでは無効です。

ON にすると、¥文字を通常検索します。

OFF にすると、¥文字を検索するには「¥」を指定します。

「正規」モードでは無効です。

ON にすると空白・記号・改行をスキップして検索します。

AND 検索 ON にすると AND 検索をおこないます。

検索文字列に空白で区切って複数の語句を指定します。

バックグラウンド検索 ON にすると、バックグラウンドで検索します。

検索結果は Grep 検索完了時に表示します。

OFF にすると、検索結果をリアルタイムで表示します。

サブフォルダも検索 ON にすると、サブフォルダを検索対象に含めます。

Windows フォルダも検索 ON にすると、Windows のシステムフォルダを検索対象に含めます。

バイナリファイルも検索 ON にすると、バイナリファイルを検索対象に含めます。

巨大なファイルも検索 ON にすると、10MB を超えるファイルを検索対象に含めます。

「置換」 Grep 置換のダイアログに切り替えます。

「検索」 Grep 検索のダイアログに切り替えます。

「複数」 検索キーワードを複数指定するダイアログに切り替えます。

「単数」 検索キーワードを 1 つ指定するダイアログに切り替えます。

「履歴」 過去の Grep の履歴の一覧を表示します。

「クリア」	ダイアログの入力をすべてクリアして初期化します。
「取得」	WZ8 のテキストファイルから、フォルダとマスクを取得します。

メニュー

ファイル—ジャンプ	結果一覧から、検索位置へジャンプします。
ファイル—grep	Grep ダイアログを表示します。
ファイル—終了	Grep を終了します。
編集—置換を実行	結果一覧のカーソル行の置換を実行します。 選択してコマンドを実行すると、選択範囲の置換を実行します。
検索—絞り込み	「絞り込み」ダイアログを表示します。 検索語句を指定して OK すると、結果一覧の指定語句を含む段落を絞り込み表示します。
検索—絞り込みの解除	絞り込みを解除します。
ウィンドウ—環境設定	結果一覧の表示色をカスタマイズします。
ウィンドウ—プレビュー	プレビューの表示 ON/OFF を切り替えます。
ウィンドウ—ステータスウィンドウ	ステータスウィンドウの表示 ON/OFF を切り替えます。
ウィンドウ—WZ Grep	WZ Grep を新しく起動します。
ウィンドウ—ヘルプ	WZ Grep のヘルプを表示します。

WZ Tab Filer

「WZ Tab Filer」は、マルチタブ／2 ウィンドウ／Grep／テキスト編集／サブフォルダの表示機能に対応したマルチタブ ファイラーです。

- ・各タブにフォルダのファイルリストを表示します。
- ・複数のタブにより、同時に複数フォルダのファイルリストを表示します。
- ・ファイラー画面を2つに分割して、ファイルのコピーや移動ができます。
- ・タブの表示はプロファイルに記憶して、次の起動時に復元します。

WZ Tab Filer を起動するには、WZ8 から[ツール]メニューの[WZ Tab Filer]を実行します。WZ Tab Filer は、従来の「WZ Filer」と併用できます。

特徴

オープンダイアログ

「WZ Tab Filer」は、WZ8 のファイルオープンダイアログに設定できます。ファイルオープンダイアログに設定するには、下記の操作をおこないます。

- ・WZ EDITOR 8 を起動
- ・[ツール]メニューの[環境設定]を実行
- ・目次から「ファイル—ダイアログ」を選択
- ・「ファイル選択ダイアログ」に「WZ Tab Filer ダイアログ」または「WZ Tab Filer」を指定して OK

サブフォルダの表示

「サブフォルダの表示」を ON にすると、フォルダのファイル一覧に加えてサブフォルダ内のファイルも一覧に表示します。

- ・WEB サイトなどの複数フォルダに分割されたファイルを一覧に表示します。
- ・サブフォルダのファイルは、先頭にフォルダ名を付けて表示します。

テキストの編集

「テキストの表示」を ON にすると、ファイルリストのファイルのテキストを表示します。

- ・表示メニューから「閲覧モード」を OFF にすると、テキストを直接編集できます。
- ・ファイルリストから[Enter]キーを押すと、テキストにカーソルを移動します。
- ・ファイルメニューから「上書き保存」を実行すると、編集内容を上書き保存します。
- ・テキストを編集して[Esc]キーを押すと、編集内容の保存を問い合わせ後に、ファイルリストにカーソルを戻します。

Grep 検索

「Grep」テキストボックスに文字列を入力して[Enter]キーを押すと、フォルダの Grep 検索ができます。

- ・文字列を含むファイルを絞り込んでファイルリストに表示します。
- ・検索オプションを指定して Grep するには、検索メニューから「Grep」を実行します。
- ・タブメニューから「アウトラインの表示」を ON にすると、ファイル内の検索マッチ箇所を一覧表示します。

ドライブのフォルダー一覧

「ドライブのフォルダー一覧」を実行すると、ドライブのすべてのフォルダを一覧表示します。

- ・絞り込みにより、ドライブ内のフォルダを検索できます。
- ・フォルダツリーの操作が不要となります。

基本操作

WZ Tab Filer では、ファイルリストにフォルダのファイルとサブフォルダの一覧を表示します。

- ・一覧からファイルを選択して[Enter]キーを押すと、ファイルを開きます。
- ・[Shift+Enter]キーを押すと、ファイルを関連付けアプリケーションで開きます。
- ・ファイルの作成、コピー、移動、削除、名前の変更、ソート表示に対応しています。
- ・ファイルリストで[英字]キーを押すと、絞り込み表示します。[BS]キーで絞り込みを 1 文字解除します。

ファイルのコピーや移動を実行するには、[ウィンドウ]メニューから [分割ビューの切り替え]を実行して、ファイラー画面を 2 つに分割します。

左右のファイルリストにフォルダを表示して、左側のファイルリストから右側のファイルリストにファイルをコピーできます。

- ・選択してコピーを実行すると、選択したファイルをコピーします。
- ・選択を解除してコピーを実行すると、カーソル位置のファイルをコピーします。
- ・コピーのアンドゥには対応していません。

WZ Tab Filer のファイルリストの日付の表示は、2000 年 1 月 1 日以降の日付に対応しています。

↑ ↓	カーソルを移動します。
BS	親フォルダに移動します。
Shift+↑ Shift+↓	ファイルを選択／選択を解除して、カーソルを移動します。
Tab	カーソルを左右のファイルリストに移動します。
Shift+Tab	カーソルをファイルリスト／テキスト／アウトラインに移動します。
Ctrl+Tab	タブを切り替えます。
Shift+Ctrl+Tab	タブを逆方向へ切り替えます。
Space	選択モードを ON にして、ファイルを選択／選択を解

除します。

Esc

ファイルリストでは、選択モードを解除します。
テキスト／アウトラインでは、ファイルリストに移動します。

Enter／ダブルクリック

WZ8 でファイルを開きます。
「..」は、親フォルダに移動します。
サブフォルダは、フォルダに移動します。
ファイルを関連付けのアプリケーションで開きます。
EXE ファイルは、Windows アプリケーションとして起動します。

Shift+Enter

Ctrl+Enter

Ctrl+B

カーソルをテキストへ移動します。
すべてのファイルを選択します。
サブフォルダの選択は解除します。
すべてのファイルとサブフォルダの選択を解除します。
ファイルの選択の ON/OFF を切り替えます。
分割ビューを切り替えます。

Ctrl+Z

Ctrl+A

Ctrl+W

ドラッグアンドドロップ

ファイルをドラッグアンドドロップすると、エクスプローラなどへ移動／コピーします。
コピーするには、[Ctrl]キーを押しながらドラッグアンドドロップします。
ファイルリストの絞り込みを実行します。
絞り込みを 1 文字解除します。

[英字]キー

[BS]キー

ファイルメニュー

開く

関連付けプログラムで開く

WZ8 でファイルを開きます。
ファイルを拡張子に関連付けしたアプリケーションで開きます。
サブフォルダは、エクスプローラで開きます。
テキスト表示の編集をファイルへ保存します。
閲覧モードが ON の場合は、上書き保存を問い合わせします。
閲覧モードが OFF の場合は、問い合わせなしで上書き保存します。

上書き保存

プロパティ

ファイル名・日付・アトリビュートを表示します。
ファイル名・日付・アトリビュートを変更して OK すると、プロパティを変更します。
複数のファイルを選択してから実行すると、一括してプロパティを変更します。
ファイル名を変更するダイアログを表示します。

ファイル名の変更

削除	ファイルリストのファイルを削除します。 削除したファイルを WZ のごみ箱に追加します。 サブフォルダは完全に消去します。
消去	ファイルやフォルダを完全に消去します。
新規作成	新しいファイルを作成します。
フォルダの新規作成	新しいフォルダを作成します。
終了	WZ Tab Filer を閉じます。

編集メニュー

すべてのファイルを選択	ファイルリストのすべてのファイルを選択します。 フォルダの選択は解除します。
すべて選択	ファイルリストのすべてのファイルとフォルダを選択します。
選択の切り替え	ファイルリストのすべてのファイルの選択の ON/OFF を切り替えます。フォルダの選択は保ちます。
選択の解除	ファイルリストのすべてのファイルとフォルダの選択を解除します。
複写	ファイルをコピーします。
移動	ファイルを移動します。
名前を変えて複写	名前を指定するダイアログを表示します。 OK すると、カーソル位置の一つのファイルまたはフォルダを、指定した名前を対象フォルダへコピーします。 コピーのアンドゥには対応していません。
ファイル名をコピー	カーソル位置のファイル名をクリップボードにコピーします。 選択して実行すると、複数のファイル名をクリップボードにコピーします。

検索メニュー

Grep	「WZ Tab Filer Grep」ダイアログを表示します。 OK すると検索文字列を含むファイルを、ファイルリストに絞り込み表示します。
絞り込み	絞り込みダイアログを表示します。 OK するとテキストを絞り込み表示します。
絞り込みの解除	絞り込み表示を解除します。
検索	検索ダイアログを表示します。 OK するとテキストの先頭から検索を実行してジャンプします。

前を検索	テキストの先頭方向へ検索を実行します。
次を検索	テキストの末尾方向へ検索を実行します。
一覧の先頭	ファイルリストの先頭へジャンプします。
一覧の末尾	ファイルリストの末尾へジャンプします。
一覧のファイル先頭	ファイルリストのファイルの先頭（サブフォルダの末尾）へジャンプします。

表示メニュー

新しい順～小さい順	ファイルリストのファイルのソートを指定します。 サブフォルダは必ずファイルの手前に表示します。
閲覧モード	閲覧モードの ON/OFF を切り替えます。
サブフォルダの表示	サブフォルダ内のファイル一覧表示の ON/OFF を切り替えます。
イメージファイルの表示	イメージファイルを表示する／表示しないを切り替えます。
バイナリファイルの表示	バイナリファイルを表示する／表示しないを切り替えます。

タブメニュー

新しいタブ	フォルダ名の入力ダイアログを表示します。 フォルダ名を入力して[Enter]キーを押すと、タブを新規作成してファイルを一覧表示します。
最近開いたフォルダ	最近開いたフォルダの一覧ダイアログを表示します。 フォルダを選択して OK すると、タブを新規作成してファイルを一覧表示します。
2 重化	ファイラー画面を 2 つに分割して、現在のフォルダを 2 つのタブで表示します。
ドキュメント	タブを新規作成して「ドキュメント」フォルダを一覧表示します。
デスクトップ	タブを新規作成して「デスクトップ」フォルダを一覧表示します。
最近開いたファイル	タブを新規作成して、WZ で最近開いたファイル一覧の仮想フォルダを表示します。
ドライブ	ドライブ一覧を表示します。 選択したドライブのルートフォルダを開きます。
ドライブのフォルダー一覧	ドライブ一覧を表示します。 選択したドライブのフォルダの一覧を開きます。

すべてのフォルダを表示するまで時間がかかります。

C ドライブのフォルダー一覧

C ドライブのフォルダの一覧を開きます。
すべてのフォルダを表示するまで時間がかかります。

D ドライブのフォルダー一覧

D ドライブのフォルダの一覧を開きます。
すべてのフォルダを表示するまで時間がかかります。
ファイルリストで選択したファイルの内容表示の ON/
OFF を切り替えます。

テキストの分割

アウトラインの表示

ファイル内容表示の位置を指定します。
ファイルリストで選択したファイルのアウトライン表示の ON/OFF を切り替えます。

アウトラインの位置

ファイルリストの表示

アウトラインの表示位置を指定します。
テキストとアウトラインの表示を OFF にして、ファイルリストを表示します。

消去

タブのフォルダを削除します。実行前に確認の問い合わせをします。
削除のアンドゥには対応していません。

閉じる

現在のタブを閉じます。

ウィンドウメニュー

ウィンドウ一覧

分割ビューの切り替え

WZ のウィンドウ一覧を表示します。
画面の分割を切り替えます。
実行する度に、通常→左右に分割→上下に分割→通常に切り替えます。

2つのファイルリストを左右や上下に並べて表示できます。
タブをマウスでドラッグして、別のタブにドロップするとファイルリストのタブをウィンドウ間で移動します。

分割ビューの入れ替え

「分割ビューの切替」で画面を分割している時に、左右・上下のファイルを入れ替えます。

高さを最大化

ツールビューへ

画面の上下をディスプレイサイズに最大化します。
ツールビュー領域へカーソルを移動します。

ツールビュー領域がなければ作成します。

ファイル一覧へ

アウトラインへ

テキストへ

ごみ箱

ヘルプ

ファイルリストへフォーカスを移動します。

アウトラインへフォーカスを移動します。

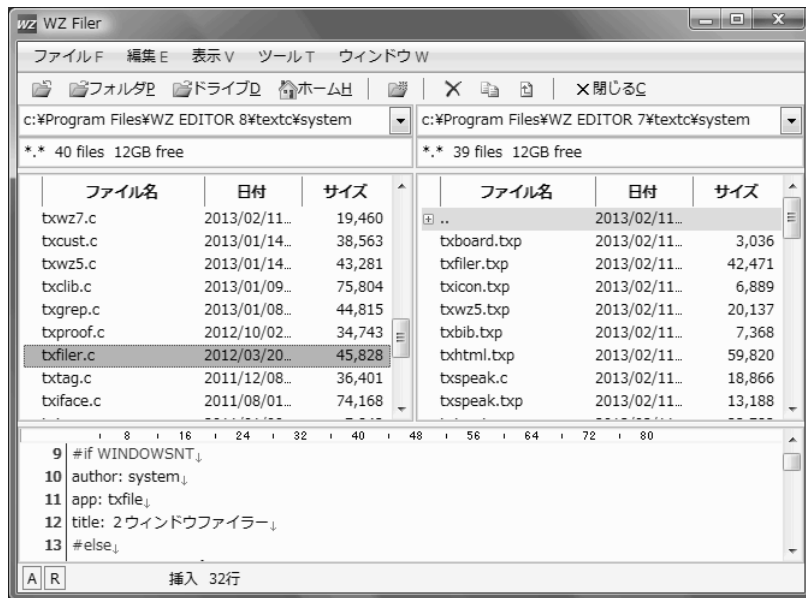
テキストへフォーカスを移動します。

WZ のごみ箱を表示します。

WZ Tab Filer のヘルプを表示します。

WZ Filer

「WZ Filer」は、2 ウィンドウでファイルのコピーや整理に対応するアプリケーションです。



(WZ Filer 画面)

ファイラーを起動するには、WZ8 から[ツール]メニューの[WZ Filer]を実行します。

ファイルリストに、フォルダのファイルとサブフォルダの一覧を表示します。

- ・一覧からファイルを選択して[Enter]キーを押すと、ファイルを開きます。
- ・[Shift+Enter]キーを押すと、ファイルを関連付けアプリケーションで開きます。
- ・ファイルの作成、コピー、移動、削除、名前の変更、ソート表示に対応しています。

ファイルのコピーや移動を実行するには、[ウィンドウ]メニューから[2 ウィンドウ]を ON にします。

左右のファイルリストにフォルダを表示して、左側のファイルリストから右側のファイルリストにファイルをコピーできます。

- ・選択してコピーを実行すると、選択したファイルをコピーします。
- ・選択を解除してコピーを実行すると、カーソル位置のファイルをコピーし

ます。
・コピーのアンドゥには対応していません。

基本操作

↑ ↓	カーソルを移動します。
BS	親フォルダに移動します。
Shift+↑ Shift+↓	ファイルを選択／選択を解除して、カーソルを移動します。
Tab,Shift+Tab	カーソルを左右のファイルリストに移動します。
Ctrl+Tab	カーソルをファイルリストとプレビューに移動します。
Space	選択モードを ON にして、ファイルを選択／選択を解除します。
Esc	選択モードを解除します。
Enter／ダブルクリック	WZ8 でファイルを開きます。 「…」は、親フォルダに移動します。 サブフォルダは、フォルダに移動します。 EXE ファイルは、Windows アプリケーションとして起動します。
Shift+Enter	ファイルを関連付けのアプリケーションで開きます。
Ctrl+B	すべてのファイルを選択します。 サブフォルダの選択は解除します。
Ctrl+Z	すべてのファイルとサブフォルダの選択を解除します。
Ctrl+A	ファイルの選択の ON/OFF を切り替えます。
Alt+P	フォルダ名の入力へカーソルを移動します。
Ctrl+W	2 ウィンドウ／1 ウィンドウを切り替えます。
ドラッグアンドドロップ	

ファイルをドラッグアンドドロップすると、エクスプローラなどへ移動／コピーします。
コピーするには、[Ctrl]キーを押しながらドラッグアンドドロップします。

ファイラーの「環境設定」ダイアログの「英字キーでメニュー表示」を ON にすると、下記のキー操作が有効となります。

[Shift+英字]キーでファイルリストの絞り込み、[BS]キーで絞り込みを解除します。

OFF にすると、[英字]キーでファイルリストの絞り込み、[BS]キーで絞り込みを解除します。

A	選択の切り替え
B	すべてのファイルを選択
C	複写
D	ドライブ選択
F	ファイル操作のメニュー表示

G	グローバル検索
H	最新の情報に更新
I	フォルダリスト
J	最近開いたフォルダ
M	マスキリスト
P	パス入力
S	ソートメニュー表示
V	プレビュー表示の切り替え
W	2 ウィンドウ表示の切り替え
Z	選択の解除

ファイルメニュー

開く アプリケーションで開く	WZ8 でファイルを開きます。 ファイルを拡張子に関連付けしたアプリケーションで開きます。 WZ8 の閲覧モードでファイルを開きます。 ファイル名・日付・アトリビュートを表示します。 ファイル名・日付・アトリビュートを変更して OK すると、プロパティを変更します。 複数のファイルを選択してから実行すると、一括してプロパティを変更します。
閲覧で開く プロパティ	ファイル名を変更するダイアログを表示します。 ファイルリストのファイルを削除します。 削除したファイルを WZ のごみ箱に追加します。 フォルダを完全に消去します。
ファイル名の変更 削除	ファイルやフォルダを完全に消去します。
消去	新しいファイルを作成します。
新規作成	新しいフォルダを作成します。
フォルダの新規作成	WZ で新規文書を作成します。
新規テキストを開く	WZ8 で最近開いたファイルを選択します。
最近開いたファイル 終了	WZ Filer を閉じます。

編集メニュー

すべてのファイルを選択	ファイルリストのすべてのファイルを選択します。 フォルダの選択は解除します。
すべて選択	ファイルリストのすべてのファイルとフォルダを選択します。
選択の切り替え	ファイルリストのすべてのファイルの選択の ON/OFF

選択の解除	を切り替えます。フォルダの選択は保ちます。
複写	ファイルリストのすべてのファイルとフォルダの選択を解除します。
移動	ファイルをコピーします。
名前を変えて複写	ファイルを移動します。
	名前を指定するダイアログを表示します。
	カーソル位置の一つのファイルまたはフォルダをコピーします。
	名前を変更して2ウィンドウの対象のフォルダへコピーします。
ファイル名をコピー	コピーのアンドゥには対応していません。
	カーソル位置のファイル名をクリップボードにコピーします。
	選択して実行すると、ファイル名をクリップボードにコピーします。

表示メニュー

環境設定	ファイラーのカスタマイズダイアログを表示します。
	「クリア」をクリックすると、カスタマイズを取り消して初期化します。
新しい順～小さい順	ファイルリストのファイルのソートを指定します。
	フォルダは必ずファイルの手前に表示します。
バイナリファイルの表示	バイナリファイルを表示する／表示しないを切り替えます。
ファイル内容を一覧に表示	ファイルの先頭を表示する／表示しないを切り替えます。
	ONにすると、ファイルリストにファイルの先頭部を表示します。
最新の情報に更新	ファイルリストを更新します。

ツールメニュー

パス入力	カーソルをパス名のテキストボックスへ移動します。
	フォルダ名を入力してEnterすると、ファイルを一覧表示します。
最近開いたフォルダ	最近開いたフォルダの一覧から選択します。
フォルダリスト	登録フォルダの一覧を表示します。
	OKすると、選択したフォルダにジャンプします。
	「追加」「変更」「削除」のクリックで、登録やメンテ

フォルダを開く	ナンスをします。
ドライブ選択	フォルダを選択します。
	ドライブ一覧を表示します。選択したドライブに切り替えます。
マスキリスト	登録したマスクの一覧を表示します。
	OKすると、選択したファイルマスクで一覧を絞り込みます。
	ファイルマスクは、「*.」や「*.txt」や「*.c;*.h」と指定します。
	「追加」「変更」「削除」のクリックで、登録やメンテナンスをします。
フォルダ表示の同期	2ウィンドウで同じフォルダを表示します。
	カーソルのあるフォルダリストと同じフォルダを表示します。
フォルダの比較	2ウィンドウ表示で、フォルダを比較するダイアログを表示します。
	条件にマッチするファイルを選択して表示します。
ごみ箱	WZのごみ箱を表示します。
エクスプローラで開く	ファイルリストをエクスプローラで開きます。
グローバル検索	ファイルリストのフォルダを検索するWZ Grep検索を起動します。

ウィンドウメニュー

WZ 画面の一覧	WZのウィンドウ一覧を表示します。
WZ Filer	ファイラーを新しく開きます。
2ウィンドウ	1ウィンドウ表示／2ウィンドウ表示を切り替えます。
縦に分割	2ウィンドウの縦／横の分割を切り替えます。
プレビューを表示	ファイルのプレビュー表示のON/OFFを切り替えます。
ステータスウィンドウ	ステータスウィンドウの表示ON/OFFを切り替えます。
高さを最大化	画面の上下をディスプレイサイズに最大化します。
ヘルプ	ヘルプを表示します。

英数字
1ページの行数…138,157,158,159,168
1桁と2桁の半角数字…156
1行の文字数…155,156,168
2段階の補完入力…77
API…79,152
BASIC…67
BIB VIEW…44
BibTeX…44,45,46,47
BIBビューアー…44
CSS…21,42,43,76,78,140
CSV…21,109,112,147,150
Emacs…123,135,137
EUC…31,38,149,153
Grepダイアログ…176,178
Grep検索…57,63,177,179,189
Grep置換…176,177
HTMLの関連付け…14,116
HTMLタグの補完…78
HTMLリサーチ入力…42
JAVA…67,147
JIS第3/4水準…31
JIS第3水準の漢字…89
JPEG…22,96
jpg…26,132
MortScript…67
MS-IME…75,160
PASCAL…67
PDF出力…20,21,28,29,30,31,39,96, 133,134,168,169
PERL…67
php…147
Phyton…147
pLaTeX…44,45,47
pTeX…44
PYTHON…67
RUBY…67,89
SDI…11,15,129,143,144,159
SJIS…20,31,37,38,112,149
SJIS-EX…20,31,37,38,112
Text-C API…79,152
Textc Ftp Filer…14
TeXコマンドの体裁表示…47
TeXコマンドの補完…21,48,79
TeXテキスト…22,79,147,150
TeXリサーチ入力…48
TeX専用メニュー…44,45,47
TSV…21,109,150
USB…6,7,13,128
Wordテキスト…28,147
WZ3…14
WZ4…22,88,89,147,149
WZ5…8,9,11,15,22,88,89,116,147,149

WZ6…8,9,14,15,22,38,48,49,53,116, 147,149,150
WZ7…8,9,14,38,48,49,53,116
WZの常駐…10,11,143
ア行
アイコン…6,7,8,10,17,122,143
アウトラインの色分け…104,166
アウトラインの文字色…166
アウトライン編集…103,105,142
アクサングラープ…78,83
アクセスキー…135,144
アクセント付きアルファベット… 31,54,78
アセンブラ…67
アップデート…11,12,122
アンダースコア…158
アンダーライン…74,78,88,158,160
イタリック…156
イメージ…20,22,31,46,96,100,132, 183
イメージファイル…22,96,100,132, 183
インデント…17,52,53,151
インライン…160
ウィンドウサイズ…115,129,142
ウィンドウメニュー…12,27,73,184, 189
オートインデント…151
オートフォーマット…41,42,140
オープンツール…25,34
曖昧…24,54,108,177
暗号化…37,38,172
移行…15,127
移植…15
一時停止…73,142
印刷日…169,170
引用符の入力…78,83
上付き…22,47,87,88,89,90,91
英語…75,76,77,108,140,144,152
英文…54,63,112,113,146,177
欧文…31,38,54,78,100,157
音引…59,78,83,156
音楽…78,83
音声化…11,146
カ行
カットアンドペースト…98,99,131
カラムゲージ…158
カレンダー…27
カレントディレクトリ…176
カンマ…21,22,109,112,150,156
カンマ区切り…21,109,112,156
ガイドヘルプ…19,136
キーボードマクロ…110,111,130

ギリシャ文字…45,46,47
グラデーション…165
ゲージ…158
コマンドマクロ…111,130
コマンドライン…10,66
コマンド一覧…19,107,111,129,130
コメントアウト…117,141
コンテキストメニュー…17,45
コントロールコード…159
コントロールパネル…14,143
コンバート…15
コンパイル…44
コンパイル…44,45,118,119
コンピュータ…6,25,112
コンマ…78,83
仮名…75,77,80,81,82,84
加速…135
画像…22,26,100
画面中央…73,138,159
会話文…22,39,92,93,111,150,165,166
改段落…41,42
外部ヘルプ 1 …153
拡張子.bib…44
拡張子をWZ8に関連付け…14,115
確定…80,81,82,138,139,140
学習…49,80,84
活用…85
関数定義の検索…57
脚注…94,97,98,99,110,152
脚本…22,131,147
行頭タブ…39,47,149,151
行頭タブの字下げ…39,47
行末余白…48,49,53,134
組版…20,74,123,154,156,157
罫線装飾…53,123
桁揃え…15,21,22,39,47,92,93,111, 148,149,150,165,166
検索ツール…55,61
検索個数表示…54,137
原稿用紙…22,108,111,154,155,158
国語辞書…85,152
固定字下げ…111
サ行
サーバ…6
サブフォルダの表示…27,179,183
サブメニュー…17,55,56
シェルスクリプト…67
シナリオ…22,153
ショートカット…9,110,122
シリアル番号…6,12,14,122
シリアル番号の確認…12
ジャンプダイアログ…16,64
スクロールで全表示する…156

スクロールバー…136,138,159
スクロールマージン…137
ステータスウィンドウ…36,109,112, 119,121,178,189
ステータスツール…118,144,145
スペルチェック…98,114,152
スムーススクロール…138
ズーム…74,136
すべてのタブ…55,57,63,143,144
すべて選択…50,136,176,182,187
せりふ…150,166
再変換…83,84,140
字間…74,123,155,156,168
書籍…20,21
下書き…50,84
下付き…22,47,87,88,89,90,91
章末脚注…98,99,152
常駐…8,10,11,13,123,143
新規ユーザ登録…12
人物名…76,82,93,150,166
数学記号…21,45,46,47
数式…21,46
全角カタカナ…76,80,82,140,146
全角英文字…146
タ行
タイトルサーチ…142
タグの挿入…86,88,99
タグを表示…72,134,153
タグを表示しない…72,134
タグアウトライン…41,45,105
タグジャンプ…21,45,57,65,66
タグスタイル…140
タグ記号の補完…42
タグ付き置換…59
タスクトレイ…10,143
タブの文字数…52,150,155
タブメニュー…180,183
タブ区切りテキスト…21,147,154
ダイヤモンドキー…135
ダイヤルアップ…145
テキストの色分け…67,68,137
テキストの入力…80,85
テキストの表示…162,179,184
テキストの変換…28,110,115
テキストの編集…20,105,179
テキストオープンダイアログ…25, 26,34,36,79,132
テキストスタック…133,134
テキストヘッダ…109
テキストヘッダの作成…109
データベース…44
ディスプレイサイズ…121,184,189
トリブルクリック…17

ト書き…22
縦組み…156
単語補完辞書…42,48,79,80,151
段組…29,96,100,123,138,144,154,156, 158,159,168
段落体裁…20,22,86,92,93,94,123
段落内改行…47,51,54,92,93,94,97,99
段落認識…48,53,92,93,94,96,134,149
注…7,8,12,13,20,86,88,89,91,92,94,97, 98,99,110,152,160
注記…86,94,97,99
文中揃え…30,31,94,110,150,164,169, 170
体裁文書…22,72,110,115,147,149
読点…50,51,78,80,83,84,113,146,157
閉じ括弧…82,83,137
ナ行
中黒…51,78,83,157
日本語辞書…34,40,85,98,111,147,152
二分…157
二重引用符…78,83
ハ行
ハングル…37,156
バーチカルライン…74,155,160
バックアップ…23,33,127,133
パスワード…15,38
ファイルの検索…25,56,63
ファイルの部分読み込み…24,132
ファイルマスク…176,189
ファイル名の自動決定…35,36,148
ファイル名の補完…79,140
ファンクションキー…145
フォートラン…67
フォーマット…21,41,42,140
フォルダテキスト…34,49,50,84
フッタ…30,167,169,170
フリーカーソル…53,151
ブロック内容の表示…77,152
ブロック編集…103
ブラグイン…118
プリンタ…28,29,39,169,170
プロジェクト…11,24,25,32,33,36,37
プロポーショナル…155,156
ヘッダ・フッタ…30,169,170
ページめくりOFF…138
ホイール…136
柱…22,31,153
俳句…154
白鳥…47
半角文字の平均幅…155
比較…11,34,66,68,129,189
標準フォルダ…26,34,70,123,132,141, 176

表形式データ…154
表計算…147
表紙…20,30,40,126
表示行…64,74,157,158
表示色…67,69,132,159,160,166,178
袋とじ…169
分割ビューの切替…121,184
文割…44,45,47,49,84
文書の変換…27
文書タイプセット…45
文節…81,82,161
文中の記号…88,152
傍線…86,87,88,89,90,91
傍点…22,86,87,88,89,90,91,110
マル行
マルチタブ…15,18,179
メイリオ…30,156,158
見開き…29,100,123,154,158,169
見本テキスト…80,84,151
右端で折り返す…168
名詞…75,76,85
文字スタイル…91,92
文字数・行数…39,168
ヤ行
ユーザキー定義…86,129,141
ユーザフォント…138
ユーザメニュー…111,115,130
ユーザ辞書…34,50,79,84,85,114,149
ユーザ追加定義…116,129,135
矢印…155,159
予約語…21,67,68,69,137,140
横組み…156
横幅…16,155,159
ラ行
ラベル…47
リードオンリー…132
リンク…19,159
ルーラー…74,158
レジストリ…14,127
ローマ字…77,78,81,82,86,140,141, 152,162
論文…21,22,85